NECパーソナルコンピュータ
PC-9800シリーズ

NEC

Software Library

MS-DOS™3.3C 日本語入力ガイド

Software Library

MS-DOS™3.3C
日本語入力ガイド

AT061A

はじめに

本書は，NEC PC-9800シリーズMS-DOS用の日本語入力機能の解説書です．

■本書の構成と利用方法

本書は第１部から第３部および付録から構成されています．

第１部は，初めて日本語入力を使う方に読んでいただきたい解説です．日本語入力機能を使うにあたっての基礎知識を解説します．

第２部では，実際の操作を通して日本語入力機能の操作を解説します．第１章で基本操作を，第２章から第４章で特殊なタイプ方法を解説します．第１章にひととおり目を通したら，必要に応じて第２章以降をお読みください．

第３部では，日本語入力機能を更に使いこなすために，知っておくと便利な関連知識を解説します．必要に応じてお読みください．

付録には，漢字コード表などいくつかの資料をまとめてあります．必要に応じて参照してください．

■他のマニュアルについて

本書で解説している操作や専門用語について，さらに詳しい解説を必要とされる場合には，以下のマニュアルを参照してください．

- MS-DOSユーザーズガイド
- MS-DOSユーザーズリファレンスマニュアル

目　次

第3部　関連知識

付 録

第1部

ご利用にあたって

第１部では，初めて日本語入力機能を使う方のために，日本語入力機能とは何か，どんなことができるのかといったことを説明します．また，日本語入力機能を使うための準備作業や，基本的な用語についても説明しています．

第1章 漢字やひらがなをタイプするには

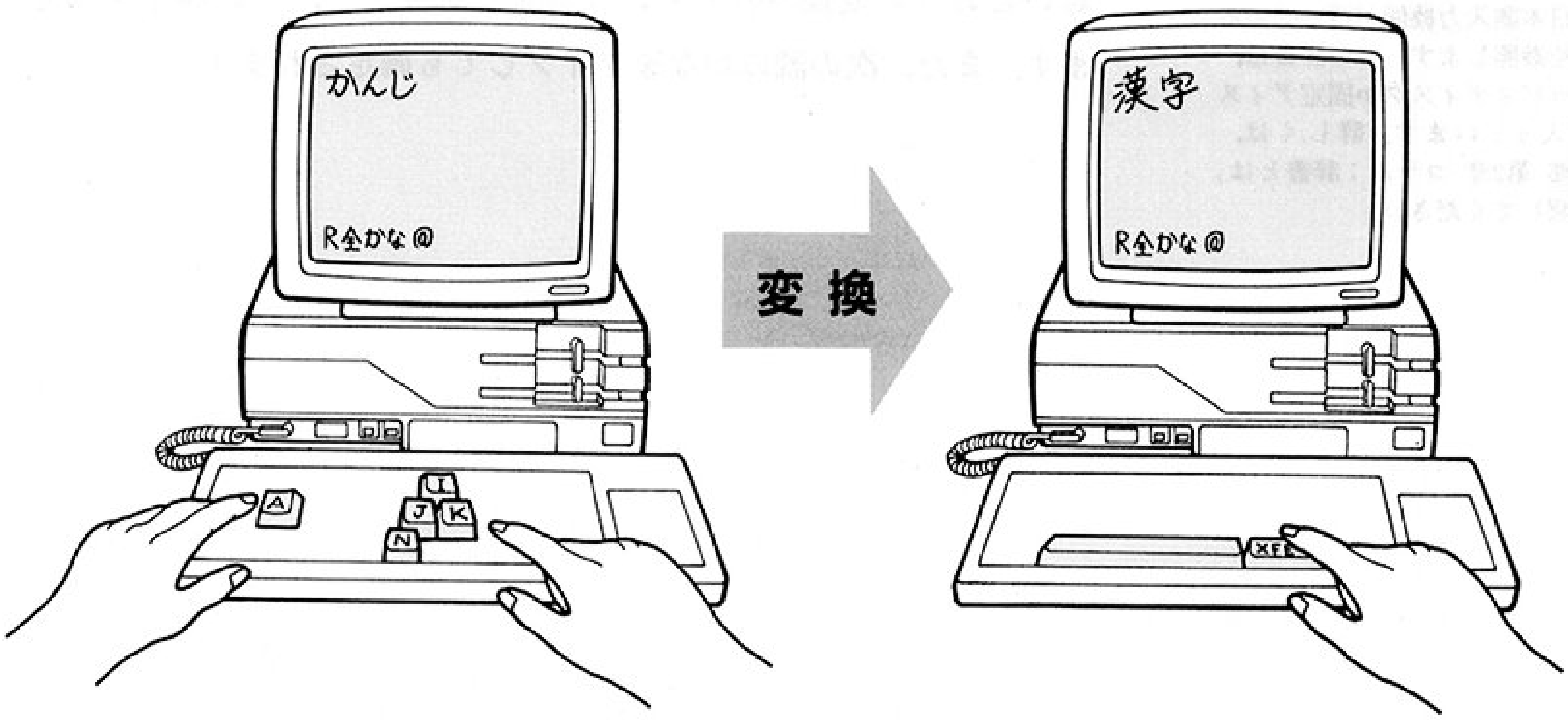
パソコンのキーボードにはアルファベットやカタカナ，英記号など様々な文字が印刷されています．

キーボードを叩くと，これらの文字が画面に表示されます．しかし，カナキーを押してカタカナをタイプすることはできても，漢字やひらがなは，そのままではタイプできません．

そこで考え出されたのが，本書で説明する日本語入力機能です．

1.1 日本語入力機能とは

日本語入力機能を使うと，タイプしたい単語や文章の読みがなをキーボードからタイプして，それを漢字かな交じり文に変換することができます．こうして，パソコンで容易に漢字やひらがなをタイプできるようになります．



K A N N J I

スペース（または XFER）

1.2 漢字をタイプする手順

日本語入力機能を使って漢字をタイプするための基本的な流れは，次のようになっています．

①読みがなをタイプする

タイプしたい漢字の読みがなを，キーボードからタイプします．タイプする文字は，キーボード上のローマ字でもカタカナでもかまいません．

例：たいこ（[T] [A] [I] [K] [O] または [タ] [イ] [コ]）

②漢字に変換する

変換キー（スペースキーまたは [XFER] キー）を押すと，前の手順でタイプした読みがなが漢字に変換されます．

例：たいこ→太古

③次候補を表示する

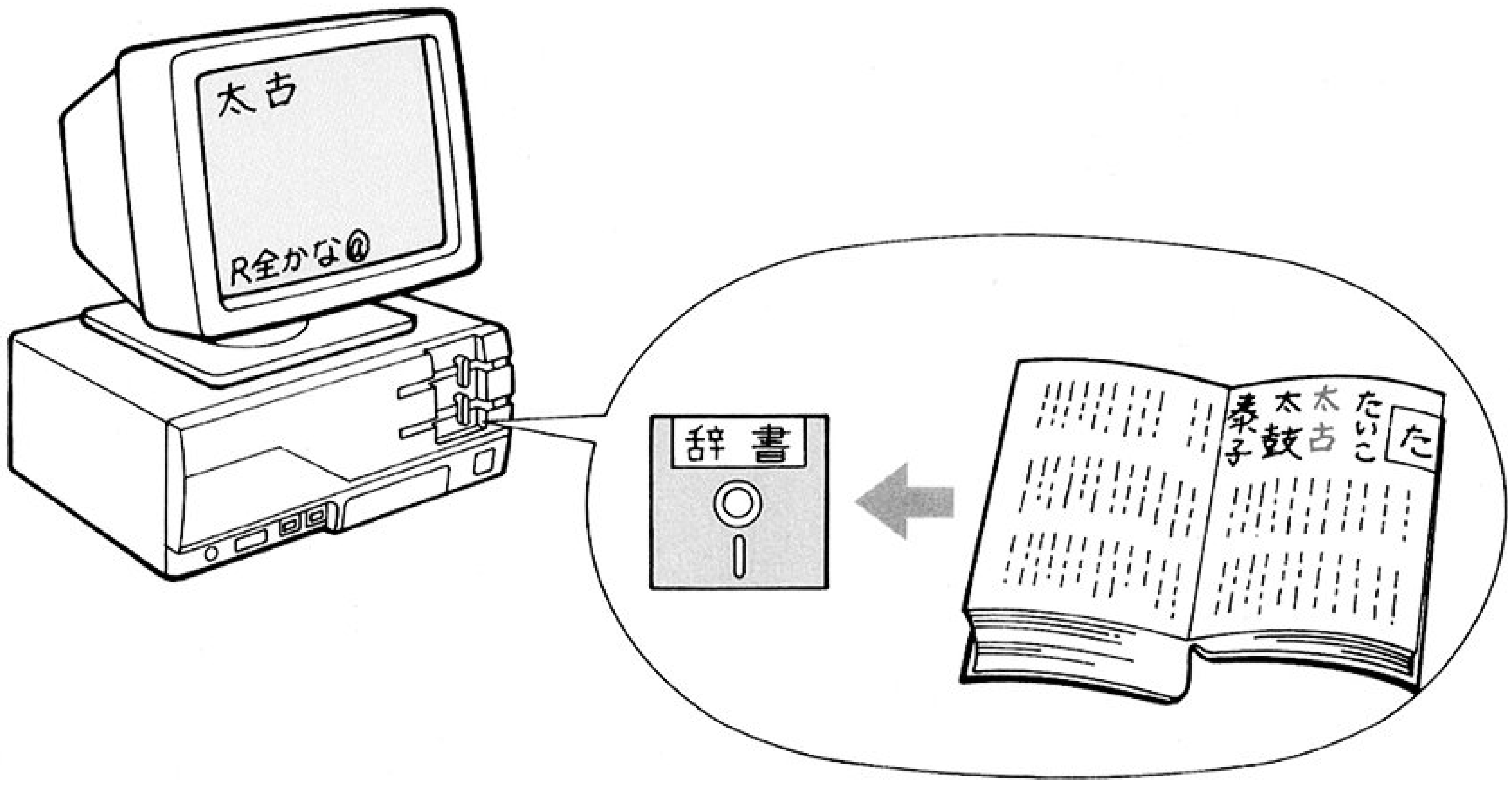
1回の変換で希望する漢字にならなかった場合は，変換キーを何度か押して，変換し直し，目的の漢字を選択することができます．

例：太鼓

④漢字を確定する

思いどおりに変換されたら，[↵] キーを押して，その漢字を確定します．また，次の読みがなをタイプしても確定されます．

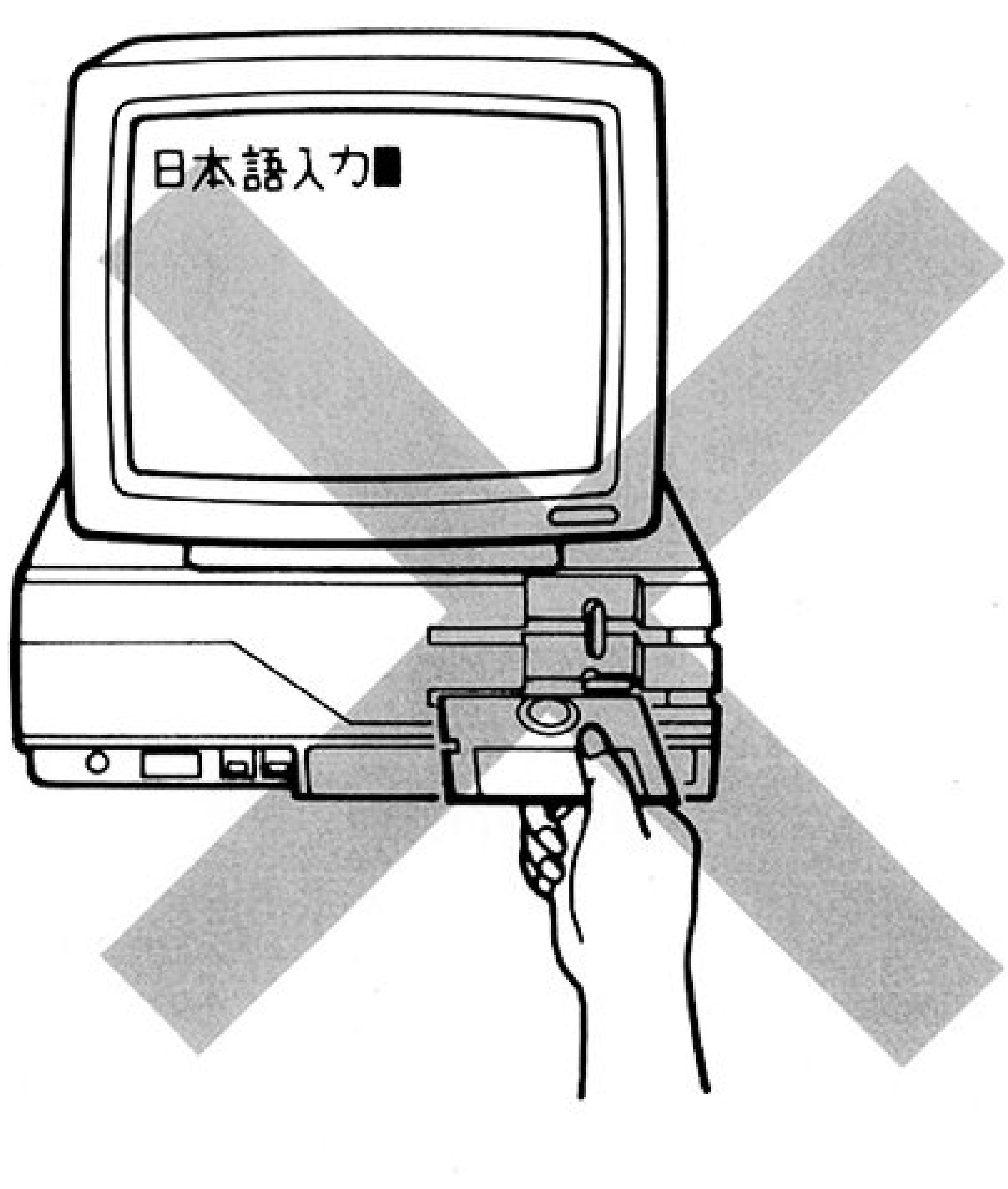
参考：読みがなを漢字に変換したり，次候補を表示したりするときは，日本語入力機能が持っている辞書を参照します．この辞書は，フロッピィディスクか固定ディスクに入っています．詳しくは，「第3部 第2章 コラム：辞書とは」を参照してください．



●日本語入力機能を使う上での注意

・パソコン本体にJIS第２水準漢字ROMが装備されていない場合，JIS第２水準漢字を表示することはできません．

・日本語入力ができる状態になっている（画面に「R全かな＠」などの表示がある）場合は，辞書ファイルの入ったディスクを抜かないでください．辞書ファイルの入ったディスクを抜いた後，同じドライブに他のディスクを入れると，そのディスクの内容が破壊されることがあります．

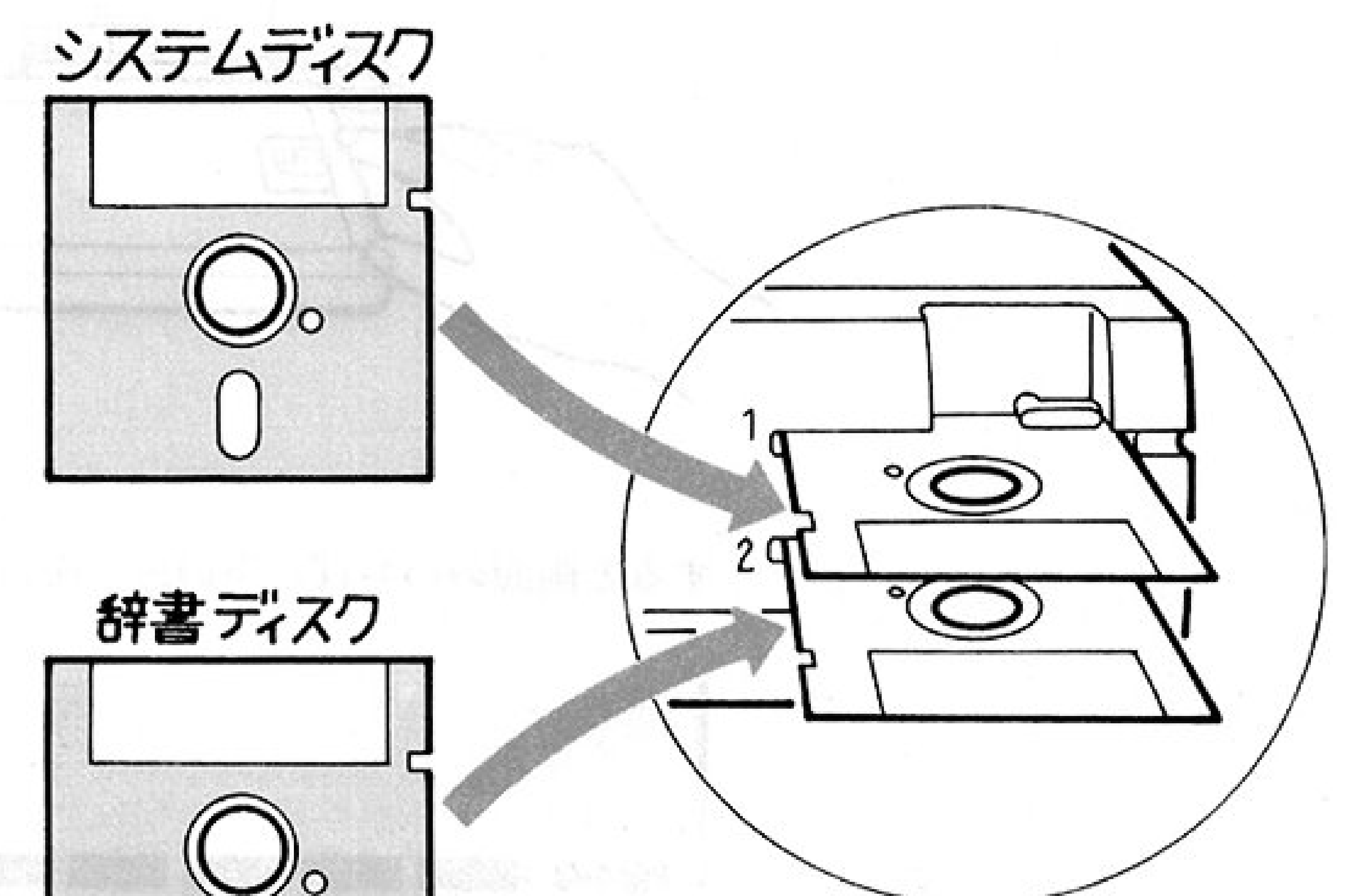


第2章 基本的な用語とキー操作

この章は，第２部でかな漢字変換の実習をするための準備作業です．日本語入力機能で使うキー操作や，画面の見方を覚えます．

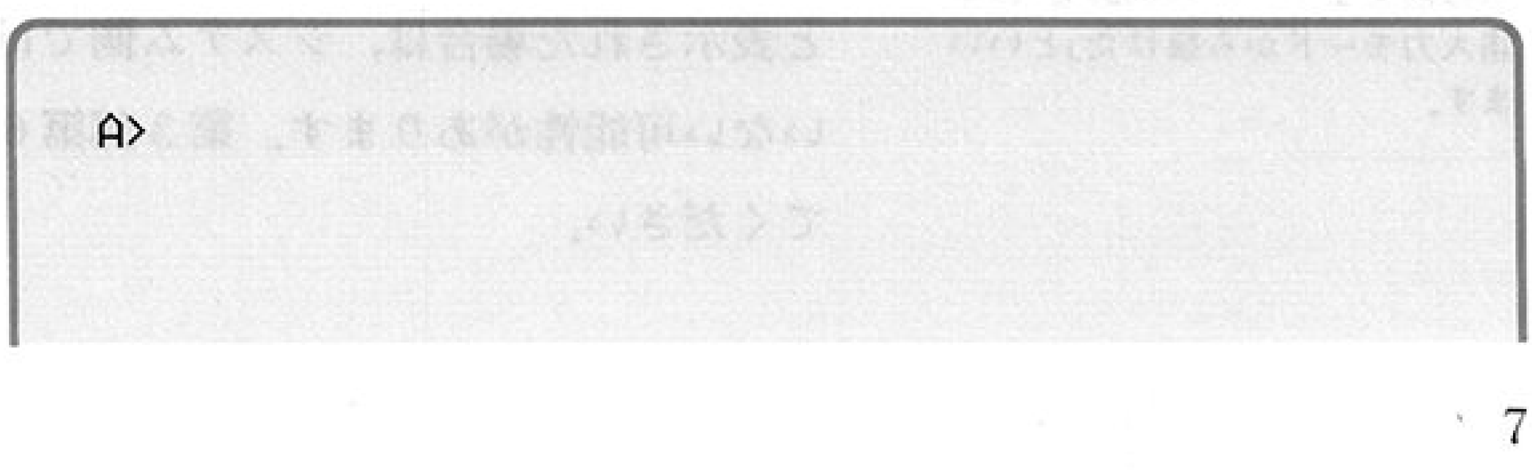
まず，パソコンの電源を入れます．

日本語入力機能を使うには，お買い上げいただいたシステムディスクで準備作業をする必要があります．まず，『インストールガイド』または『ユーザーズガイド』を参照して，固定ディスクまたは別のフロッピィディスクにMS-DOSシステムを導入（それぞれのディスクでMS-DOSを起動，運用できるようにする操作）してください．



画面にMS-DOSのシステムプロンプトが表示されたら準備は完了です．

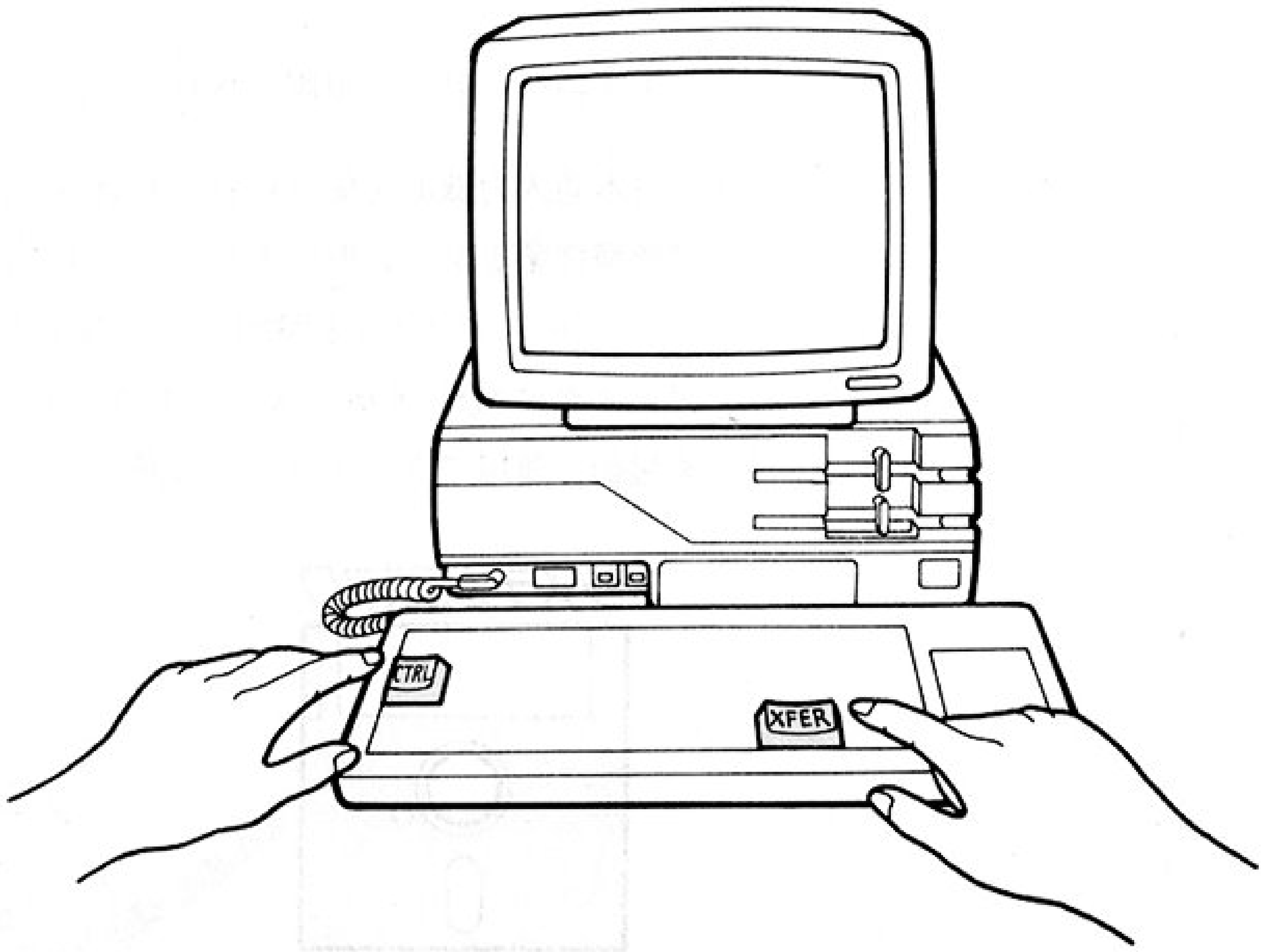
参考：MENUコマンドを終わらせると，右のようなプロンプトが表示されます．詳しくは『MS-DOS ユーザーズガイド』をご覧ください．



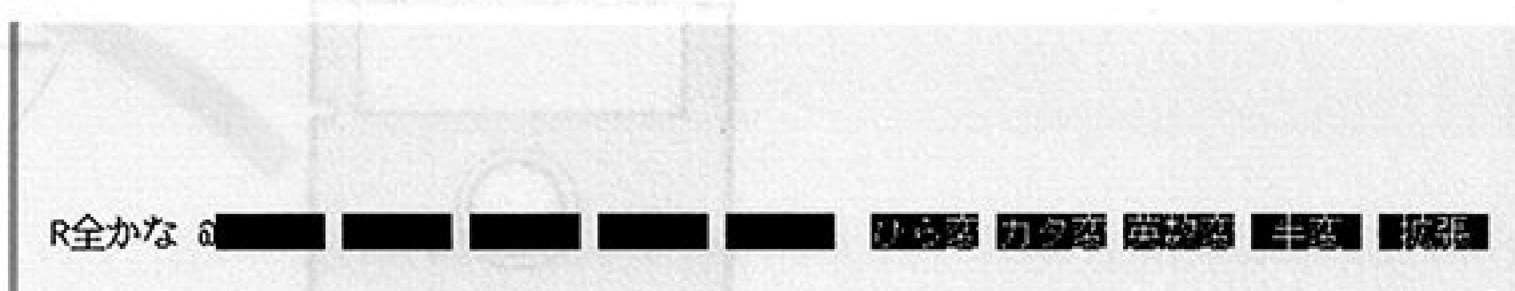
2.1　日本語入力モードに入る　CTRL＋XFER

日本語入力機能が使える状態のことを「日本語入力モード」と呼びます．

日本語入力モードに入るには，以下のイラストのように両手を使って，CTRL キーを押したまま XFER キーを押してください．（本書では，これ以降，このようなキー操作を「CTRL ＋ XFER キーを押す．」と記述します．）



すると画面のいちばん下の行に次のような表示が出ます．



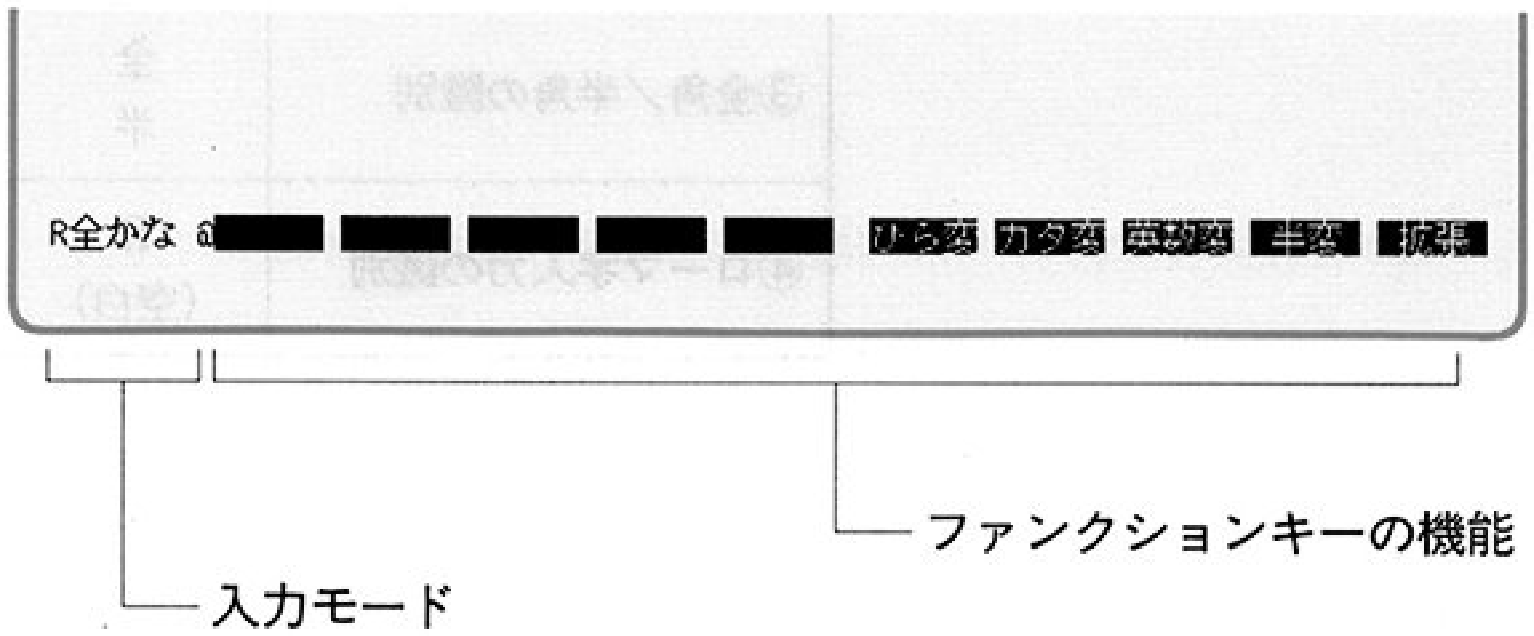
これで，日本語のタイプができるようになりました．この状態を「日本語入力モードに入った」といいます．

このように表示されず，「〔16進〕」または，「辞書がありません」などと表示された場合は，システム側で日本語入力機能を使う準備ができていない可能性があります．第3部第6章を参照して，必要な設定を行ってください．

参考：日本語入力モードに入る前の状態に戻したい場合は，もう一度，CTRL ＋ XFER キーを押します．画面のいちばん下の行の表示は消えます．この状態を「日本語入力モードから抜けた」といいます．

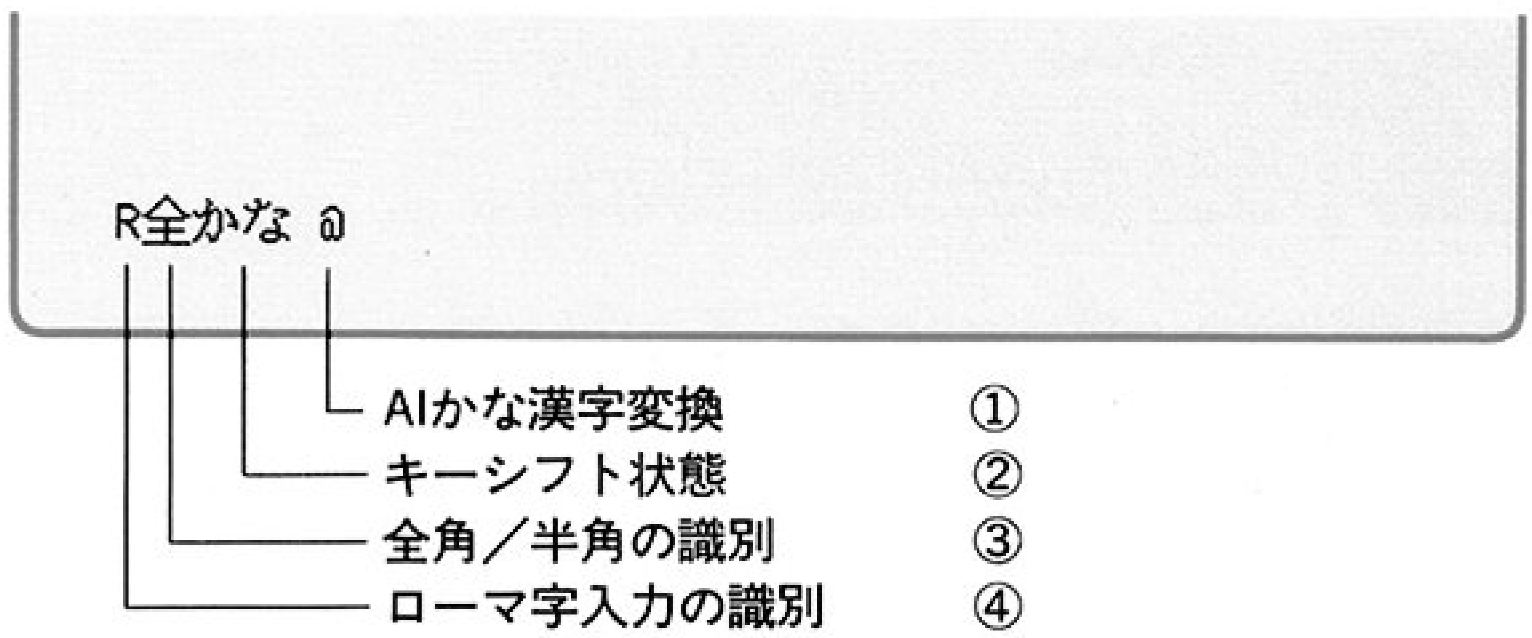
2.2　画面の説明

[CTRL]＋[XFER]キーを押して日本語入力モードに入ると，画面のいちばん下の行に次のように表示されます．この表示を日本語入力モードの「ガイドライン」と呼びます．



●入力モード

キーボードをタイプしたときに，どのような文字が画面に表示されるか，また，読みがなのタイプの方法(ローマ字またはカタカナ)などを表しています．ここではガイド表示の見方を簡単に説明します．さらに詳しく知りたい方は，「付録A　入力モードとガイドライン」を参照してください．



	画面表示	表示の意味
① AI かな漢字変換	(空白) @	AI 変換を行わない AI 変換を行う
②キーシフト状態	かな カナ 英数	読みがなをひらがなで表示 読みがなをカタカナで表示 読みがなを英数字，英記号で表示 (ローマ字入力時のみ)
③全角／半角の識別	全 半	全角文字 半角文字
④ローマ字入力の識別	R (空白)	ローマ字入力 カナ，英字入力

2.3　ローマ字入力／カナ入力　[カナ]

パソコンに対して，キーボードなどから何かを打ち込むことを「入力する」といいます．前にも説明したように，漢字をタイプするには，まず読みがなを入力することが必要です．その場合の読みがなは，ローマ字でタイプしてもカタカナでタイプしても構いません．自分が慣れている方，やりやすい方でタイプしてください．

例えば，「空に」の読み「そらに」をタイプする場合，キーボードからどちらの方法でタイプしても構いません．

- [S] [O] [R] [A] [N] [I]
- [ソ] [ラ] [ニ]

読みがなをローマ字でタイプする方法を「ローマ字入力」，カタカナでタイプする方法を「カナ入力」と呼びます．

日本語入力モードに入ると，ローマ字入力ができる状態になっています．カナ入力をするには，キーボードの左下の方にある[カナ]キーを押してロックしてください．[カナ]キーは，一度押すとロックされます．こうするとキーボードからは英数字でなく，カタカナがタイプできるようになります．もう一度押すとロックは解除されます．

なお，ローマ字入力では，子音がそのまま英字で表示され，母音が入力された時点で，ひらがな（またはカタカナ）になって表示されます．

- [S] → S
- [O] → そ
- [R] → そR
- [A] → そら

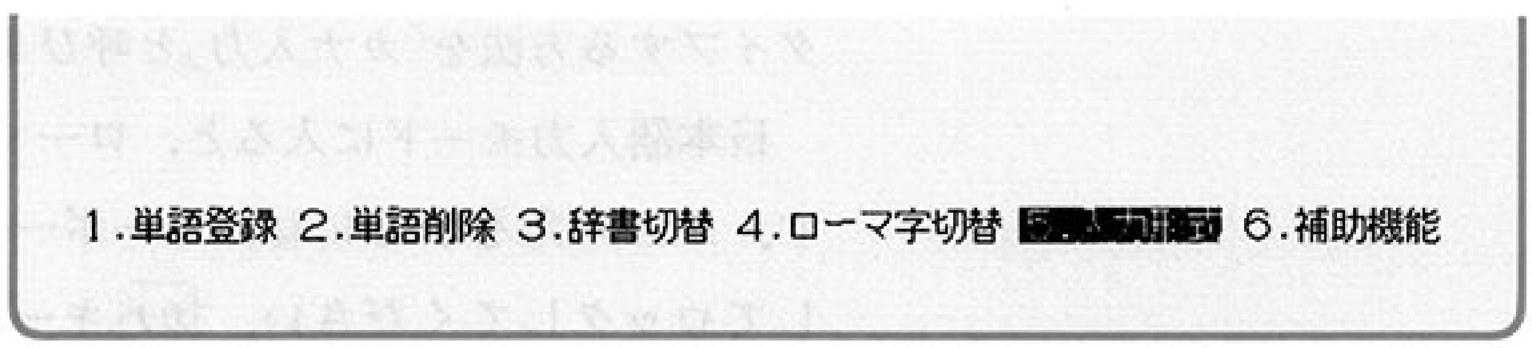
2.4　直接入力／間接入力

タイプした文字をどこに表示して変換するかを決定するのが，「文字入力位置」の指定です．これは「直接入力モード」あるいは「間接入力モード」の2種類から選択します．

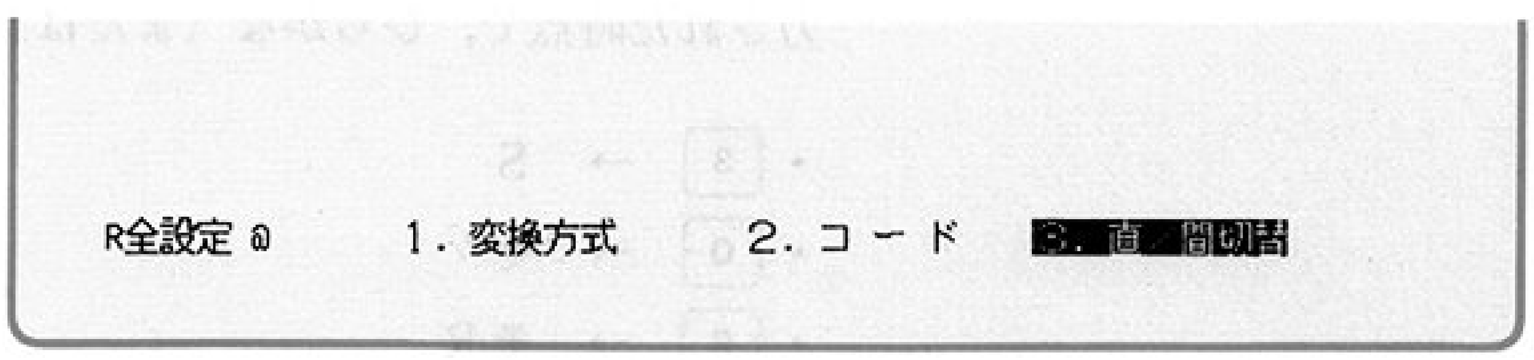
直接入力モードは，画面上のカーソル位置で直接かな漢字変換を行うものです．

間接入力モードは，一度ガイドライン上で読みがなのタイプと漢字への変換を行った後，[⏎]キーを押して画面上のカーソル位置に文字を移動するものです．

直接入力モード／間接入力モードを切り替えるには，まず[f·10]キーを押して拡張機能メニューを表示させ，メニューで選択していきます．



↓ [⏎]キーを押す

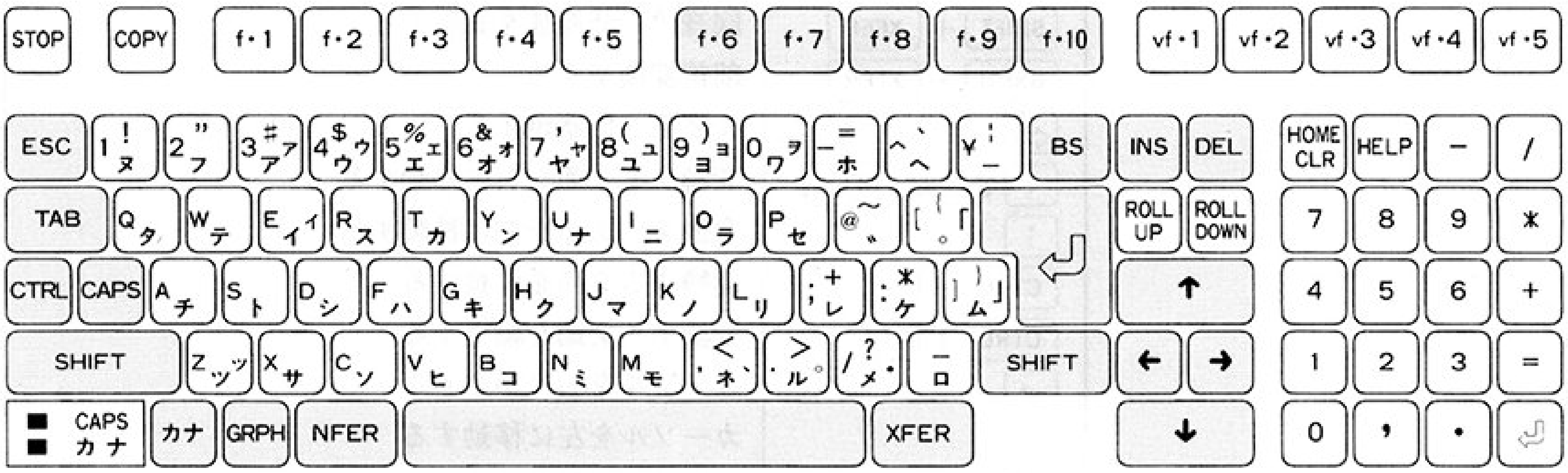


文字のタイプ中に直接入力モード／間接入力モードの切り替えはできません．また，辞書ファイルがディスク内にないとブザーが鳴り，切り替えできません．

2.5　日本語入力キー操作一覧

日本語入力機能で使用するキーは，キーボード上の次の位置にあります．ただし機種によりキーの種類や配置が異なる場合があります．

PC-9800，PC-H98シリーズ



PC-9801Nシリーズ



次に各キーの機能について説明します．

キー	機　能
CTRL + XFER	日本語入力モードに入る
XFER　または スペース(注)	読みがなを漢字に変換する．または，同音語の次候補を表示する
SHIFT + XFER	同音語の前候補を表示する
GRPH + XFER	部首変換をする
↵	文字を一括確定する
↓ または NFER	変換する文節を右に移動する
↑	変換する文節を左に移動する
CTRL + →	変換する文節を延長する
CTRL + ←	変換する文節を縮小する
→	カーソルを右に移動する
←	カーソルを左に移動する
ESC	変換前の状態に戻す
カナ	(ロックした状態で)カナ入力
CAPS	(ロックした状態で)大文字の英字入力
BS	カーソルの直前の文字を削除する
DEL	カーソルがある位置の文字を削除する
f･6	ひらがなに変換する
f･7	カタカナに変換する
f･8	ローマ字入力の際，入力したローマ字に戻す
f･9	半角の英数，カタカナに変換する
f･10	拡張機能
SHIFT + f･6	タイプした読みがなをひらがなで表示する
SHIFT + f･7	タイプした読みがなをカタカナで表示する
SHIFT + f･8	タイプした読みがなを英文字で表示する
SHIFT + f･9	全角と半角を切り替える
SHIFT + f･10	文字コード番号で入力する
TAB	変換前の文字を一括確定する
INS	挿入／上書きモードを切り替える

(注) 読みがなが表示されていない状態でスペースキーを押すと，空白の入力となります．

[f･10]（拡張機能）を押すと画面最下行にメニューが表示されます．このメニューでは以下の項目を設定できます．

メニュー項目	機　能
単語登録	単語登録モードに入る
単語削除	登録した単語を削除する
辞書切り替え	辞書を切り替える
ローマ字切り替え	ローマ字モードのON/OFF
入力形式	入力形式に関する設定のサブメニューを表示する
補助機能	学習機能などを設定するサブメニューを表示する

「入力形式」で設定できる項目

「入力形式」で設定できる項目	
変換方式	変換方式を変更する
コード	[SHIFT]＋[f･10]で入力する文字コード体系を変更する
直／間切り替え	直接入力／間接入力を切り替える

「補助機能」で設定できる項目

「補助機能」で設定できる項目	
学習	学習機能のON/OFF
句読点変換	句読点変換のON/OFF
同音語指定	同音異義語候補の表示方法の設定

以後，これらの各項目の詳細について説明する際，[f･10]-[1．単語登録]や[f･10]-[5．入力形式]-[1．変換方式]と表します．これらは[f･10]キーを押したとき表示されるメニューから選ぶ項目を示してあります．

日本語入力フロントエンドプロセッサ

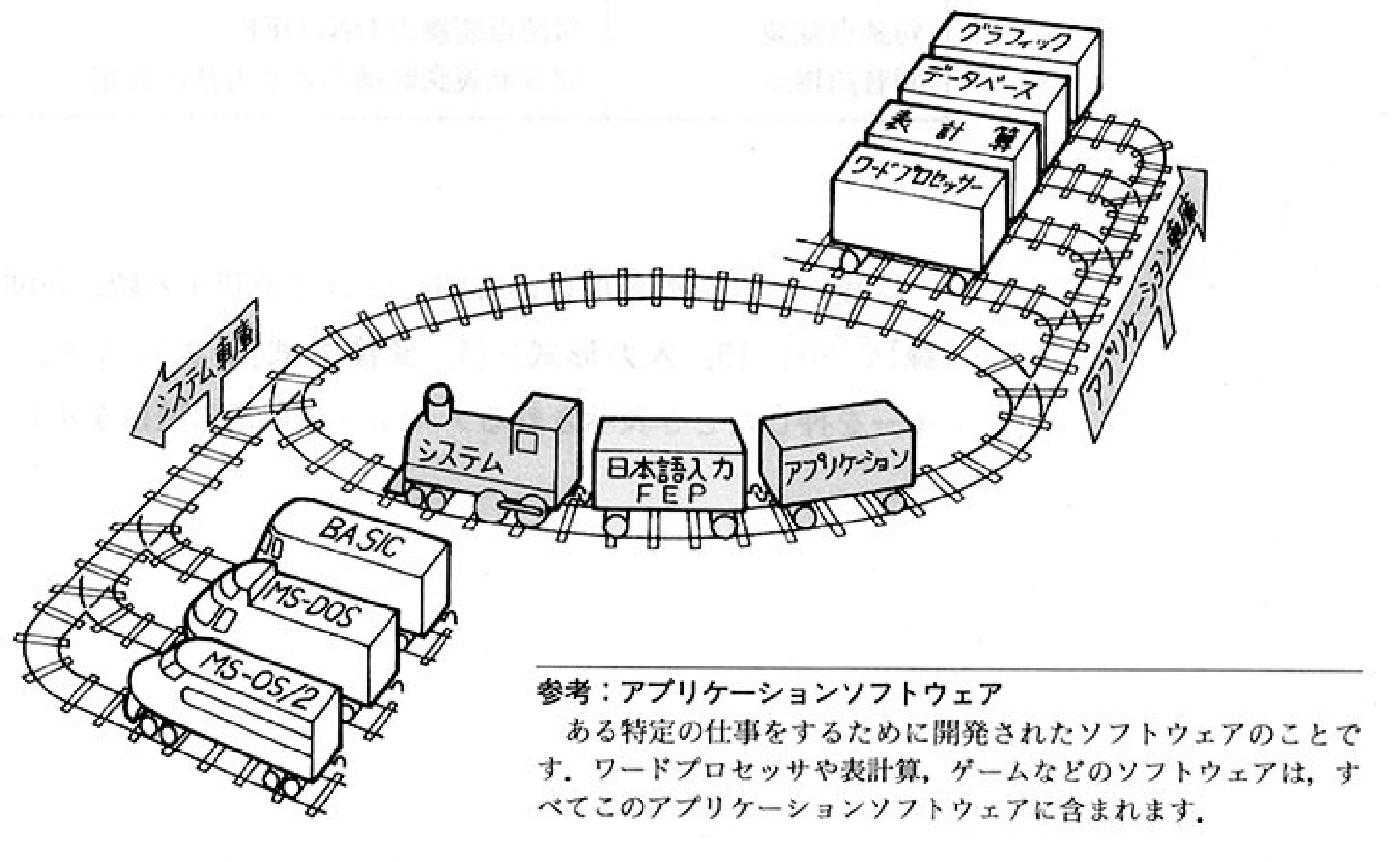
通常の状態で，キーボードを叩くと英数字が表示されます．このままでは日本語をタイプすることはできません．少し前のコンピュータでは，日本語をタイプするために，1文字1文字のコード番号をタイプして1文字ずつ表示していました．これでは，たくさんの日本語文字をタイプするために，大変な努力が必要になってしまいます．

そこで，もっと簡単に日本語文字をタイプできないかと考え出されたのが日本語入力機能です．そして，この日本語入力機能を実現しているのが，日本語入力フロントエンドプロセッサ(以降では日本語入力FEPと記述します)と呼ばれる特別なプログラムです．この日本語入力FEPを使用すると，私たちが日常使用している自然な日本語の「読みがな」から漢字へ変換する方法で日本語文字をタイプすることができます．

ところで，ワードプロセッサ専用機は日本語をタイプ，編集，印刷できます．このワードプロセッサで使用している日本語をタイプ(入力)する機能は，ワードプロセッサ専用機から切り離して使うことはできません．

これに対して，この日本語入力FEPは，1つの独立した機能としてさまざまなシステムで共通に使用することができます．たとえば，この日本語入力FEPを，あるワードプロセッサソフトで利用して日本語をタイプすることができます．また，他の表計算ソフトでも利用することができます．つまり，この日本語入力FEPは日本語をタイプする機能をもったひとつの「部品」として，いろいろなシステムやアプリケーションソフトウェアに取り付けて使用できるのです．

なお，この「部品」を取り付けるには，本書「第3部 第6章 MS-DOSでの環境設定」で説明する，システムに対する指定が必要です．



参考：アプリケーションソフトウェア
ある特定の仕事をするために開発されたソフトウェアのことです．ワードプロセッサや表計算，ゲームなどのソフトウェアは，すべてこのアプリケーションソフトウェアに含まれます．

第2部

日本語入力機能の使い方

第2部では，実際の作業を通して漢字をタイプする方法を練習します．前半では基本的なかな漢字変換の方法を説明し，後半では特殊な変換方法を説明しています．第1章で基本的な作業ができるようになったら，必要に応じて第2章～第4章をお読みください．

第1章　漢字かな交じり文をタイプする

漢字をタイプする際の基本的な流れは，キーボードから読みがなをタイプし，それを漢字に変換することです．ここでは，その流れに沿って漢字をタイプする手順を説明します．

1.1　読みがなをタイプする

例：「ピアノの音」とタイプする．

日本語入力のガイドライン（「R全かな＠」など）が表示されていることを確認します．ガイドラインが表示されていない場合は，CTRL ＋ XFER キーを押して日本語入力モードに入ります．

●ローマ字入力の場合

「PIANONOOTO」とタイプします．

●カナ入力の場合

カナ キーを押しロックして，「ピアノノオト」とタイプします．

画面には次のように表示されます．

```
ぴあののおと█

R全かな @
```

1.2　間違えてタイプした場合

読みがなを間違えてタイプした場合の修正方法は3通りあります．

●文末を修正する場合（BS キー）

BS キーを押すとカーソルの前にある文字が1文字ずつ削除できます．この方法は，文末を修正する場合に便利です．

```
ぴあののお█
R全かな ａ
```

●文中を修正する場合（← DEL キー）

例えば「ぴあのもおと」とタイプした場合は，次のように修正します．

①← キーで修正したい文字（この場合は「も」）にカーソルを合わせます．

```
ぴあのもおと
R全かな ａ
```

②DEL キーを押して「も」を削除します．

```
ぴあのおと
R全かな ａ
```

③「の」(NOまたはノ)とタイプします．

ぴあのの**お**と
R全かな ⓐ

④修正が終わったら，[→]キーでカーソルをタイプした文字の右端まで移動しておきます．

ぴあののおと▮
R全かな ⓐ

●タイプした読みを取り消す場合([ESC]キー)

[ESC]キーを押すと，タイプした読みがなが取り消されます．もう一度タイプし直したい場合に便利です．

1.3　漢字に変換する　　スペース/XFER

読みがながタイプできたら，スペースキーまたは XFER キーを押して，漢字に変換します．変換された最初の単語(文節)が反転表示されます．

```
ピアノの音
R全かな
```

参考：句読点(、。，．など)をタイプしても，漢字に変換されます．また，変換する際は「ピアノ」などの外来語は上の例のようにカタカナに変換されます．

日本語入力機能では，反転している部分を単位として変換しています．この単位は，単語や文節です．本書ではこれ以降，この変換の単位となる部分を「文節」と呼びます．

希望する漢字が表示された場合は，これで確定しますので ↵ キーを押します．

希望する漢字に変換されなかった場合は，いくつかの原因が考えられますので，次に挙げた原因の中から現在の状況に合うものを探して，それぞれの指示に従って修正してください．

(原因1)　読みを間違えてタイプした
……ESC キーを押し，1.2の方法で修正

(原因2)　単語(文節)の切れ目が間違っている
……1.4の方法で修正

(原因3)　一部うまく変換されていない個所がある
……1.5の方法で修正

(原因4)　同音異義語に変換されている
……1.6の方法で修正

1.4 文節を区切り直す　CTRL＋←／→

「地区毎に」と表示させたいため，「ちくごとに」とタイプし，変換したところ，次のように表示されたとします．

```
筑後とに
R全かな ⓐ
```

この場合は，次の手順で「ちく-ごとに」と文節を区切り直します．

反転部分が「地区」になるまで CTRL ＋ ← キーを数回押します．

```
地区事に
R全かな ⓐ
```

ここで，反転部分が「地区」ではなく，「知久」のような同音異義語になっていた場合は，目的の漢字が表示されるまでスペースキーまたは XFER キーを押します．詳細は，1.6を参照してください．

これで文節の区切り直しは完了しました．この例では，前半は正しく変換されていますが，後半は修正が必要です．後半を修正するには，

・1.5で変換する文節を変更し，

・1.6で同音語から目的の漢字を選択します．

参考：この例では，CTRL ＋ ← キーで変換する文節を短くしましたが，長くしたい場合は CTRL ＋ → キーを使います．

1.5 変換する文節を変更する　[↑]/[↓]（[NFER]）

```
地図事に
R全かな @
```

参考：変換する文節（反転部分）を右に移動する場合は[↓]キーを押し，左に移動させる場合は[↑]キーを押します．

注意：最後（右端）の文節が反転している状態で[↓]キーを押すと，すべて確定します．

ここで「事に」を変換可能な文節にするには，[↓]（または[NFER]）キーを押します．

```
地図事に
R全かな @
```

「事に」が反転されました．これで，この部分が変換できるようになりました．1.6で同音語から目的の漢字を選択してください．

1.6　同音語から目的の漢字を選択する　スペース/XFER

```
地区事に

R全かな @
```

スペースキーまたは XFER キーを押すと，「事に」の次項補が表示されます．何回か押して，「毎に」を表示させます．「地区毎に」と希望通りに表示されたら，⏎ キーを押して確定します．

●同音異義語が多い場合

例えば「地区」（ちく）などのように同音異義語が多い場合は，スペースキーまたは XFER キーを何回か押していると，画面の下の方に，次のような候補群が表示されます．

```
R全かな @      1[illegible] 2蓄 3竹 4筑 5畜 6逐 7竺
```

この状態での各キーの役割は次の通りです．

1 〜 9	……該当する番号の候補を選択する
⏎	……反転している候補を選択する
← →	……候補群の中で反転部分を（左右に）移動させる
スペースキー	……候補群の中で反転部分を右に移動させる
XFER	……次の候補群を表示する
SHIFT ＋ XFER	……前の候補群を表示する

参考：右端の候補が反転しているときにスペースキーを押すと，次の候補群が表示されます．

これで基本的な漢字のタイプ方法の説明は終わりです．確定後に⏎キーを押すと次のようなメッセージが表示されますが，これは，タイプした内容がパソコンにとって意味のないものであることを表すメッセージですので無視して構いません．

コマンドまたはファイル名が違います．

第2章　読みがわからない漢字のタイプ方法

第１章では読みがなをタイプして，それを漢字に変換する方法を紹介しました．人名漢字の中には，複雑で適当な読みがわからないものがあります．このような漢字をタイプするには，その漢字の部首を基に変換したり，漢字コード表からその漢字コードを調べて，コードを基に変換したりします．

2.1　部首がわかる場合（部首選択）　GRPH ＋ XFER

特殊な漢字(JIS第２水準)や一部の特殊記号は「部首選択」という変換方法を使ってタイプできます．この方法では，漢字の部首の「読み」をタイプして漢字に変換します．

例：「凉」という文字をタイプする

この漢字の部首は「冫」です．

「付録E　部首の読み一覧表」で調べると，「冫」の読みは「ん」または「に」となっています．

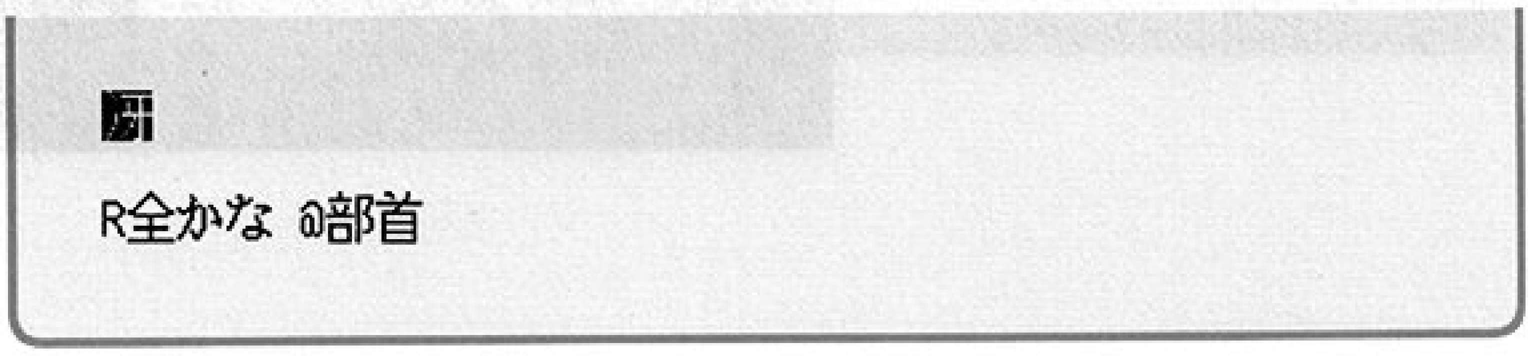
①日本語入力モードになっている状態で，部首の読みをタイプします．

この場合は，「ん」または「に」とタイプします．

```
ん█
R全かな @
```

②GRPH + XFER キーで漢字に変換します．

指定した部首の漢字が画面に表示されます．



次候補を表示するには，スペースキーまたは XFER キーを押します．

前候補に戻るには，SHIFT + XFER キーを押します．

③希望の候補が表示されたら，⏎ キーで確定します．

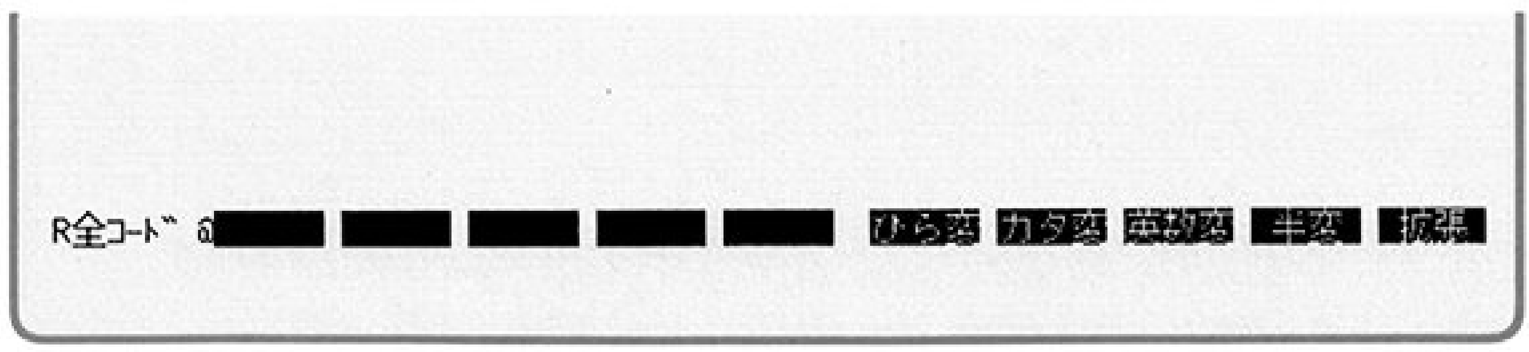
2.2　漢字コードがわかる場合（コード入力）　SHIFT ＋ f･10

「付録F 漢字コード表」を参照すると，文字や記号にはすべて番号がつけられて管理されています．この番号を「漢字コード」と呼びます．タイプしたい文字の漢字コードがわかれば，コード入力という方法を使ってタイプできます．

例：「凰」という文字をJISコードを使ってタイプする

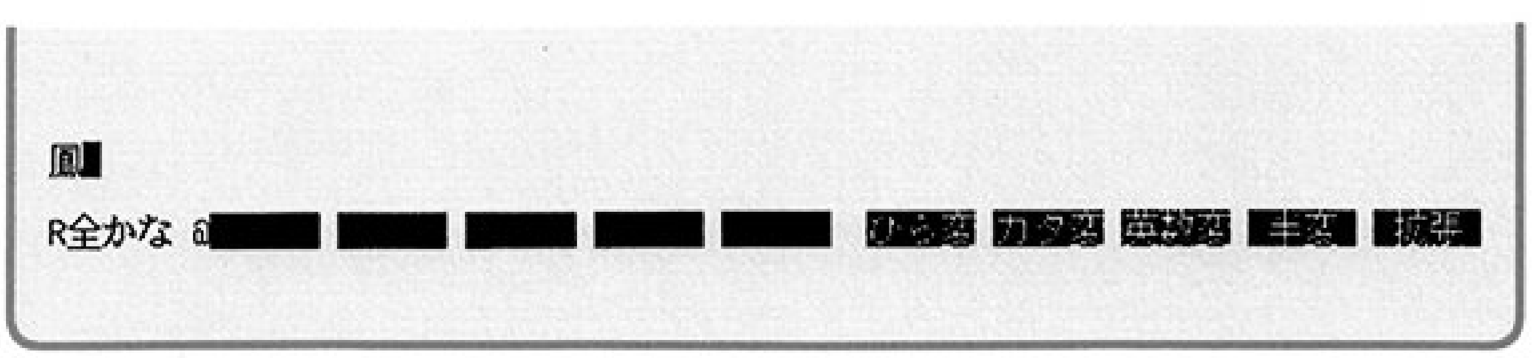
「付録F　漢字コード表」で調べると，この漢字のJISコードは「5160」であることがわかります．

①日本語入力モードになっている状態で，SHIFT ＋ f･10 キーを押します．



②漢字コードをタイプします．

この場合は，「5160」とタイプします．タイプした数字は表示されません．



タイプしたコードに該当する文字が表示され，コード入力は終了します．

数字を間違えて入力した場合は，一度 ESC キーでコード入力の状態から抜け，再度やり直してください．

参考：JIS以外のコード体系（シフトJIS，区点など）を使うこともできます．コード体系を変更したい場合は，「第3部 第4章 4.1」を参照してください．

第3章　漢字以外の文字や記号のタイプ方法

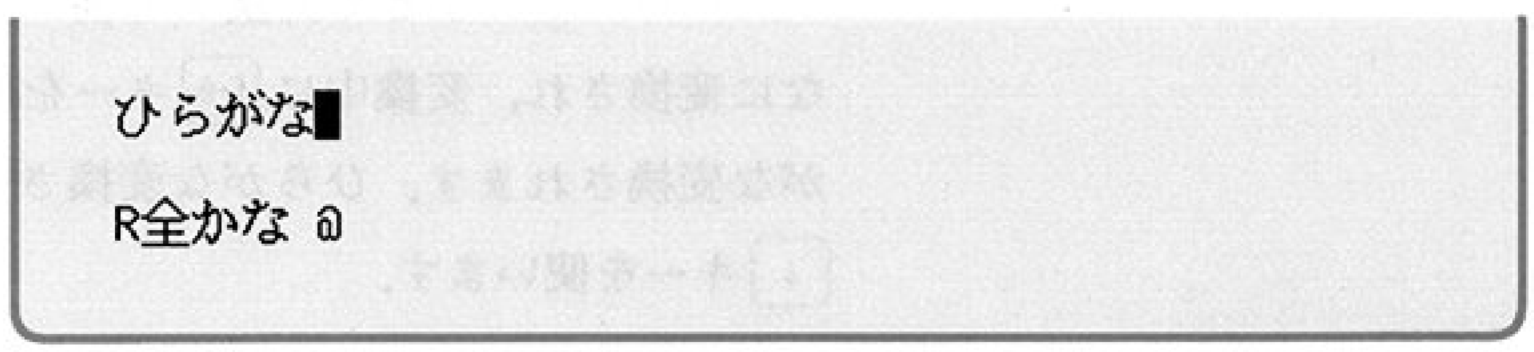
本章では，漢字に変換したくない文字の処理方法や，記号のタイプ方法を紹介します．

3.1　ひらがなのタイプ

●ひらがなだけをタイプする

ひらがなだけをタイプしたい場合は，読みがなをタイプしたら，スペースキーなどで変換せずに，[⏎]キーを押して確定します．次に例を示します．

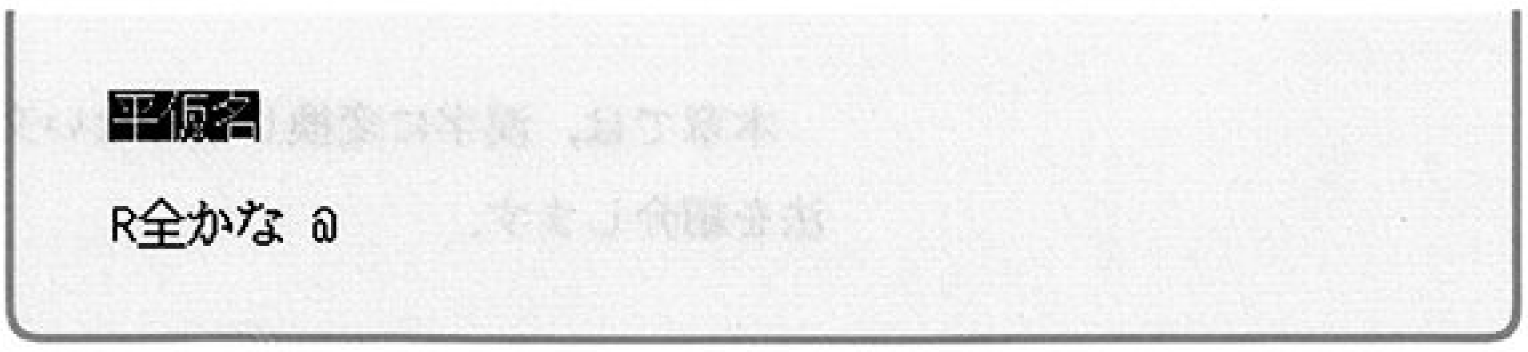
①読みがなをタイプします．



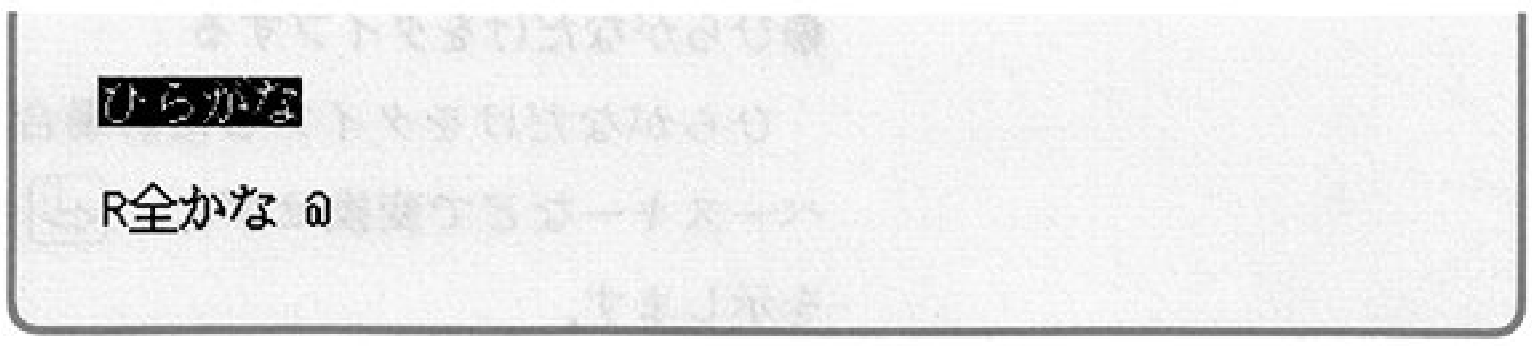
②[⏎]キーを押して確定します．

●漢字やカタカナ，英字をひらがなにする（ひらがな変換）

タイプした読みがながすでに漢字などに変換されている場合や，キーシフト状態が「カタカナ」あるいは「英数」になっている場合に，表示されている文字をひらがなにするには，[f･6]キーを押して，ひらがな変換します．次に例を示します．



①[f･6]キーを押します．



②[⏎]キーを押して確定します．

スペースキーなどで変換する前に[f･6]キーを押すと，すべてひらがなに変換され，変換中に[f･6]キーを押すと，反転している部分がひらがな変換されます．ひらがな変換させたい部分を変更するには，[↑][↓]キーを使います．

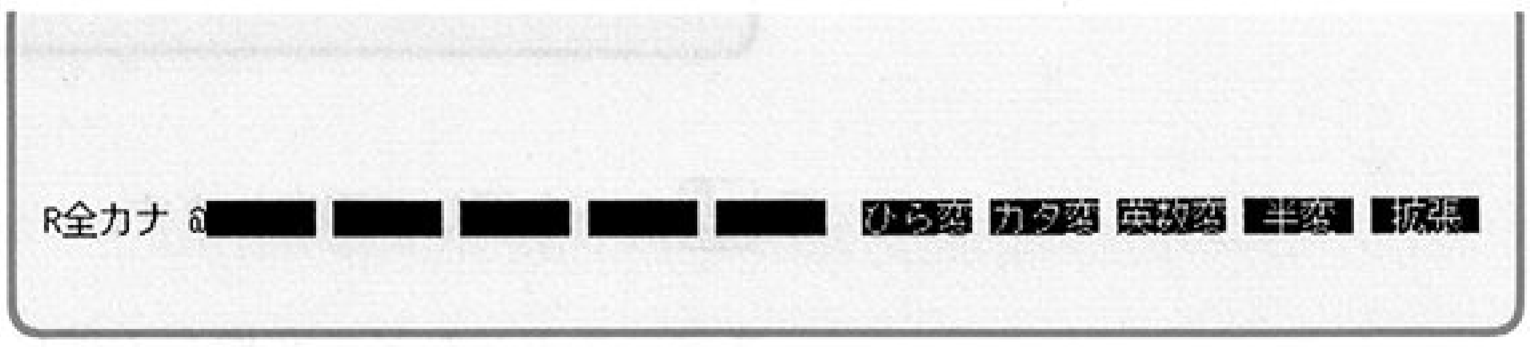
3.2　カタカナのタイプ

一般的によく使われる外来語などは，あらかじめ辞書に登録してあるので，スペースキーなどで変換するとカタカナに変換されます．ここでは，通常のかな漢字変換でカタカナに変換されない単語をカタカナにする方法を説明します．

●カタカナだけをタイプする（カタカナシフト）

キーシフト状態を「カタカナ」に変更することで，タイプした読みがなをひらがなではなくカタカナで表示させることができます．

・ SHIFT ＋ f･7 キーを押します．
　ガイドラインが次のように変わります．

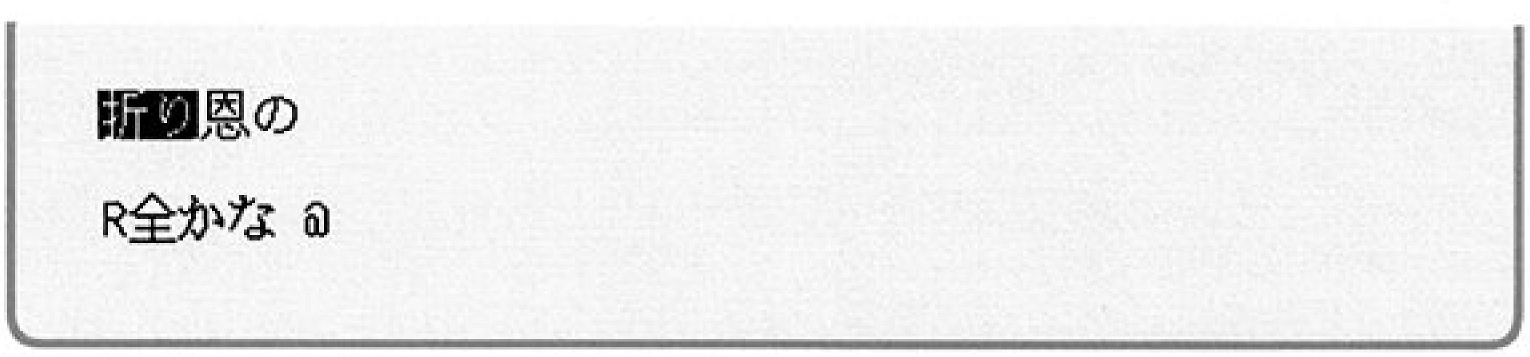


この状態でタイプした読みがなは，カタカナで表示されます． ⏎ キーを押すとそのまま確定し，スペースキー，または XFER キーを押すと漢字かな交じり文に変換されます．

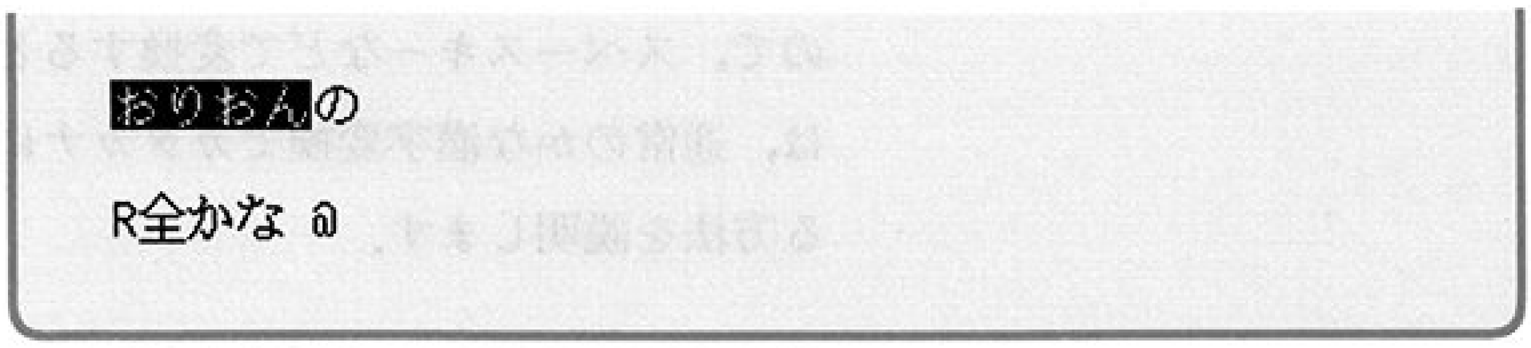
●漢字やひらがな，英字をカタカナにする（カタカナ変換）

表示されている（確定前の）文字をカタカナにするには， f･7 キーを押して，カタカナ変換します．次に例を示します．

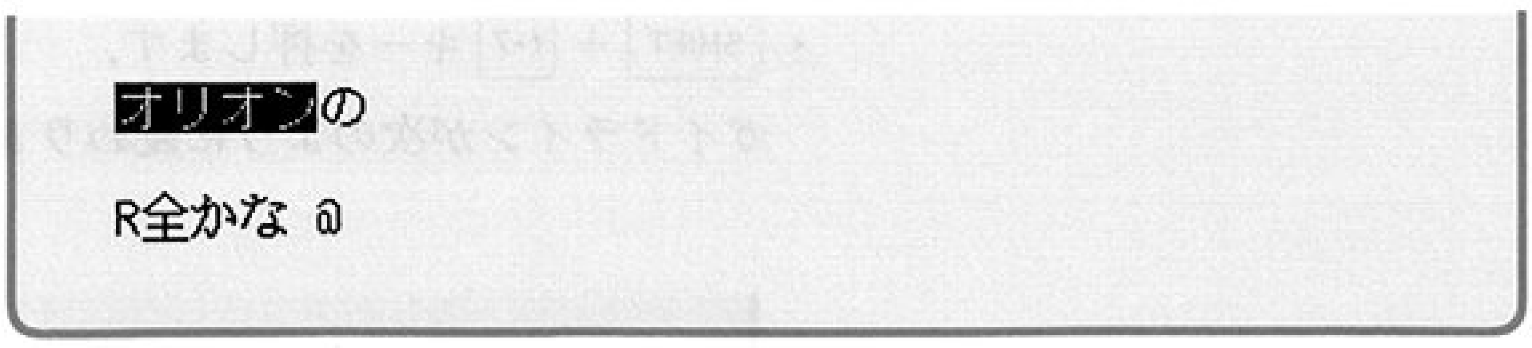
例：「オリオンの」と変換したかったのにカタカナに変換されなかった



①文節が「おり-おんの」と区切られているので，[CTRL]＋[→]キーで「おりおん」を一つの文節にします．



②[f･7]キーを押します．



③[↵]キーを押して確定します．

スペースキーなどで変換する前に[f･7]キーを押すと，すべての文字がカタカナ変換され，変換中に[f･7]キーを押すと，反転している部分がカタカナ変換されます．カタカナ変換させたい部分を変更するには，[↑][↓]キーを使います．

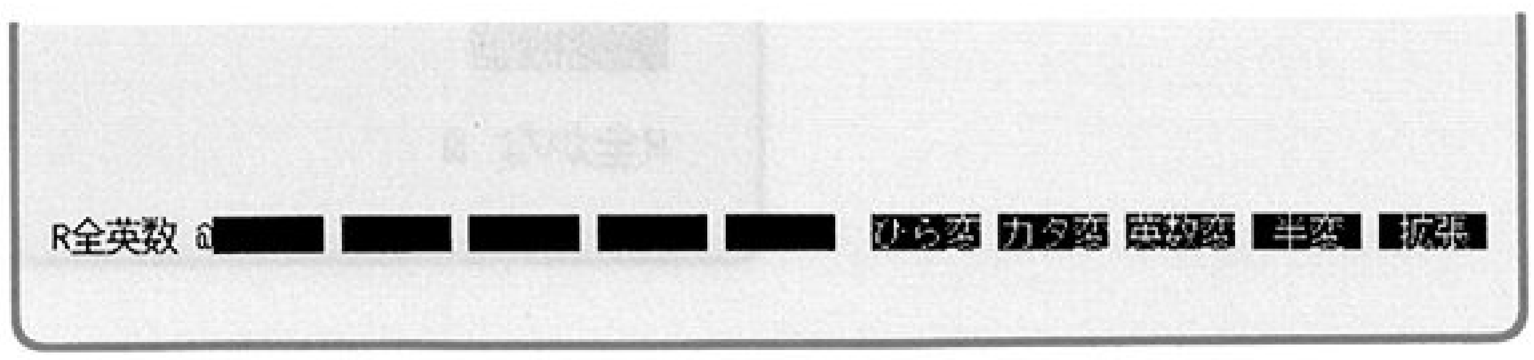
3.3　英数字のタイプ

カナ入力をしている方が英数字をタイプするときは，カナ キーを押しロックをはずしておいてください．

●英数字だけをタイプする（英数シフト）

キーシフト状態を「英数」に変更することで，タイプした読みがなを英数字で表示させることができます．

- SHIFT ＋ f･8 キーを押します．
  ガイドラインが次のように変わります．

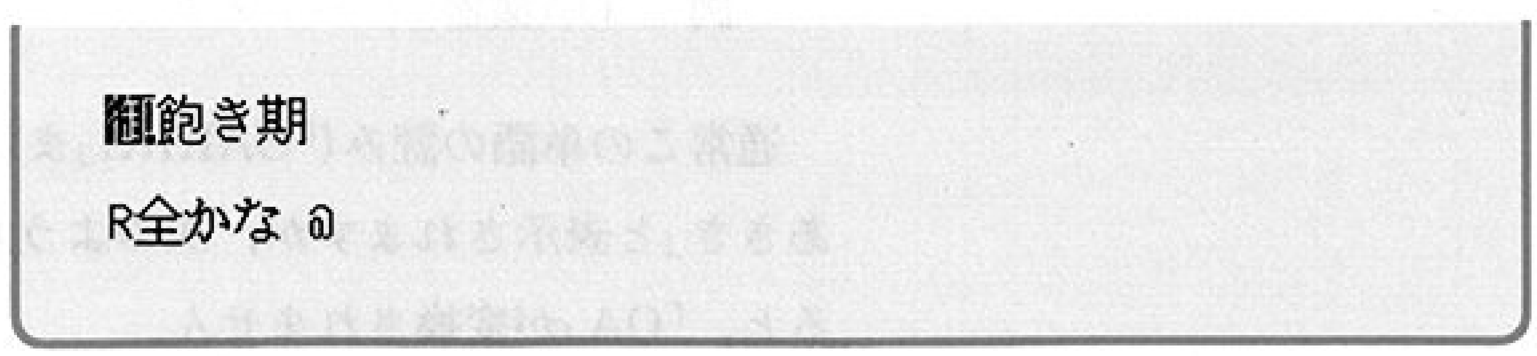


この状態でタイプした読みがなは，英数字で表示されます．⏎ キーを押すとそのまま確定し，スペースキー，または XFER キーを押すと漢字かな交じり文に変換されます．

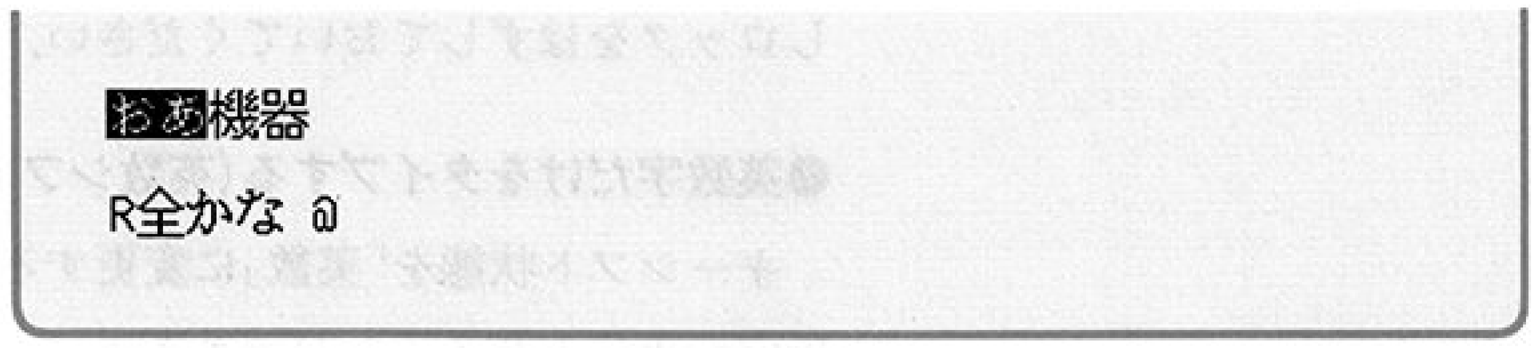
●漢字やひらがな，カタカナを英字にする（英数変換）

表示されている（確定前の）文字を英字にするには，f･8 キーを押して，英数変換します．次に例を示します．

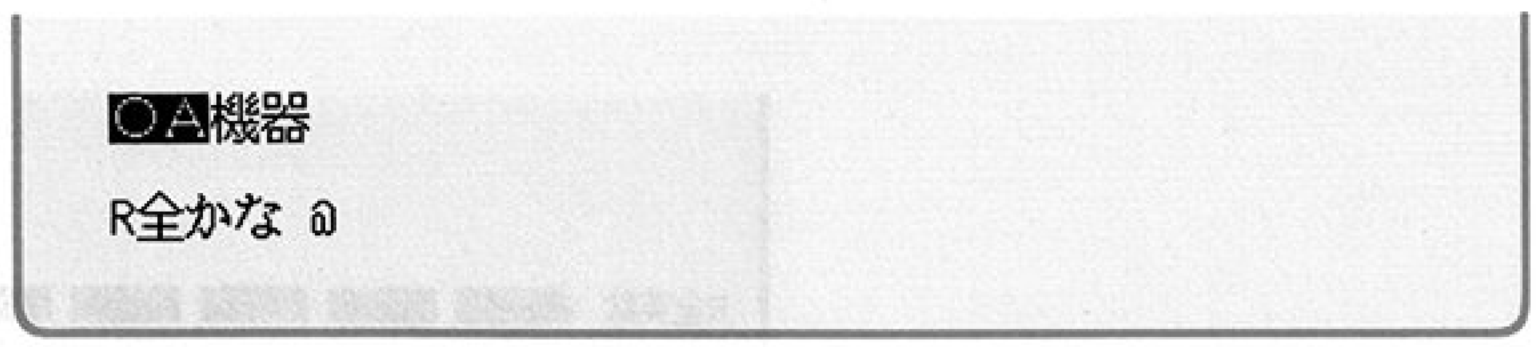
例：「OA機器」と変換したいのに次のように変換されている



①文節が「お-あき-き」と区切られているので，[CTRL]＋[→]キーで「おあ(OA)」を一つの文節にします．



②[f･8]キーを押します．



③[↵]キーを押して確定します．

ローマ字入力をしている場合，スペースキーなどで変換する前に[f･8]キーを押すと，すべての文字が英数変換され，変換中に[f･8]キーを押すと，反転している部分が英数変換されます．英数変換させたい部分を変更する場合は，[↑][↓]キーを使います．

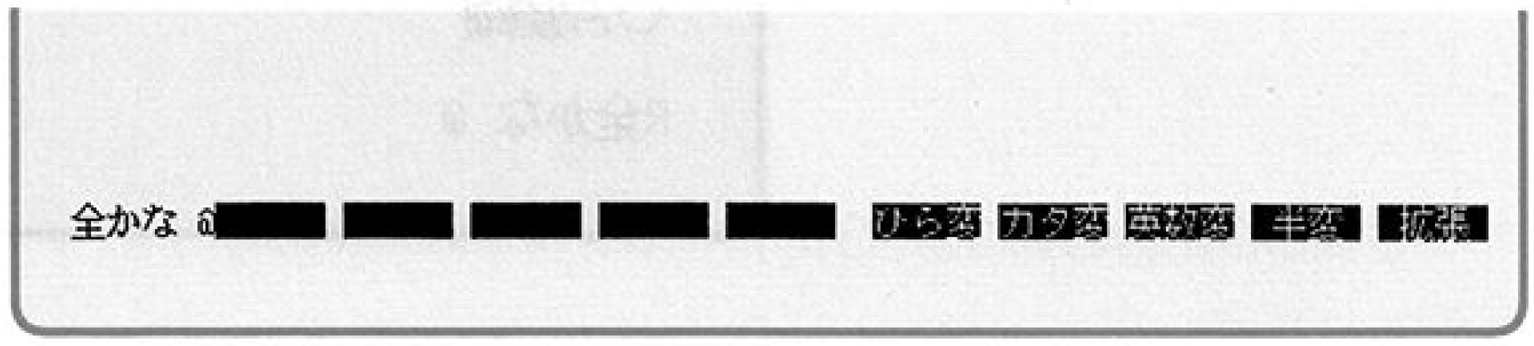
●漢字に変換されない英字をタイプする（ローマ字入力モードのOFF）

読みがなをタイプする際に，漢字などに変換されない英字をタイプすることができます．次に例を示します．

例：「OA機器」とタイプする

通常この単語の読み（「OAKIKI」または「OAキキ」）をタイプすると「おあきき」と表示されますが，次のようにローマ字入力モードをOFFにすると，「OA」が変換されません．

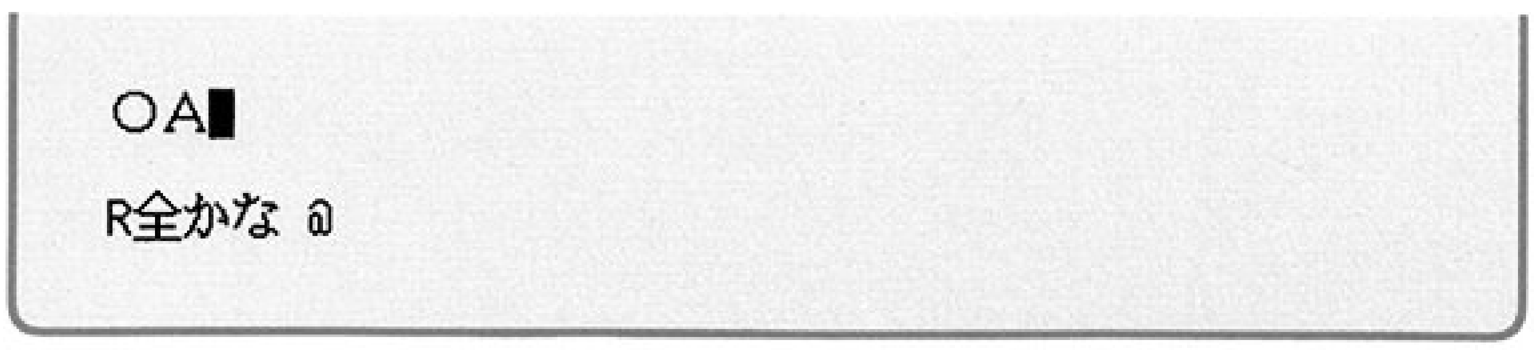
①f·10 - [4. **ローマ字切替**]で，ローマ字入力モードをOFFにします．
入力モードのガイド表示から「R」が消えます．



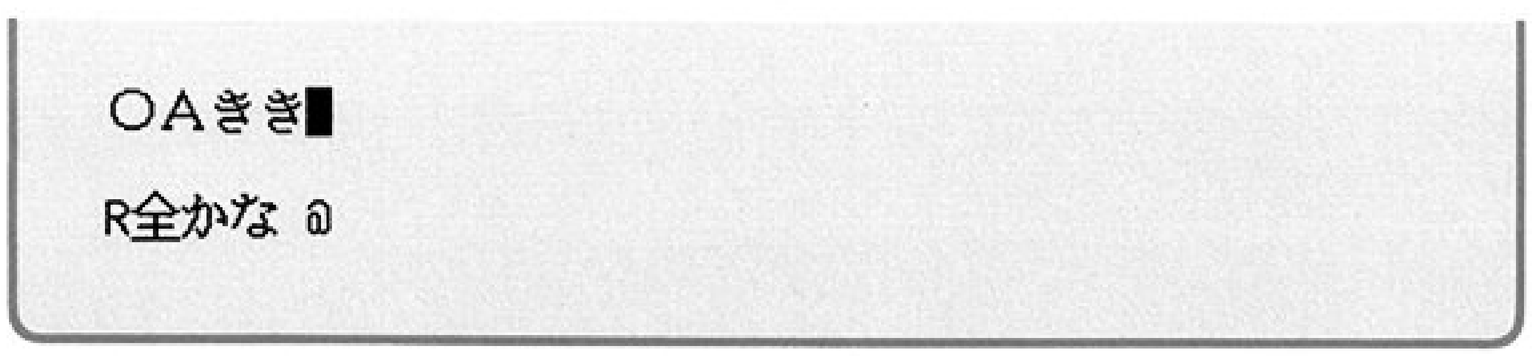
②「OA ⏎ 」とタイプします．
カナ入力の方は，カナキーを押して，カナロックをはずしてタイプしてください．



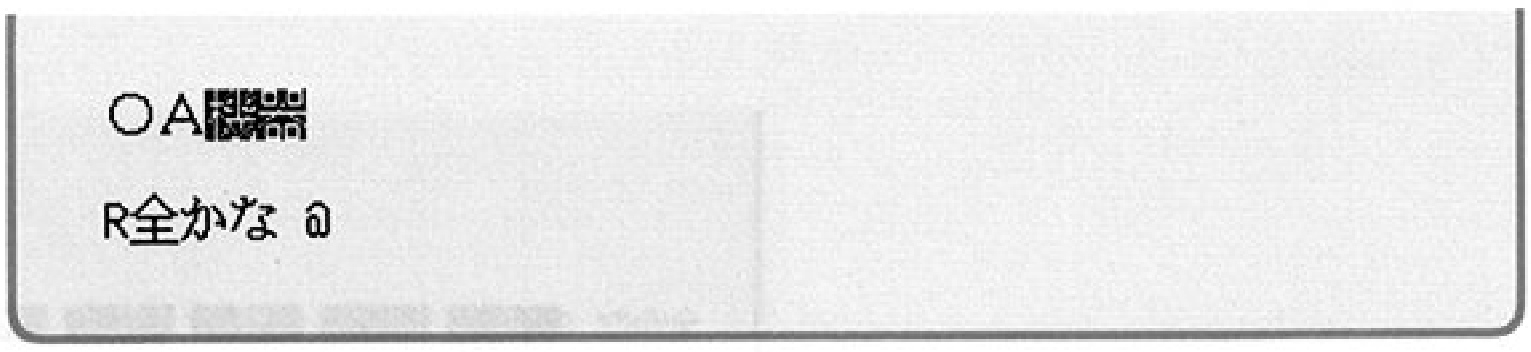
③f·10 - [4. **ローマ字切替**]で，ローマ字入力モードをONにします．
入力モードのガイド表示には「R」と表示されます．



④「きき」とタイプします．
カナ入力の方は，カナキーを押しロックしてからタイプしてください．



⑤スペースキーまたは XFER キーを押して変換します.



⑥ ⏎ キーを押して確定します.

3.4 記号のタイプ

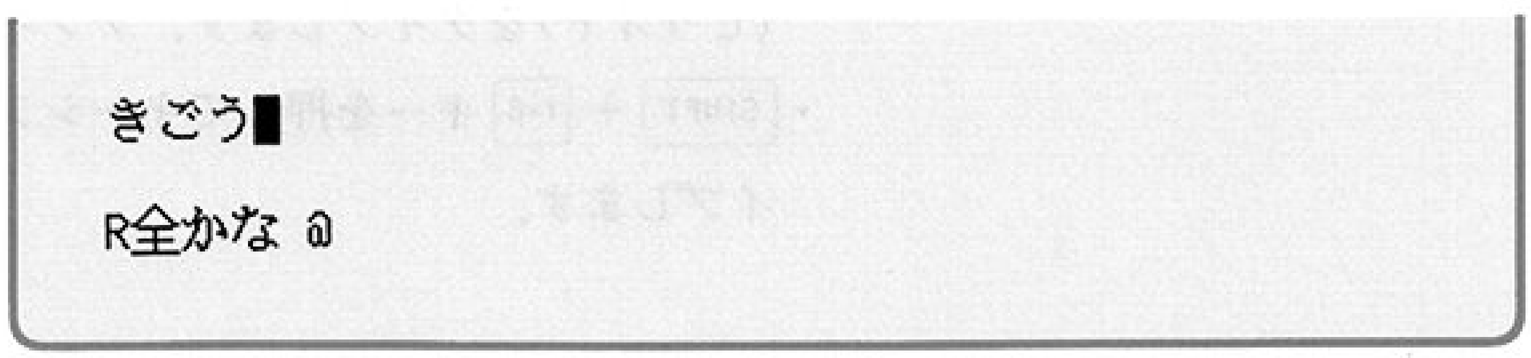
カナ入力をしている方がキーボード上の英記号をタイプする場合は，カナキーを押しロックをはずしてからタイプします．

キーボードにはない特殊記号をタイプする場合は，大きく分けて2通りの方法があります．以下でそれぞれの方法を説明します．

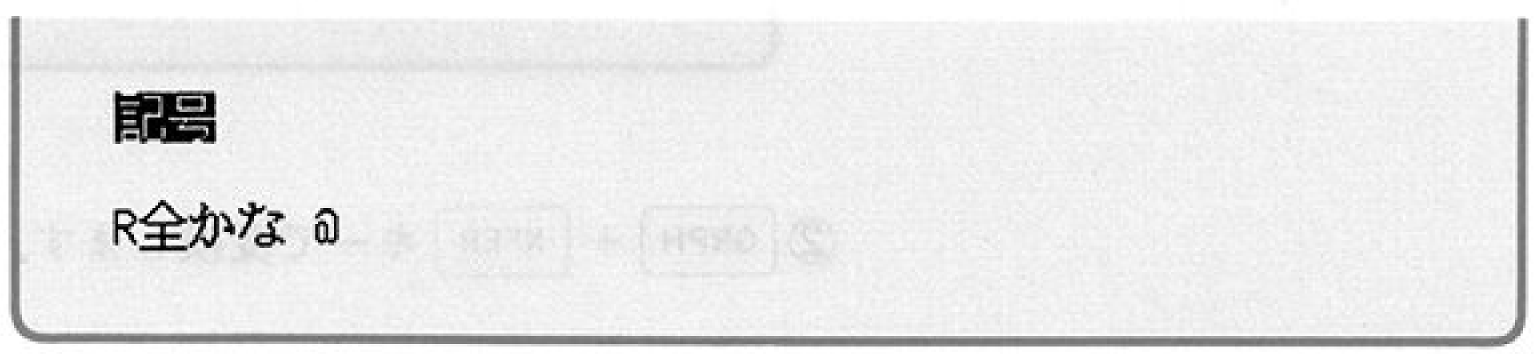
●かな漢字変換を使う方法

通常のかな漢字変換と同じ手順で行います．

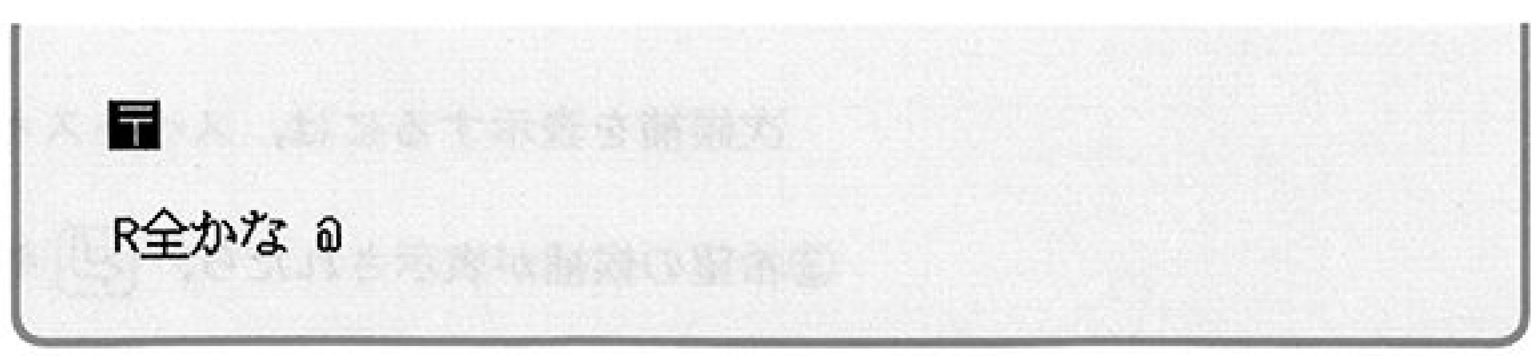
①「きごう」とタイプします．



②スペースキーまたは XFER キーを押して変換します．



③続けてスペースキーまたは XFER キーを押すと，次候補選択の要領で，表示される記号が変わります．



④希望の候補が表示されたら，[⏎]キーを押して確定します．

●部首選択を使う方法

第2部第2章2.1で紹介した部首選択機能を使っても，特殊記号を表示することができます．操作手順は部首選択と同様です．タイプする読みがなと表示される記号の一覧は，「付録E 部首の読み一覧表」にあります．

例：丸数字を表示する

①読みとして「．ま」(または「。ま」)とタイプします．

- まず[SHIFT]＋[f･8]キーを押してキーシフト状態を「英数」にして，「．」(ピリオド)をタイプします．テンキーからも入力できます．
- [SHIFT]＋[f･6]キーを押してキーシフト状態を「かな」にして，「ま」とタイプします．

```
．ま█
R全かな ａ
```

②[GRPH]＋[XFER]キーで変換します．

```
①
R全かな ａ部首
```

次候補を表示するには，スペースキーまたは[XFER]キーを押します．

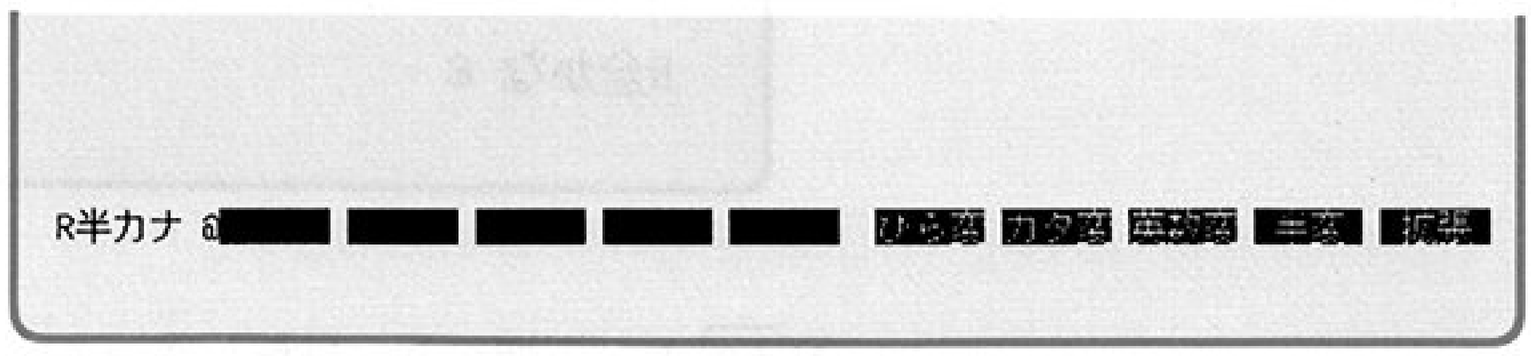
③希望の候補が表示されたら，[⏎]キーを押して確定します．

3.5　半角英数カタカナのタイプ

●半角文字だけをタイプする

①まず，[SHIFT]＋[f･9]キーを押します．

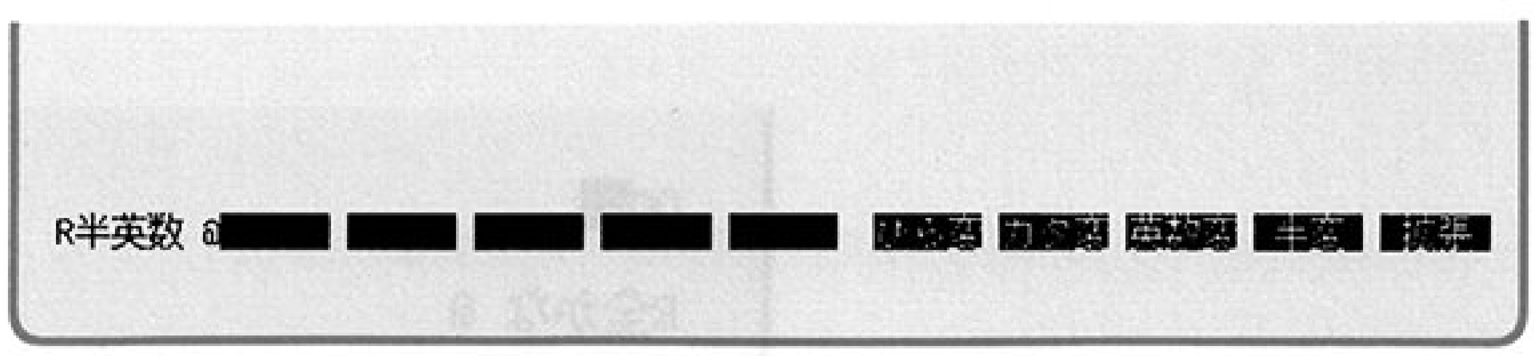
入力モードのガイド表示が「全」から「半」になります．半角入力モード に入ったことを表しています．



ここで読みがなをタイプすると，半角のカタカナで表示されます．[⏎]キーを押すとそのまま確定し，スペースキー，または[XFER]キーを押すと変換されます．

②英数字を表示するには，[SHIFT]＋[f･8]キーを押します．

ガイド表示が「カナ」から「英数」になります．カナ入力をしていた場合は，[カナ]キーを押して，ロックをはずします．

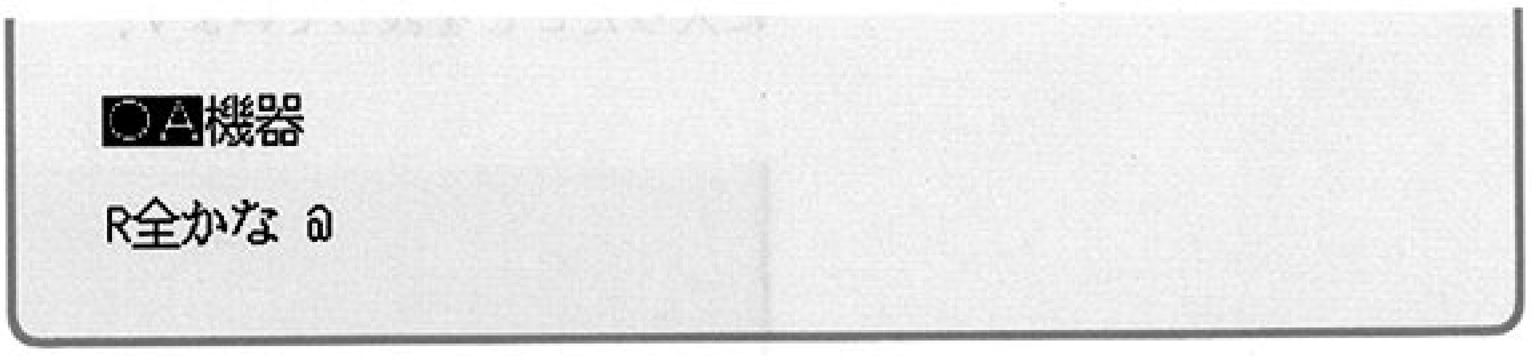


ここで読みがなをタイプすると，半角の英字が表示されます．[⏎]キーを押すとそのまま確定し，スペースキー，または[XFER]キーを押すと変換されます．

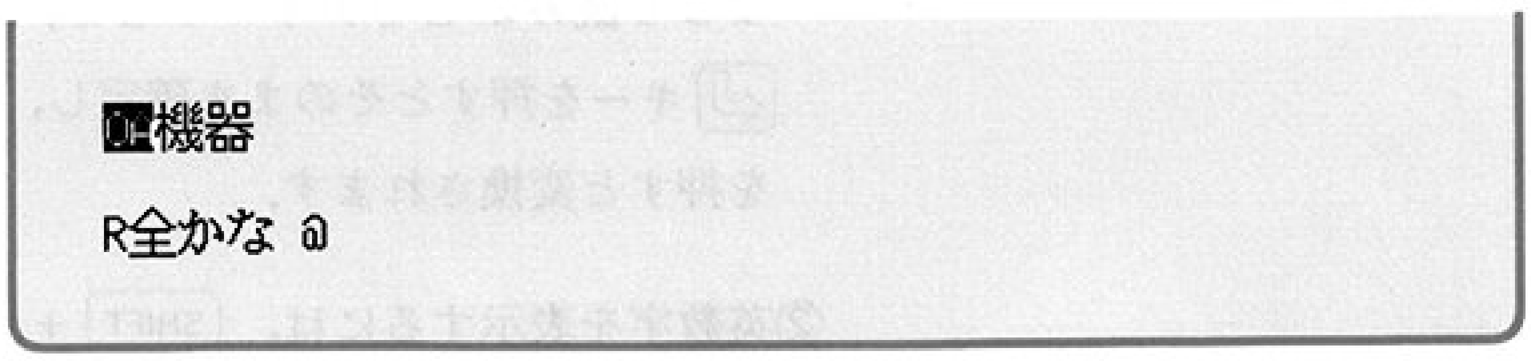
●全角文字を半角の英数カタカナにする（半角変換）

表示されている（確定前の）文字を半角の英数カタカナにするには，[f･9]キーを押して，半角変換します．次に例を示します．

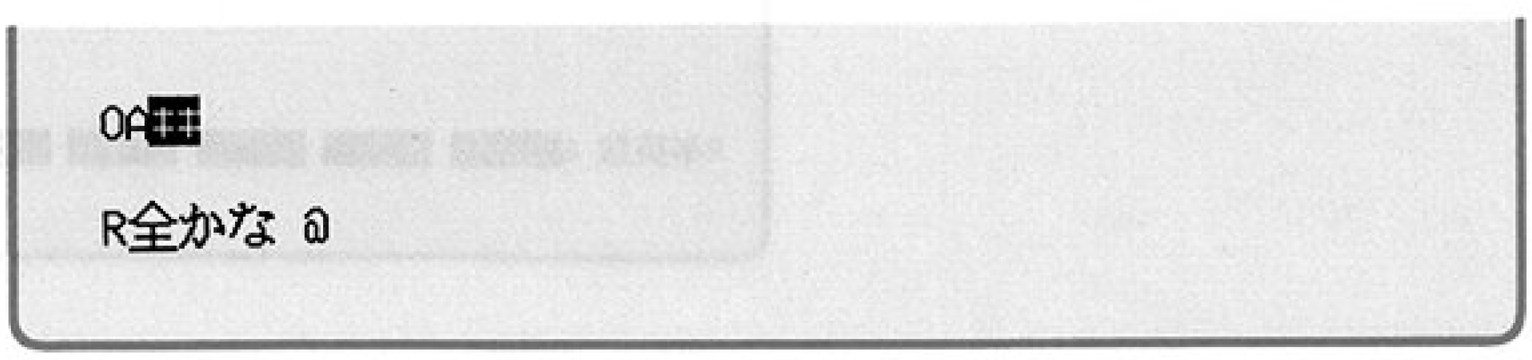
例：「OA機器」を半角変換する



①[f･9]キーを押すと，反転している文節が半角になります．



②[↓]キーで「機器」を反転させて[f･9]キーを押すと，「機器」の読み（この場合は「きき」）が半角のカタカナになります．



③[⏎]キーを押して確定します．

第4章 便利な変換機能

日本語入力機能では，通常「読みがな」をタイプして，それを漢字に変換していますが，この方法を応用して，英字の略号から機関名への変換，数字3桁の郵便番号から住所への変換を行うことができます．

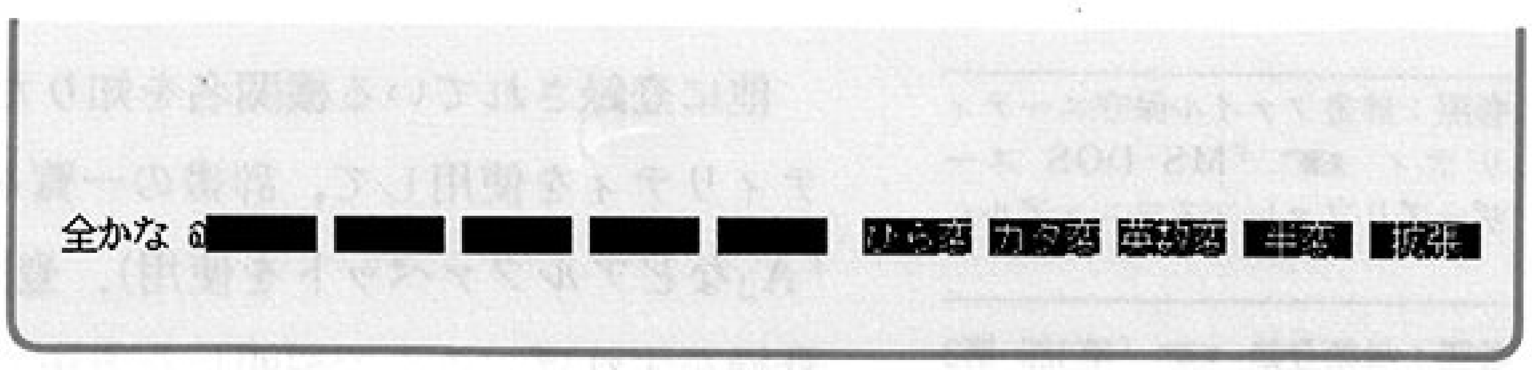
4.1 略号→機関名

辞書ファイル内には，アルファベットの略号を読みがなとする機関名がいくつか登録されています．これらの機関名は，あらかじめ登録された略号をタイプし，変換することで表示できます．この方法を使うと，アルファベットを数文字タイプするだけで長い文字列(機関名)をタイプできるので便利です．

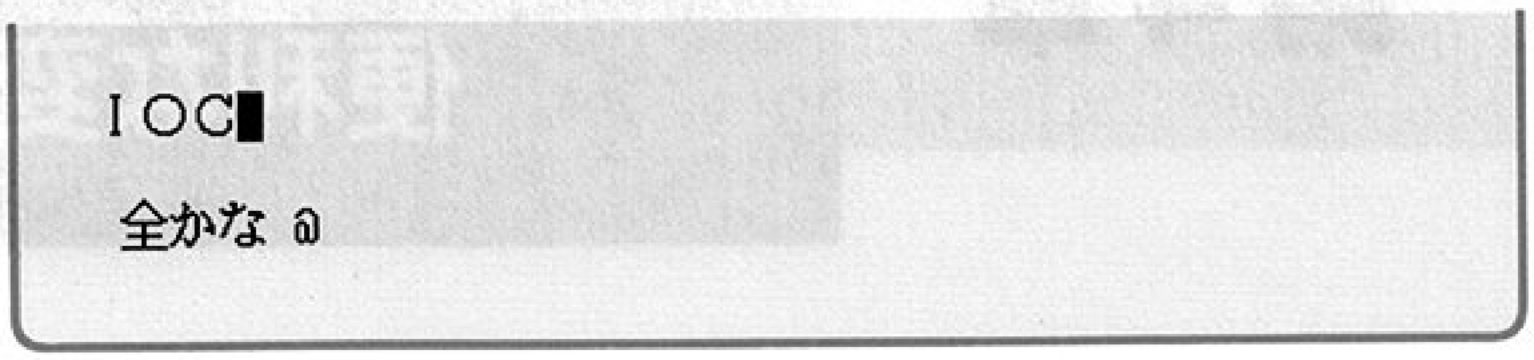
例：「IOC」で「国際オリンピック委員会」を表示させる

- カナ入力をしていた場合は，［カナ］キーを押して，ロックをはずしておきます．
- 入力モードのガイド表示に「R」と表示されている場合は，［f･10］-［**4. ローマ字切替**］で，「R」の文字を消去します．
- ［SHIFT］＋［f･6］キーを押します．

ガイドラインが次のようになっていれば，準備は完了です．



①「IOC」とタイプします．



②スペースキーまたは XFER キーを押して，変換します．



③ ⏎ キーを押して確定します．

この他にも辞書にはいくつかの機関名が略称で表示できるように登録されています．次に登録されている機関名をいくつか示します．

読み（略称）	表示内容（機関名）
ASEAN	東南アジア諸国連合
EC	欧州共同体 ヨーロッパ共同体
IMF	国際通貨基金
IOC	国際オリンピック委員会
NATO	北大西洋条約機構
OPEC	石油輸出国機構
UN	国際連合
WHO	世界保健機関
⋮	⋮

参照：辞書ファイル保守ユーティリティ ☞『MS-DOS ユーザーズリファレンスマニュアル』

参照：単語登録 ☞「第3部 第2章 2.2」

他に登録されている機関名を知りたい場合は，辞書ファイル保守ユーティリティを使用して，辞書の一覧を行って確認してください（読みは「A」などアルファベットを使用）．登録されていない機関名でも，単語登録をすれば，ここで説明した方法で，略号から変換できるようになります．

4.2 郵便番号→住所

辞書ファイル内には，３桁の数字(郵便番号)を読みがなとする住所がいくつか登録されています．これらの住所は，あらかじめ登録された郵便番号をタイプし，変換することで表示できます．この方法を使うと，少ないキー入力で住所が表示できるので，住所録の作成などに便利です．

例：「101」で「東京都千代田区」を表示させる

①3桁の数字をタイプします．
この場合は「101」とタイプします．

```
101■
R全かな ａ
```

②スペースキーまたは XFER キーを押して変換します．

```
東京都千代田区
R全かな ａ
```

③ ⏎ キーを押して確定します．

この他にも辞書にはいくつかの住所が郵便番号で表示できるように登録されています．次に登録されている住所をいくつか示します．

読み(郵便番号)	表示内容(住所)
001	北海道札幌市北区
002	北海道札幌市北区
	北海道石狩郡
101	東京都千代田区
411	静岡県田方郡
	静岡県駿東郡
	⋮

参照：辞書ファイル保守ユーティリティ ☞『MS-DOS ユーザーズリファレンスマニュアル』

他に登録されている住所を知りたい場合は，辞書ファイル保守ユーティリティを使用して，辞書の一覧を行って確認してください(読みは「100」など数字を使用)．

第3部

関連知識

第3部では，日本語入力機能を操作する上で知っておいていただきたい事項——辞書の切り替えと単語登録，変換方法による違い，学習機能や先読み機能について，環境について，日本語入力キーの変更について——を解説します．また，日本語入力機能をMS-DOSシステム上で使用する場合に必要な指定も解説します．

第1章 変換の効率を上げるために

1.1 学習機能

日本語入力機能の中には，同音異義語の中で，以前(一番最近)に選択された語を辞書の候補群の先頭に登録しておく「学習機能」があります．

たとえば，いま，「器官」という語を表示したいとしましょう．そして，読みがなの「きかん」をタイプして XFER キーを押しても「期間」や「機関」などの語に変換されてしまい，「器官」が表示されるまでには何回か XFER キーを押さなければならないとします．しかし，一度「器官」を選んで確定すると，次回からは最初に「器官」が表示されるようになります．もちろん，このとき「機関」で確定すれば，次には「機関」が最初に表示されるようになります．

こうして，漢字を選択するごとにその漢字を候補の最初に置き，それまで最初だった候補を2番目の候補にする，というように辞書内の候補群の順番が並べ替えられていきます．

こうした学習機能の働きによって，最近使った語句が常に変換候補の最初に現れることになります．ひとりの人が作成する文書(使う語彙)の範囲はある程度限られていると仮定すれば，こうした学習機能によって変換効率が高まるわけです．

充分に学習した辞書ファイルでは，あまり使われない候補は候補群の後の方に置かれます．漢字表示の順序を変更したくないとき，他人の辞書を使わなければならないとき，その時に限って特殊な語を使いたいときなどは，辞書に学習結果を残さない方がいいので，学習機能が働かないようにしてください．

参照：学習機能の設定 ☞「第3部 第4章 4.1 設定の変更」

初期設定では，学習機能は「学習有り」に設定されています．これはいつでも，f·10 -［6. **補助機能**］-［1. **学習**］で「学習無し」に切り替えることができます．

1.2 先読み機能

参照：先読み機能の設定 ☞
「第3部 第4章 4.1 設定の変更」

先読み機能は，ユーザーが「読みがな」をタイプしていくのに連動してその読みに対する単語を辞書から先に（変換キーを押す前に）読み込んでおく機能です．これにより，文字の変換に要する時間を短縮することができます．

逐次変換（AI逐次変換または逐次変換）を選択すると，先読み機能は自動的に「有り」に設定されます．また，連文節変換を指定した場合には先読み機能の有無をユーザーが自由に設定することができます．先読み機能を「無し」（先読み機能が働かない状態）に設定すると，変換キー（スペースキー，XFER，，，．）が押されてから辞書が参照されるようになります．

初期設定では，先読み機能は「先読み有り」に設定されています．これはいつでも，f·10 - [5. 入力形式] - [1. 変換方式]で「先読み無し」に切り替えることができます．

第2章 辞書を有効に使う

2.1 辞書の切り替え

f·10 - [3. **辞書切替**]で，辞書ファイル名と辞書ファイルのあるドライブ名を変更することができます．

次に操作手順を示します．

① CTRL + XFER キーで，日本語入力モードに入ります．

② f·10 - [3. **辞書切替**]を選択すると，画面が次のように変わります．

> **注意**：画面のガイドラインに表示されるモードは英数字入力モードになり，そのままアルファベットでドライブ名やファイル名を入力することができます．

```
R半英数 @     辞書     B:NECAI   .SYS
```

現在の辞書のドライブ名とファイル名

この操作を中止するには，ESC キーを押してください．

③ここで，ドライブ名と辞書ファイル名を変更することができます．次の規則にしたがって変更してください．

B：NECAI．SYS

- NECAI．SYS ― **辞書ファイル名**
- 「：」 ― **「：」は区切りとして必要です．**
- B ― **ドライブ名**

ドライブ名…………辞書ファイルが入っているドライブの名前です．初期設定ではドライブBです．

辞書ファイル名……AIかな漢字変換の使用時は「NECAI．SYS」，その他の変換方式の使用時は「NECDIC．SYS」です．

いずれも初期設定は，起動ディスクのCONFIG.SYS内で指定したものです．MS-DOS購入時の起動ディスクでは，辞書のファイル名がNECAI.SYS，ドライブ名がBに設定されています．

なお，辞書ファイルは指定したドライブのルートディレクトリになければなりません．また，指定以外の辞書ファイルを使うことはできません．

④画面上で変更したら[↵]キーを押してください．
新しく指定したドライブにある辞書ファイルに切り替えられ，直前のモードに戻ります．

以上で辞書の切り替え操作は終わりです．

この方法で変更した辞書ファイルは，次に再変更するか，システムを再起動するまでしか有効ではありません．リセットスイッチを押したり，パソコン本体の電源を切ったりして，MS-DOSシステムを再起動すると，ここで指定した変更は無効になり，CONFIG.SYSファイルで設定した辞書ファイルが再び有効になります．したがって，継続的に変更したままにしたい場合は，CONFIG.SYSファイル内の設定を変更してください（「第3部 第6章　MS-DOSでの環境設定」を参照）．

●エラーメッセージの対策

辞書の切り替えに関するエラーメッセージを次に示します．各々の対策に従って対処してください．

メッセージ	対　策
辞書が見つかりません	辞書ファイル名を確認し，もう一度操作する．
辞書の指定が不正です	辞書ファイル名を確認し，もう一度操作する．
ディスクのI/Oでエラーが発生しました	指定されたドライブに正しいフロッピィディスクドライブをセットし，再操作する．

2.2 単語登録

注意：ただし，半角文字は登録できません．

システムディスクの辞書ファイルにあらかじめ登録されているのは，いろいろな分野の文章(新聞，雑誌，ビジネス文書など)で多く使われている，使用頻度が比較的高い単語です．したがって，珍しい人名や会社名のような固有名詞，特殊な専門用語，カタカナ語などは単語として登録されていない場合があります．このような語を使うときには，多くの場合，何度も XFER キーを押しながら単語を少しずつ(場合によっては1文字ずつ)変換しなければ，望む単語が得られないことさえあります．

このような場合のために，日本語入力機能のひとつとして，ユーザーが独自の単語を独自の読みで辞書ファイルに登録できる機能があります．辞書ファイルに独自の単語を登録しておけば，変換がより速く正確にできるようになります．

また，この単語登録機能を用いると，短い読みがなで長い単語を登録することもできます．よく使う語は他の語と混同しない短い読みで登録しておけば，タイプの手間を軽減することができます．

新しい語を辞書ファイルに登録する方法には，次の2通りの方法があります．

①日本語入力モード中で，f·10 - [1. **単語登録**]を用いる．
②MS-DOSの辞書ファイル保守ユーティリティ(DICMコマンド)を用いる．

本書では①の方法を説明します．②の方法については，『ユーザーズリファレンスマニュアル』の辞書ファイル保守ユーティリティの項を参照してください．

●単語登録の手順

f·10 - [1. **単語登録**]で，画面上の2バイト文字を簡単に辞書ファイルに登録することができます．いったん単語とその「読み」を登録すれば，以後はその読みで簡単に変換できるようになります．

ここでは「明広」という文字を「あきひろ」という読みで単語登録してみます．操作手順は次の通りです．

①[CTRL]＋[XFER]キーで，日本語入力モ--ドに入ります．

②登録したい単語を画面に表示します．

この例では，読みがなを「みょう」「ひろ」のように分けて変換し，表示します．登録する前の語は，どんな読みを使ってもかまいませんからともかく目的の漢字を画面に表示してください．

③[f･10]-[1．単語登録]で，単語登録モードにします．画面は次のようになります．

```
明広█
R全かな @      登録:漢字
```

単語登録を中止するには，[ESC]キーを押してください．

④登録したい単語の範囲を指定します．

まず，カーソル移動キー（[↑][↓][←][→]）でカーソルを単語の先頭文字に重ね，[↵]キーを押します．

```
明広
R全かな @      登録:漢字
```

次に，単語の最後の文字にカーソルを重ねて[↵]キーを押します．登録単語は反転表示されます．

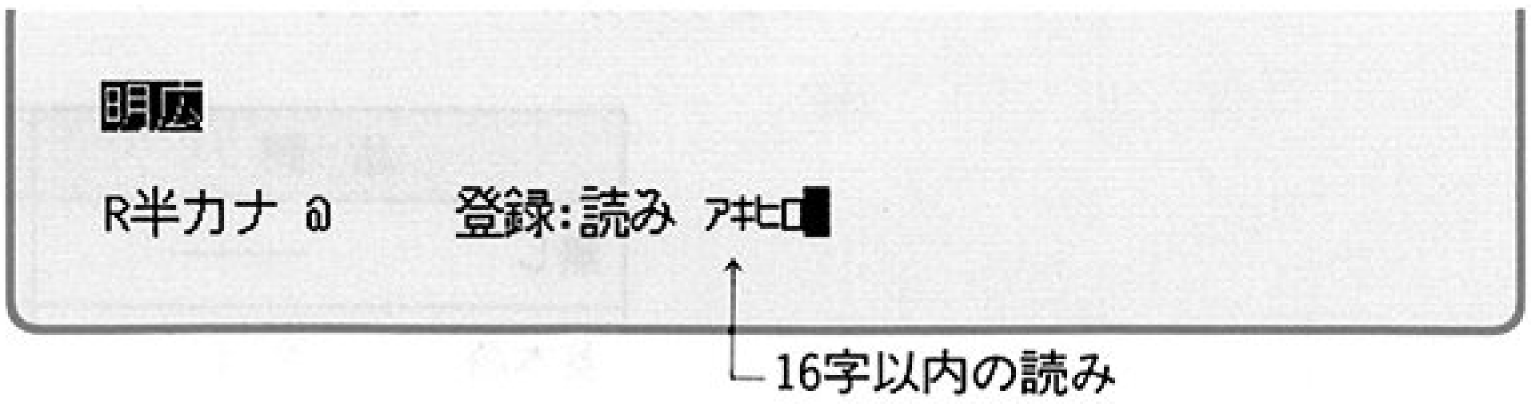
注意：登録できる文字数は16文字以内，読みも16文字以内です．ただし，半角文字は登録できません．

```
明広
R半カナ @      登録:読み █
```

⑤ガイドラインの「漢字」の表示が「読み」に変わり，入力モードが半角入力モードになります．ここで，読みを16文字以内の英数字またはカタカナでタイプします．

なお，読みは16文字以内で，英記号やカナ記号は使用できません．

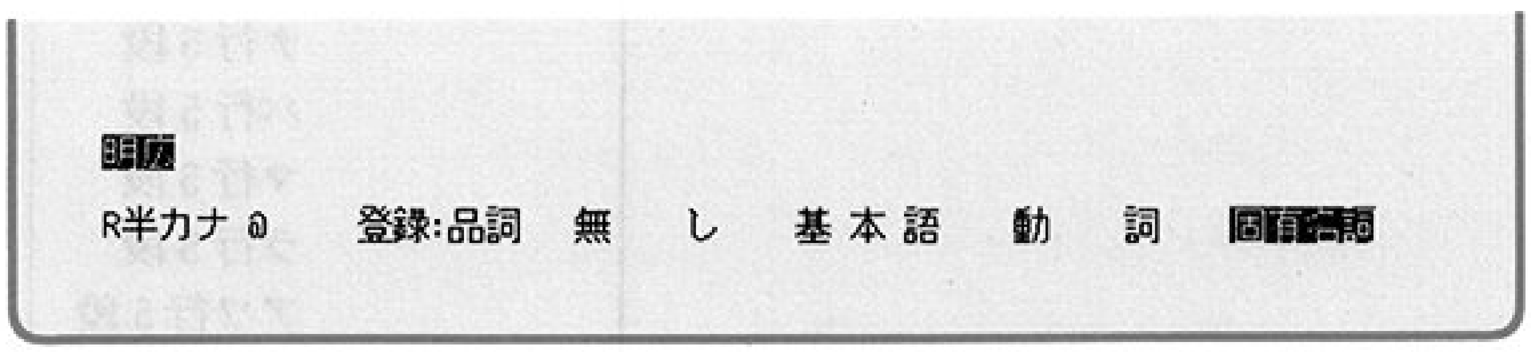
ここでは「アキヒロ」とタイプし，⏎キーを押します．



⑥読みをタイプすると，次は品詞の選択に移ります（「品詞」については，次項をご覧ください）．登録したい単語に適した品詞を指定してください．

品詞の選択には←→キーを使用します．

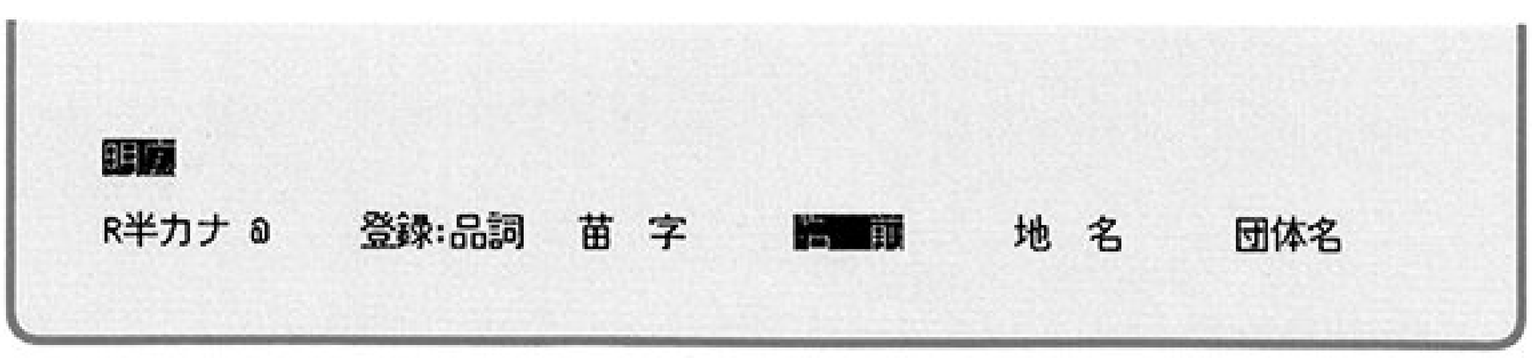
ここで登録する単語「明広」は人名ですから，→キーを使って「固有名詞」にカーソルを重ね，⏎キーを押します．画面は次のように変わります．



品詞を指定したくないときは，「無し」を選択してください．

⑦続いて，より細かい品詞を選択します．ここでは選択する項目が数画面にわたっているので，4つのカーソル移動キー（↑↓←→）を使って品詞を選択します．

ここで登録する単語「明広」に適した品詞は「名前」です．カーソルを「名前」に重ね，⏎キーを押してください．



以上で品詞の選択操作は終わり，同時に単語が辞書ファイルに書き込まれて単語登録操作も終わります．

●品詞の指定

前項「**●単語登録の手順**」の⑥で説明した品詞とは，文法上のさまざまな性質で分けた語の種類のことです．AIかな漢字変換では，品詞を次のように分けています．

品詞		単語例
無し	―――	―――
基本語	名詞	日本語
	サ変名詞	停止
	形容詞	美しい
	形容動詞	静かだ
	副詞	こうして
	接続詞	そして
	感動詞	あっ
	連体詞	この
動詞	カ行5段	行く
	ガ行5段	泳ぐ
	サ行5段	押す
	タ行5段	打つ
	ナ行5段	死ぬ
	バ行5段	飛ぶ
	マ行5段	飲む
	ラ行5段	乗る
	アワ行5段	思う
	1段	着る
	サ行変格	為す
	カ行変格	来る
固有名詞	苗字	吉川
	名前	詳子
	地名	東京
	団体名	商工会議所
	会社名	日本電気
	建物名	技術センタービル
	商品名	PC-9801

登録しようとする単語に適した品詞を指定しないと，正しく変換されないこともあります．品詞を正しく指定すれば，変換効率が上がります．

なお，動詞，形容詞，形容動詞を登録する場合は，語幹(活用しない部分)だけを登録してください．

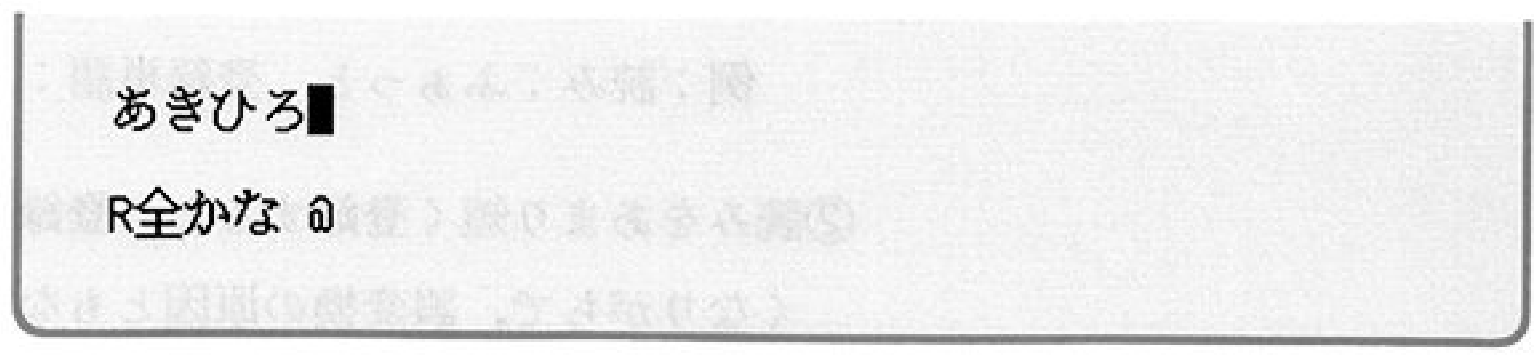
例：

品詞	活用形	登録部分(語幹)
動詞	行く	行
形容詞	美しい	美し
形容動詞	静かだ	静か

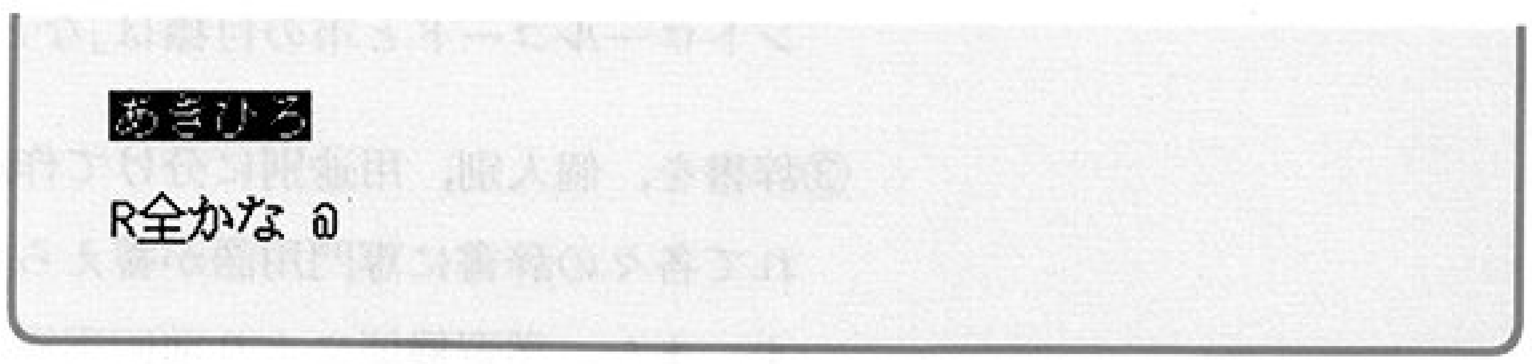
●登録単語の使い方

登録した単語は，漢字をタイプするのとおなじ方法で，読みのかな文字(またはローマ字)から変換して表示することができます．ここでは，先ほど登録した単語「明広」を変換，表示してみましょう．

①登録単語の読み(ここでは「あきひろ」)をタイプします．



②スペースキーまたは XFER キーで単語に変換します．



③[↵]キーで確定します．

```
明広█
R全かな ａ
```

なお，単語登録時には単語の「読み」として半角のカタカナや英数字を使用しますが，登録した単語を使用する際には「読み」として全角文字をタイプしなければなりません．

登録した「読み」	使用する「読み」	登録単語
アキヒロ	あきひろ	明広

●単語登録のポイント

ここでは，単語登録機能を使用する上での工夫をいくつか紹介します．

①読みを略語で登録しておくと，長い読みの入力を省略できます．

例：読み：ふぁっと　登録単語：ファイルアロケーションテーブル

②読みをあまり短く登録すると，登録した単語を後に連想するのが難しくなりがちで，誤変換の原因ともなります．

例：読み：こ　　　登録単語：コントロールコード

この例の状態で「ことしのもくひょうは」と入力して変換すると，「コントロールコードと市の目標は」などと誤変換されてしまいます．

③辞書を，個人別，用途別に分けて作成しておくと，使用を重ねるにつれて各々の辞書に専門用語が蓄えられ，ひいては変換が容易になります．また，学習機能により前回選択した語句が最優先で表示されるので，希望する文字に変換されやすい辞書となります．
辞書ファイルの変更については，「第3部 第2章　2.1 辞書の切り替え」または「第3部 第6章 6.1　システム構築ファイルの設定」を参照してください．

④登録した単語や辞書に含まれている単語を画面やプリンタで見るには，辞書ファイルユーティリティ(DICMコマンド)の辞書一覧機能を使用してください．詳細は『ユーザーズリファレンスマニュアル』の辞書ファイルユーティリティの項を参照してください．

●エラーメッセージの対策

単語登録に関するエラーメッセージを次に示します．各々の対策に従って対処してください．

メッセージ	対　策
登録するための領域が足りません	辞書ファイル保守ユーティリティを使用して辞書を再編成し，もう一度登録する
読みを登録するページがありません	辞書ファイル保守ユーティリティを使用して「読み」を登録するか，辞書を再編成してもう一度登録する
読みに不正な文字があります	「読み」を変えてもう一度登録する

2.3 登録した単語の削除

前項2.2の方法で登録した単語は，辞書から削除することができます．

参考：辞書ファイル保守ユーティリティ(DICMコマンド)でも単語の削除ができます．

削除できる単語は，ユーザーが登録した単語だけです．もともと辞書に入っていた単語は削除できません．

操作手順は次のようになります．

①日本語入力モードに入ります(CTRL＋XFERキー)．

②削除したい単語を画面に表示します．
ここでは前項で登録した単語「明広」を削除してみましょう．
「あきひろ」の読みで漢字に変換し，画面に表示します．

③f･10－[2．**単語削除**]で，単語削除モードにします．画面は次のようになります．

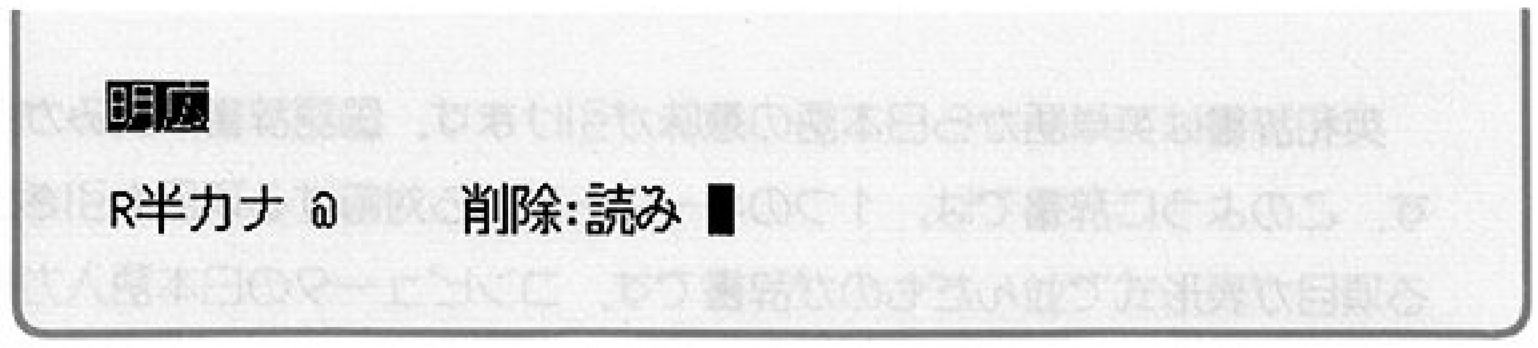
```
明広█
R全かな ą      削除:漢字
```

単語削除の操作を中止したいときは，ESCキーを押してください．

④削除する単語を指定します．
カーソル移動キー(↑ ↓ ← →)で，カーソルを削除したい単語の先頭に重ね，⏎キーを押します．

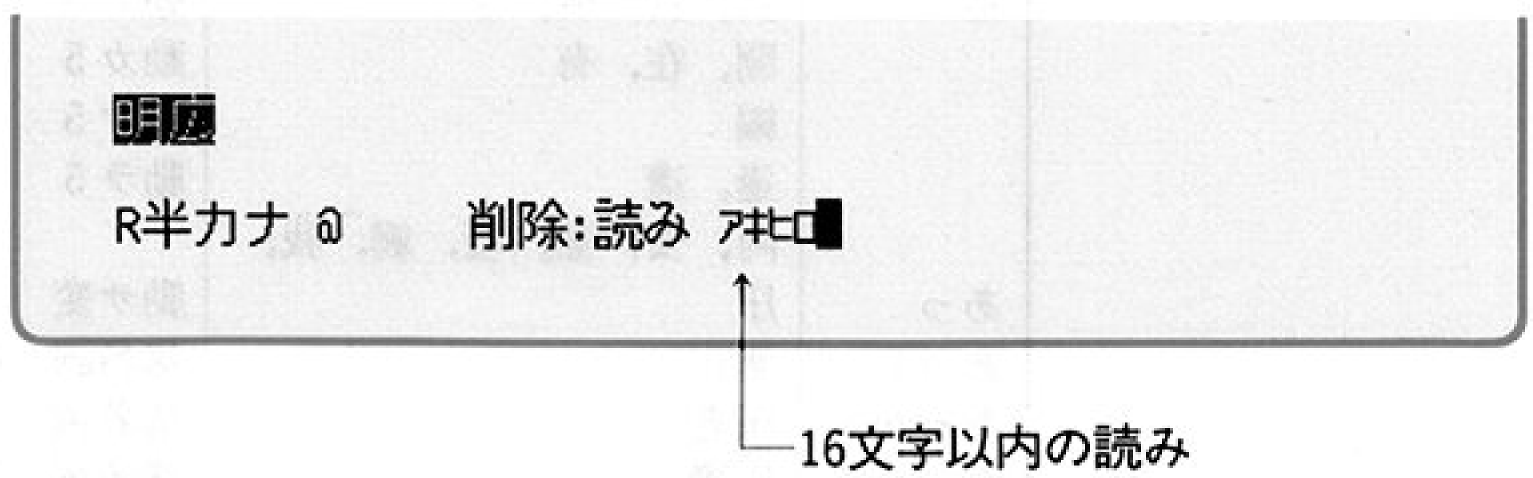
```
明広
R全かな ą      削除:漢字
```

次に，単語の最後の文字にカーソルを重ね，⏎キーを押します．



⑤ガイドラインの「漢字」という表示が「読み」に変わり，入力モードが半角入力モードになります．ここで，削除したい語の読み（その語を登録したときに入力した読み）を16文字以内でタイプします．

ここでは単語「明広」の読み「アキヒロ」をタイプし，⏎キーを押します．



⑥辞書ファイルから登録単語が削除され，直前のモードに戻ります．

以上で単語削除の操作は終わりです．登録した単語が不用になったら，この方法で削除してください．

●エラーメッセージの対策

単語削除に関するエラーメッセージを次に示します．各々の対策に従って対処してください．

メッセージ	対　策
この語句は削除できません	削除できる単語はユーザーが登録した単語だけなので，語句を確かめる
読みまたは語句が見つかりません	辞書に登録されていない文字であるので，語句を確かめる

辞書とは

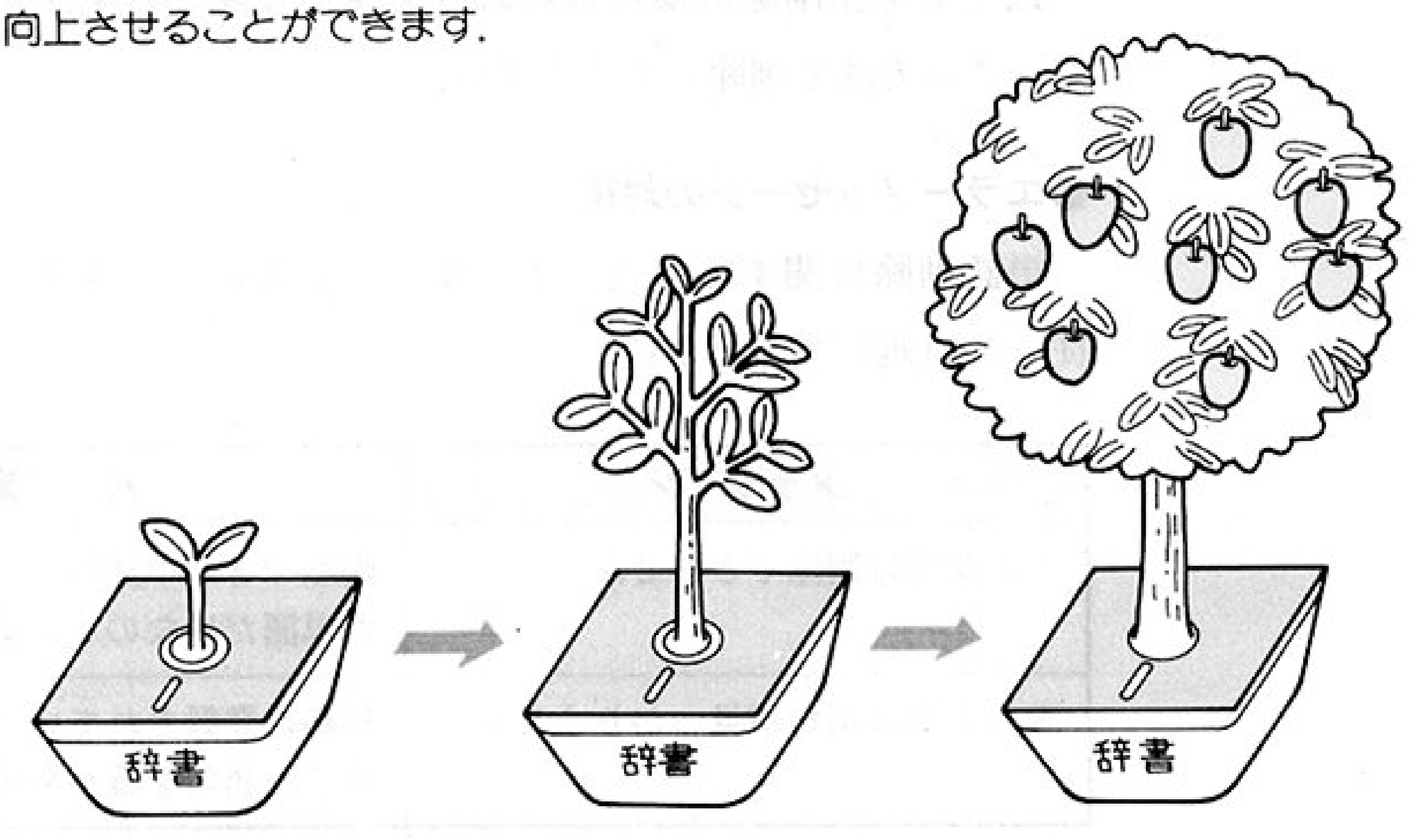
英和辞書は英単語から日本語の意味が引けます．国語辞書は読みから漢字と意味を引くことができます．このように辞書では，１つのキーワードから対応する項目を引き出すことができます．この対応する項目が表形式で並んだものが辞書です．コンピュータの日本語入力機能で使用する辞書は"読みがな"から漢字を引くことができるように作られています．また，漢字がどの品詞に分類されるかも書かれています．

たとえば「よしこ」という"読みがな"から「美子，良子･･･」などの漢字を探すことができます．これらの漢字は固有名詞の名前のグループに入ります．

次に辞書ファイル内の一部を示します．

読　み	漢　字	品　詞
あ	会，合，明，空	動ア5
	開，在，有	動カ5
	編	動マ5
	逢，遭	動ラ5
	阿，安，亜，唖，網，我，	
あっ	圧	動サ変
あっか	悪化	基名詞，動サ変
あっかん	圧巻	基名詞
あっさく	圧搾	基名詞，動サ変

ところで，辞書ファイルには新しく自由な"読み"を付けて文字列を登録することができます．この単語登録によってユーザー独自の登録語を増やし，辞書を成長させていくと，日本語入力機能の使い勝手を一段と向上させることができます．



また，辞書ファイルを固定ディスクにコピーして利用すると，漢字への変換速度が著しく向上します．

第3章 変換の方式

日本語を入力するためには，「読みがな」を変換しながら文字をタイプします．変換の方式には，文字を続けてタイプすれば，ユーザーが変換操作をしないでも自動的に変換が行われる「逐次変換」，いくつかの文節ごとにユーザーが変換操作をはさみながらタイプする「連文節変換」，文節ひとつごとに変換操作をしなければならない「単文節変換」，漢字一つ一つに割り当てられている番号（漢字コード）を指定して漢字を入力する「JIS16進コード変換」の４つの方式があります．

本書では，逐次変換から順に説明します．

●変換方式の種類

- 変換方式
  - 逐次変換
    - AI逐次変換
    - 逐次変換
  - 連文節変換
    - AI連文節変換
    - 連文節変換
  - 単文節変換
  - JIS16進コード変換

変換方式は，ユーザーがもっとも使いやすい状態に指定することが必要です．初期設定ではAI逐次変換が設定されていますが，自動変換機能のある逐次変換も使い慣れないと，希望の候補を表示させるために何度も変換操作をしなければならなかったりします．このような場合には，変換方式を連文節変換に変更して変換操作を行うことをおすすめします．また，単文節変換を使用すれば，メモリ容量が少ない場合でも日本語が使えるようになります．辞書ファイルが使えないような場合には，JIS16進コード変換を利用することもできます．

なお，これらの変換方式は，直接入力を使用するか，間接入力を使用するかによって画面の表示が少しちがいます．

参照：直接入力／間接入力 ☞「第1部 第2章 2.4 直接入力／間接入力」

3.1 逐次変換

AI逐次変換と逐次変換の操作方法はおなじです．文中ではAI逐次変換と逐次変換を，合わせて逐次変換と呼んでいます．

逐次変換は，読みがなをタイプしていくと変換キーを押さなくても自動的に先頭の読みから漢字へ変換していく方法です．

4文節目をタイプすると1文節目が自動的に漢字に変換されます．続けて読みがなをタイプすると，文節ごとに順次(逐次)漢字へと変換されていきます．

また，句読点やスペースキー，XFERキーを押しても，残りの文節が漢字に変換されます．

操作は第2部で説明したとおりですので，ここでは省略します。

参照：辞書の学習 ☞「第3部 第1章 1.1 学習機能」,「第3部 第2章 2.2 単語登録」

逐次変換は，使い始め当初は，文節が正しく区切られない，正しく変換されないなど使いづらい印象をもつかもしれません．しかし，日本語入力機能を使い続けるうちにユーザーに合った辞書の学習が進み，次第に使用頻度の高い文字が少ない変換操作で表示されるようになります．

ですから，使い始めのうちは，再変換，次候補表示と確定(文節移動)の操作を何度か繰り返さなければならないことになります．

●逐次変換の使用上の注意

使用する入力方式(直接／間接入力)によって，使用できる「読みがな」の文字数や，1回の変換操作で変換できる文節数にちがいがあります．

	「読みがな」の最長文字数	一度に変換できる文節数
直接入力	64	32
直接入力(画面最下行時)	32	16
間接入力	32	16

3.2　連文節変換

AI連文節変換と連文節変換の操作方法はおなじです．文中ではAI連文節変換と連文節変換を，合わせて連文節変換と呼んでいます．

連文節変換は，複数の文節の読みがなをタイプし，スペースキーまたは[XFER]キーを押して漢字へ変換していく方法です．

操作は第2部で説明したとおりですので，ここでは省略します。

連文節変換ではいくつかの文節の読みをまとめてタイプし，あとから[XFER]キーで変換，確定(文節移動)操作を行います．ですから，逐次変換と同様に，再変換，次候補表示と確定(文節移動)の操作を何度か繰り返しながら変換していくことになります．

●連文節変換の使用上の注意

連文節変換では，使用する入力方式(直接／間接入力)によって使用できる「読みがな」の文字数や，1回の変換操作で変換できる文節数にはちがいがありません．日本語入力機能の制限は次のようになっています．

	「読みがな」の最長文字数	一度に変換できる文節数
直接入力	64	32
直接入力(画面最下行時)	32	16
間接入力	32	16

3.3　単文節変換

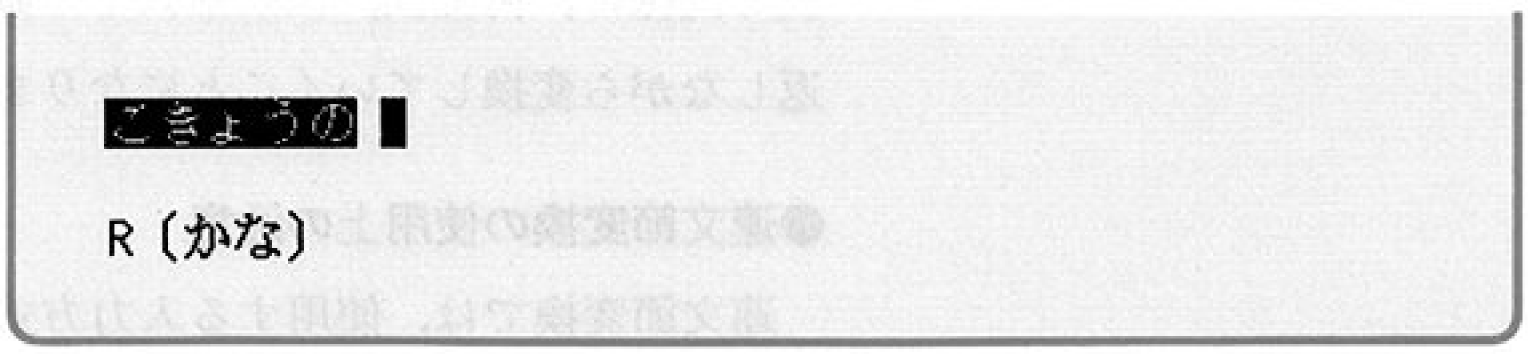
注意：単文節変換は，以前は「文節変換」と呼んでいました．

単文節変換は，読みがなの文節ごとに［XFER］キーを押して，漢字へ変換していく方法です．

変換操作そのものは連文節変換と変わりませんが，1文節ごとに変換および確定の操作をしなければならない点がちがいます．

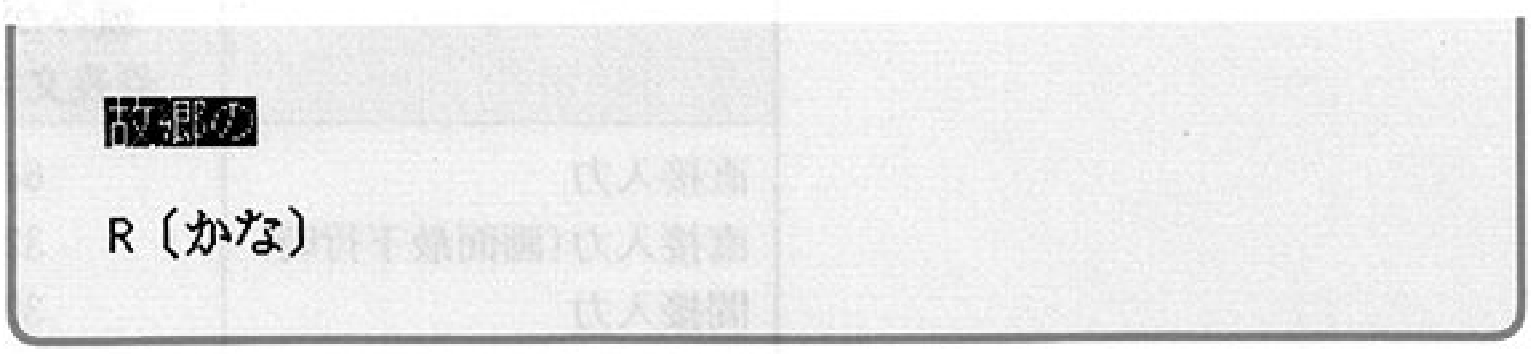
操作は次のようになります．

①「読みがな」のうち，「こきょうの」をタイプします．



注意：単文節変換では，スペースキーや句読点（［，］［．］）キーでは変換操作はできません．

②［XFER］キーを押すと，文節を漢字に変換します．



参照：正しい候補を表示する操作
☞「第2部 第1章 1.4～1.6」

③変換によって現れた候補が反転表示されています．正しい漢字に変換されていなければ，さらに［XFER］キーを押してその読みの次の候補に再変換します．

［XFER］キーを押すと，反転表示の文節の場所に次候補が表示されます．

反転表示の文節が正しい漢字なら，この操作は必要ありません．次に進んでください．

例では正しく変換されているようですから，再変換の操作をせずに④に進みます．

④正しい漢字に変換できたら，この文節を確定します．

⏎キーを押すか，または次の文節の読みがなを入力し始めると，反転表示されている文節を確定させることができます．確定した文節は反転表示でなくなります．

```
故郷の█
R〔かな〕
```

この操作を続けて，全文を確定します．

ここでは続けて読みがなをタイプします．画面は正しく変換できた状態です．

```
故郷の川で過ごした年月。█
R〔かな〕
```

以上で，単文節変換の変換操作は終わりです．

●単文節変換の使用上の注意

単文節変換方式は他の変換方式に比べ，より少ないメモリ容量で動作します．日本語入力機能の制限は次のようになっています．

「読みがな」の最長文字数	一度に変換できる文節数
32	16

3.4 JIS16進コード変換

注意：ここで説明している「JIS16進コード変換」は，日本語変換システムのなんらかの変換方式中で使用できる「コード入力(SHIFT + f·10)」と操作が大変よく似ていますが，別のものです．混同しないようにご注意ください．「コード入力」については，「第2部 第2章 2.2 漢字コードがわかる場合(コード入力)」を参照してください．

JIS16進コード変換は，文字のコード番号を直接指定して文字を１文字ずつ表示する変換方式です．

漢字に限らず，コンピュータで扱う文字には必ず0～65535(10進数．16進数で表現すれば0～FFFF)までの番号がついています．そのうち，英数字，英記号，半角カタカナ，半角カナ記号は1バイト(16進2桁＝0～FF)の「ASCIIコード」で表されます．

漢字やひらがななどの全角文字は，２バイトのコードで表されます．弊社のMS-DOSシステムで使用できる2バイトコードには，「区点コード」，「JISコード」，「シフトJISコード」の３種類があります．

ここで解説する「JIS16進コード変換」という変換方式は，目指す漢字を16進数表現の「JISコード」で指定し，画面に表示する方式なのです．コードを直接指定しますから，辞書ファイルもデバイスドライバも使いません．したがって，特別なメモリも必要ありません．

MS-DOSシステムを起動するとき，システム構築ファイル(CONFIG.SYS)内に日本語入力機能に関する指定がないか，またはMS-DOSの起動ディスクにCONFIG.SYSファイルそのものがないと，JIS16進コード変換が採用されます．

CONFIG.SYSファイルの設定については，「第３部 第６章　6.1 システム構築ファイルの設定」を参照してください．

①CTRL ＋ XFER キーを押して，日本語入力モードに入ります．

このとき カナ キーがロックされていると，スピーカが鳴り，JIS16進コード変換モードに入ることができません．もう一度 カナ キーを押して，ロックを解除してください．

②ガイドラインに次のように表示されます．

```
A> █

〔16進〕
```

参照：漢字コード ☞「付録F 漢字コード表」

③この状態で，表示したい文字のJISコードを16進数でタイプすると，そのコードに対応した文字を表示させることができます．文字は画面内のカーソル位置にそのまま表示されます．
JIS16進コード変換を中断するには，もう一度［CTRL］＋［XFER］キーを押してください．

④1文字の表示が終わると，自動的に日本語入力モードから抜け出ます．

以上でJIS16進コード変換の操作は終わりです．

第4章 日本語入力モードの環境について

日本語入力機能に関するさまざまな設定の状態(日本語入力モードの環境)を設定したり，現在の環境を表示したりすることができます．この章では，環境の表示と設定の方法について説明します．設定する内容についての詳しい説明は，他の章を参照してください．

4.1 設定の変更 f･10

注意：これらのキーで行われた設定は一時的なもので，システムを再起動させると，起動時の設定に戻ります．

環境設定は，f･10 - [5. 入力形式]，f･10 - [6. 補助機能]で行います．

f･10 - [5. 入力形式]は，変換方式，コード体系，直接入力／間接入力を変更するものです．

f･10 - [6. 補助機能]は，学習の有無，句読点変換の有無，同音語の表示方法を変更するものです．

設定を変更するときは，次の手順に従ってください．

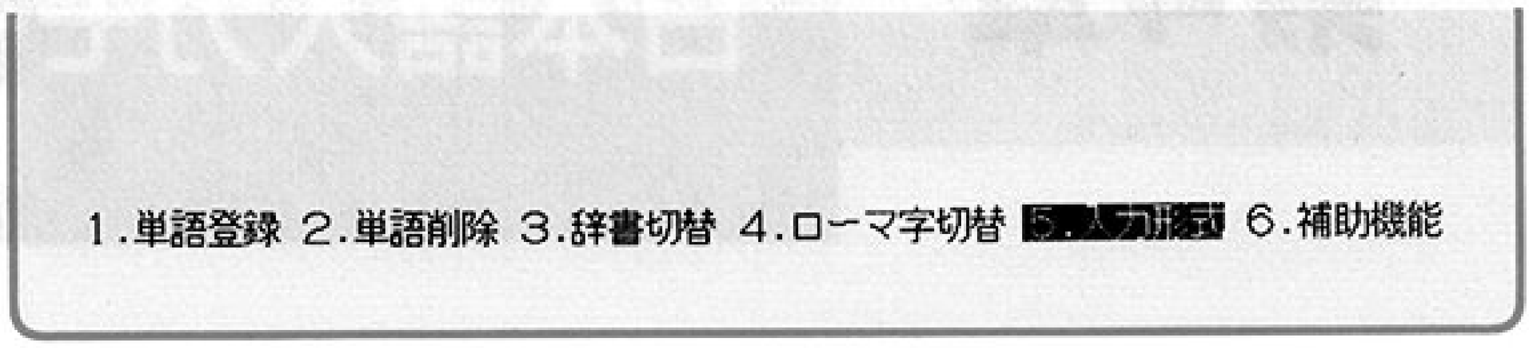
●「入力形式」の設定

① CTRL ＋ XFER キーを押して，日本語入力モードに入ります．

② f･10 キーを押すと，ガイドラインが次のように変わります．

```
1.単語登録 2.単語削除 3.辞書切替 4.ローマ字切替 5.入力形式 6.補助機能
```

③[5. 入力形式]を選択します．



④設定したい項目を選びます．番号に応じた数字キーを押すか，← → キーで希望の項目を反転させて ↵ キーを押します．

ESC キーを押すと，前の画面に戻ります．

「1. 変換方式」を選んだ場合



日本語変換の変換方式を選びます．「逐変」，「連文(先読あり)」，「連文(先読なし)」のいずれかを選択します． ← → キーで反転表示を希望の選択肢に重ね， ↵ キーを押してください．そのように環境が設定され，文字を入力できる状態に戻ります．

ESC キーを押すと，前の画面に戻ります．

「2. コード」を選んだ場合

コード入力をする際に，どのコード体系を使うかを設定します．「JIS」，「シフトJIS」，「区点」のいずれかを選択します． ← → キーで反転表示を希望の選択肢に重ね， ↵ キーを押してください．そのように環境が設定され，文字を入力できる状態に戻ります．

ESC キーを押すと，前の画面に戻ります．

「3. 直／間切替」を選んだ場合

タイプした文字をどこに表示して変換するかを決定します．「直接入力」，「間接入力」のいずれかを選択します．

直接入力モードは，画面上のカーソル位置で直接かな漢字変換を行うものです．

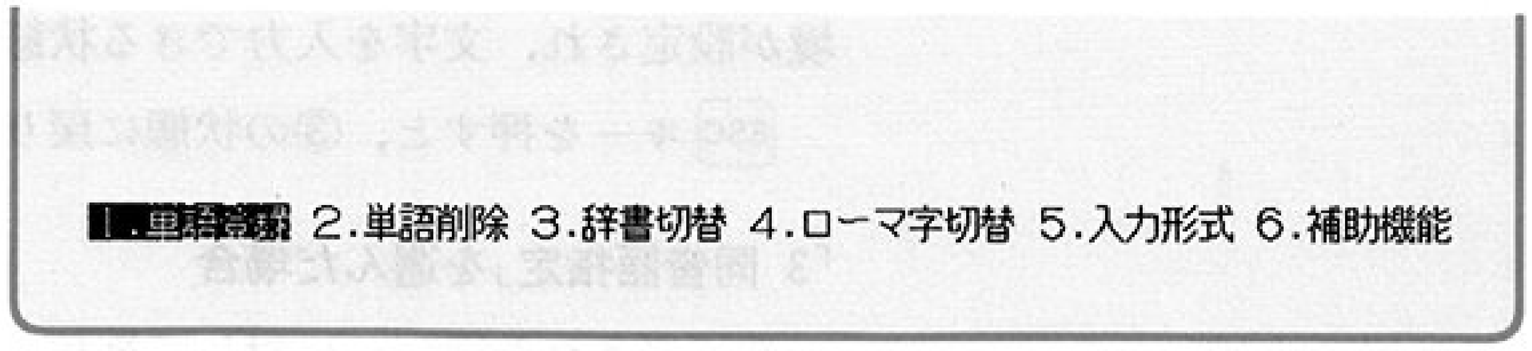
間接入力モードは，一度ガイドライン上で読みがなのタイプと漢字への変換を行った後，[⏎]キーを押して画面上のカーソル位置に文字を移動するものです．

「3. 直／間切替」を反転表示させ，[⏎]キーを押すと現在の入力モードが切替わり，文字を入力できる状態に戻ります．

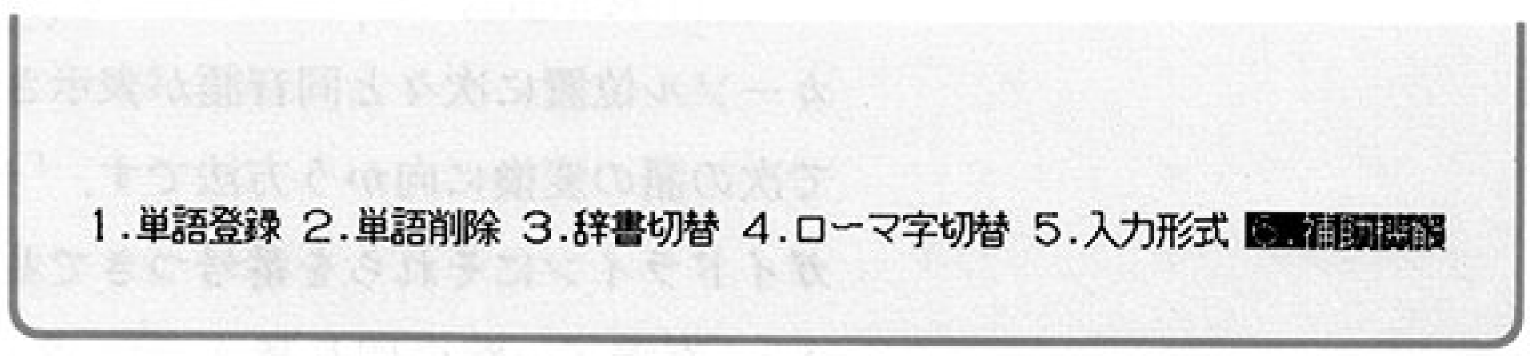
●「補助機能」の設定

①[CTRL]＋[XFER]キーを押して，日本語入力モードに入ります．

②[f·10]キーを押すと，ガイドラインが次のように変わります．



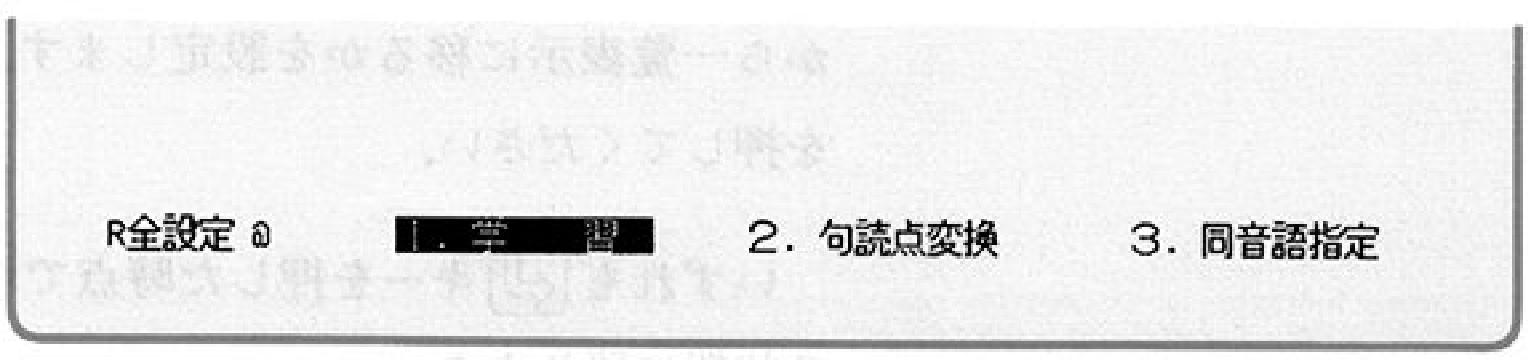
③[6. 補助機能]を選択します．



④設定したい項目を選びます．番号に応じた数字キーを押すか，[←][→]キーで希望の項目を反転させて[⏎]キーを押します．

[ESC]キーを押すと，前の画面に戻ります．

「1. 学習」を選んだ場合



辞書学習するかどうかを設定します.「学習有り」,「学習無し」のいずれかを選択します. [←][→]キーで反転表示を希望の選択肢に重ね, [⏎]キーを押してください. そのように環境が設定され, 文字を入力できる状態に戻ります.

[ESC]キーを押すと, 前の画面に戻ります.

「2. 句読点変換」を選んだ場合

読みとして[,]キー, [.]キーを押したときに, スペースキーや[XFER]キーと同様にかな漢字変換を始めるかどうかを設定します.「する」,「しない」のいずれかを選択します. 左右のカーソルキーで反転表示を希望の選択肢に重ね, [⏎]キーを押してください. そのように環境が設定され, 文字を入力できる状態に戻ります.

[ESC]キーを押すと, ③の状態に戻ります.

「3 同音語指定」を選んだ場合

タイプされた「読み」に対して複数の同音異義語があったとき, それらから特定の単語を選ぶ方法を設定します.「直接表示」,「一覧表示」,「直接／一覧の切り替え」のいずれかを選択します.

「直接表示」は, スペースキーや[XFER]キーを押すたびに変換中のカーソル位置に次々と同音語が表示され, 希望の単語が表示された時点で次の語の変換に向かう方法です.「一覧表示」は, 同音語があるとき, ガイドラインにそれらを番号つきで並べ, ユーザーに選択させる方法です.「直接／一覧の切り替え」は, スペースキーや[XFER]キーを決められた回数だけ押すまでは直接表示で選択し, その後は間接表示に移行する方法です.

左右のカーソルキーで反転表示を希望の選択肢に重ね, [⏎]キーを押してください.

注意:「回数」の初期状態は3回になっています.

「直接／一覧の切り替え」を選択した場合は, 続いて回数を指定します. これは, スペースキーや[XFER]キーを何度押した時点で直接表示から一覧表示に移るかを設定します. 回数を表す数字キーと[⏎]キーを押してください.

いずれも[⏎]キーを押した時点で環境が設定され, 文字を入力できる状態に戻ります.

第5章 日本語入力キーの変更

日本語入力システムでは，別プログラムで提供される「日本語入力キー設定コマンド」を使って，変換その他に使用する日本語入力キーの機能を変更することができます．この章では，日本語入力キーの割り当てを変更する方法について説明します．

5.1 日本語入力キー変更プログラム

参照：NECAIKEYコマンド ☞『MS-DOS ユーザーズリファレンスマニュアル』

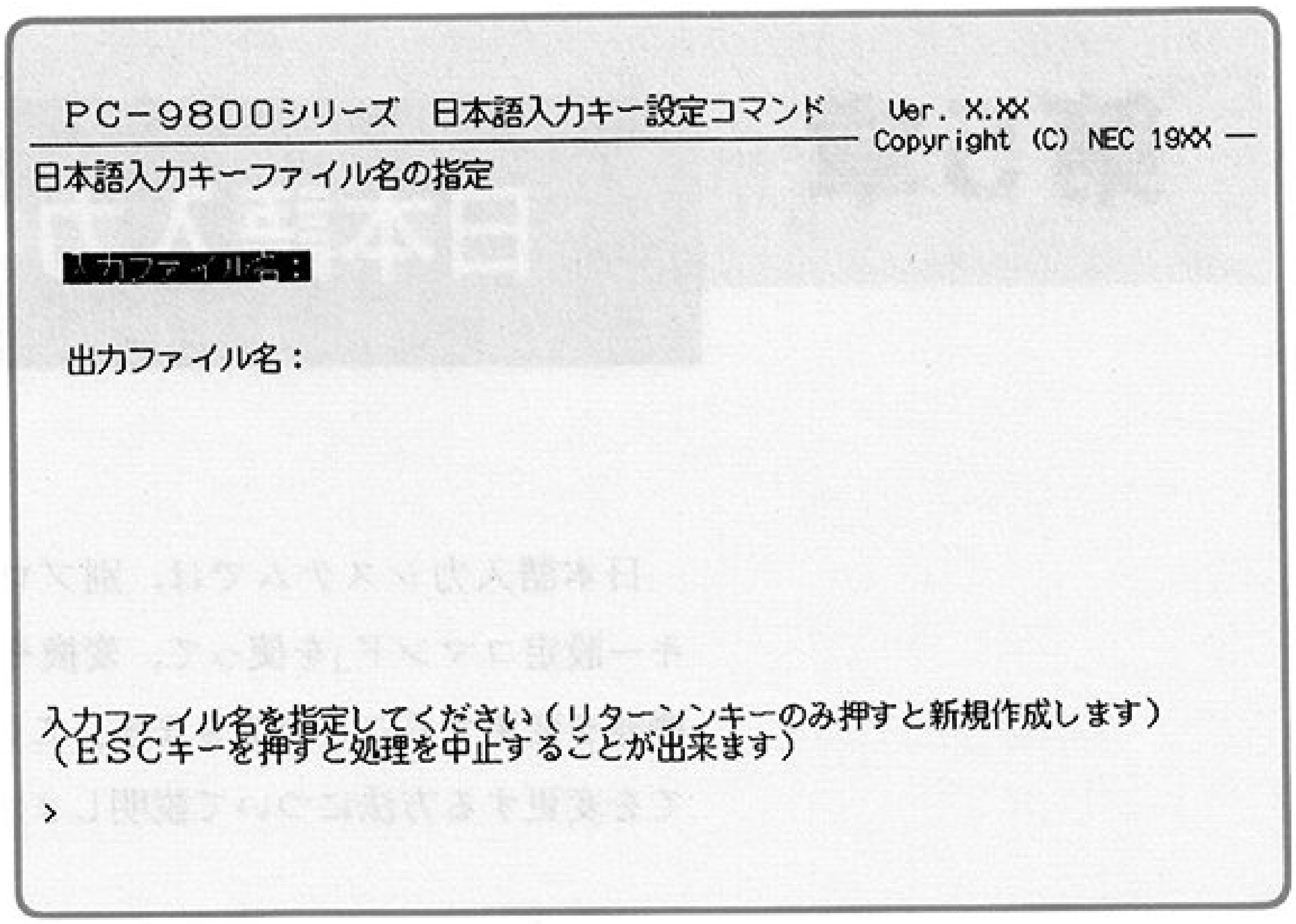
注意：NECAIKEYコマンドは外部コマンドです．コマンドの使用時には，このコマンドファイル(NECAIKEY.EXE)がディスク内にないと使用できません．

日本語入力キー（f･1～f･10）の機能を変更するには，日本語入力キー設定コマンドを使用して日本語入力キーファイルを作成し，MS-DOSシステムを起動する際に読み込ませます．ここでは，日本語入力キーファイルの作成方法について説明します．

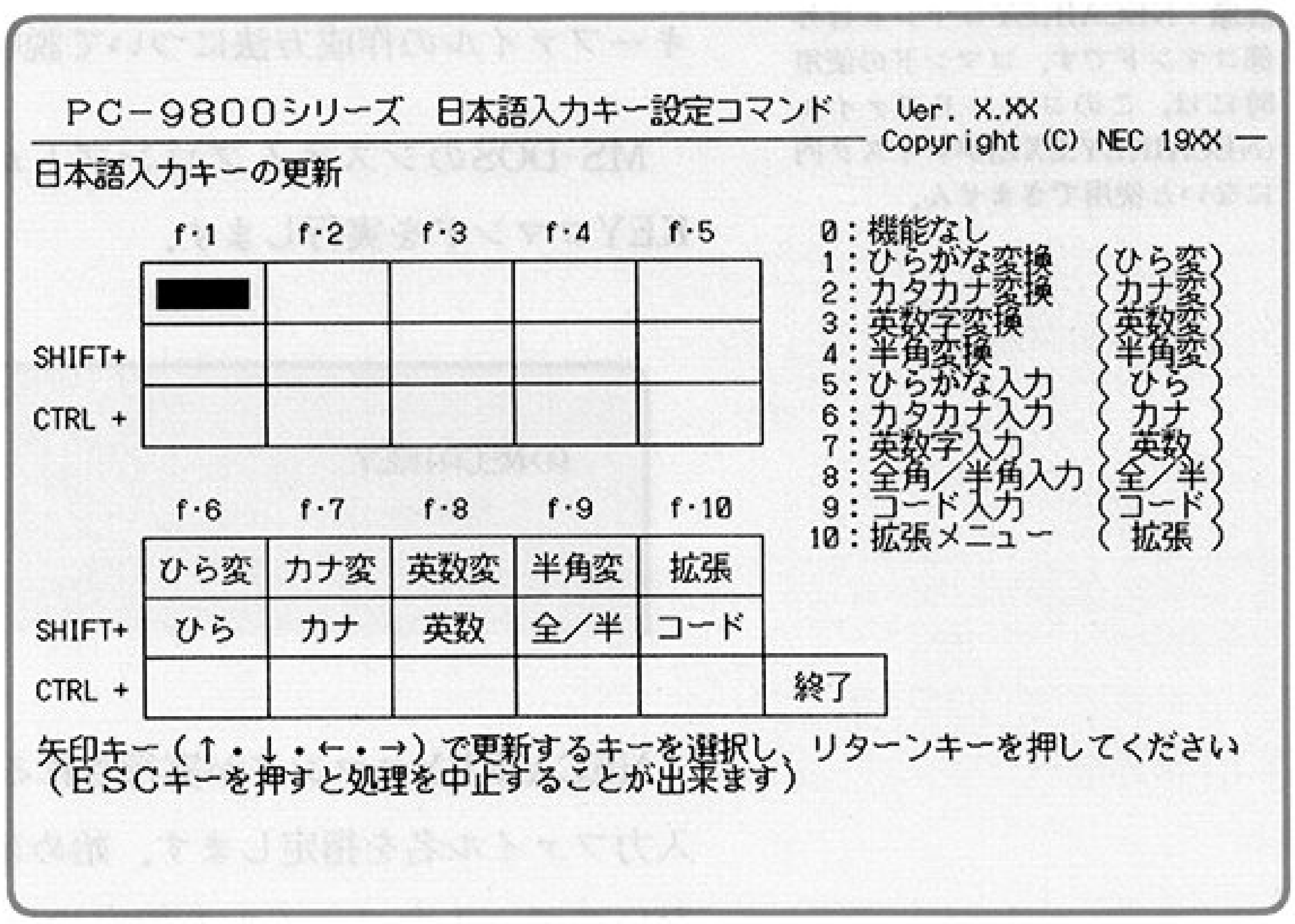
MS-DOSのシステムプロンプトが表示されている状態で，NECAIKEYコマンドを実行します．

```
A>NECAIKEY
```

NECAIKEYコマンドが実行されると，次のような画面が表示され，入力ファイル名を指定します．始めは日本語入力キーファイルは存在しないので，入力ファイルの指定では⏎キーを押します．入力ファイル名の指定が終わると，次に出力ファイル名の指定となります．作成する日本語入力キーファイルの名前が，NECAIKEY．DATでかまわなければ，⏎キーを押します．



ファイル名の指定が終わると，日本語入力で使用するファンクションキー（f･1〜f･10）の設定画面に変わります．この画面では，メニューカーソル(反転部分)をカーソル移動キー(↑ ↓ ← →)を使って移動し，⏎キーで決定します．

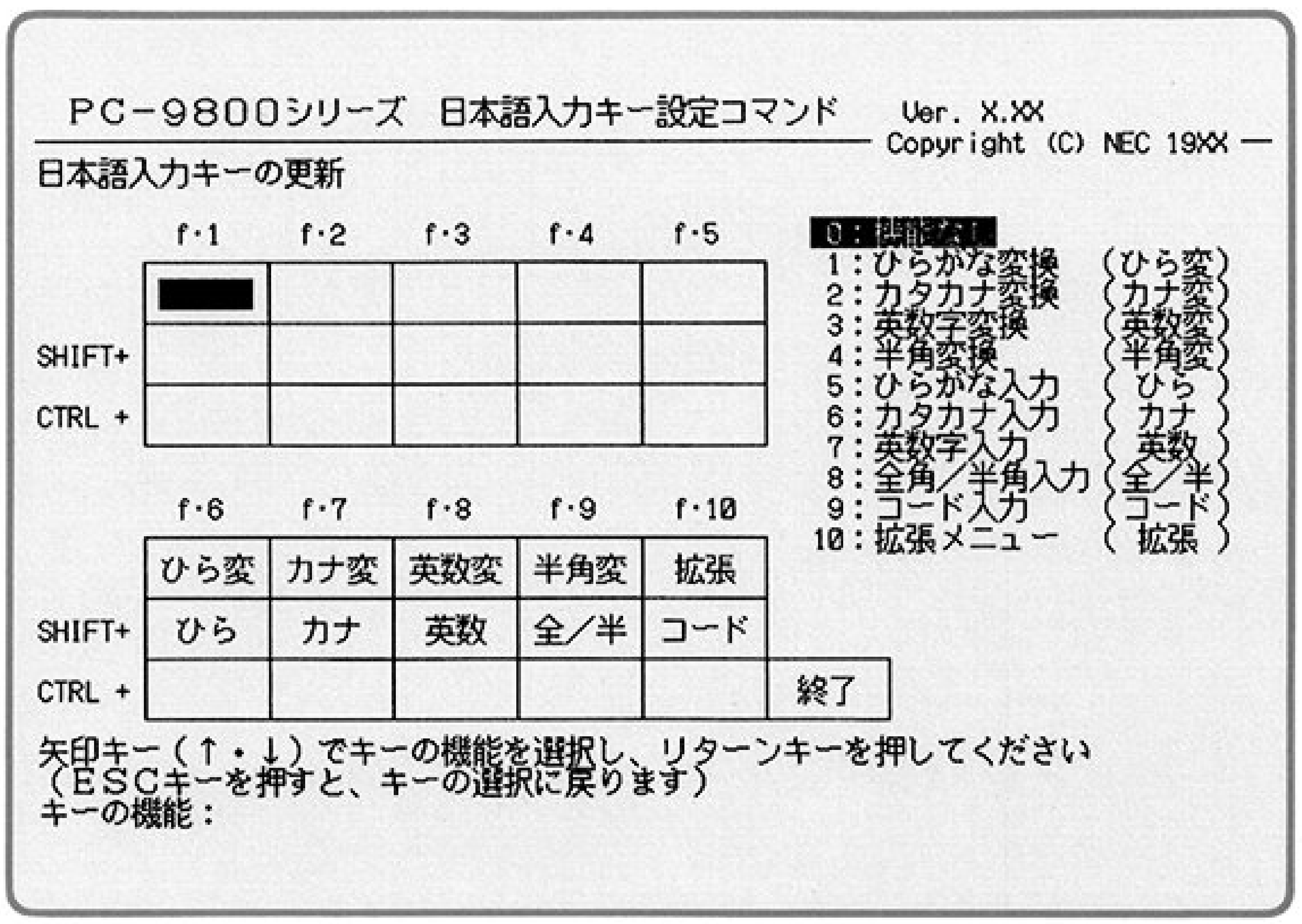


画面左側で機能を割り当てるファンクションキーを選択すると，メニューカーソルは，画面右側の機能一覧に移ります．ここで，先ほど選択したファンクションキーに割り当てるべき機能を選択します．

ファンクションキーに割り当てる機能は次の通りです.

参考：拡張機能については,「第1部 第2章 2.5」を参照してください.

機能項目	機　能
ひらがな変換	ひらがなに変換する
カタカナ変換	カタカナに変換する
英数字変換	ローマ字入力の際, 入力したローマ字に戻す
半角変換	半角の英数, カタカナに変換する
ひらがな入力	タイプした読みがなをひらがなで表示する
カタカナ入力	タイプした読みがなをカタカナで表示する
英数字入力	タイプした読みがなを英文字で表示する
全角／半角入力	全角と半角を切り替える
コード入力	文字コード番号で入力する
拡張メニュー	拡張機能



ファンクションキーへの機能の割り当てが終了したら，メニューカーソルを「終了」に重ねて[↵]キーを押します．これで日本語入力キーコマンドは終了します．

5.2　日本語入力キーの変更

日本語入力キーの機能を変更するには，MS-DOSシステムの起動ディスクに前項5.1で説明した方法で日本語入力キーファイルを作成し，このファイルをMS-DOSシステムの起動時に読み込ませます．

日本語入力キーファイルを読み込ませるには，CONFIG.SYSファイルに設定が必要です．CONFIG.SYSファイルの設定は，「第3部 第6章 6.1　システム構築ファイルの設定」で説明します．

第6章 MS-DOSでの環境設定

参考：ユーザー独自のシステムディスク
お買い上げになったシステムディスクから，システムファイルと必要なコマンドのファイルだけを選んでコピーし作成したディスクが，ユーザー独自のシステムディスクです．このディスク内には，コマンドのファイルだけでなく，ユーザーが頻繁に使用するユーティリティプログラムやアプリケーションプログラムのファイルなども収めることが多いようです．

本書で説明している日本語入力機能を使用するためには，MS-DOSシステムに対する設定が必要です．お買い上げいただいたMS-DOSのシステムディスクには，初期状態として日本語入力機能が使用できるように設定済みですが，ユーザーが独自に作成したMS-DOS起動ディスクで日本語入力機能を使用するためには，システムに設定を独自に行う必要があります．

また，初期状態で設定されている変換方式を変更する際にも，システムに対する設定が必要です．

6.1 システム構築ファイルの設定

MS-DOSシステムの初期状態では，日本語入力機能が使用できるようにすでに設定されています．

しかし，初期状態の変換方式を変更したり，新しく作成したユーザーのシステムディスク内で日本語入力機能を使用したりするには，これから説明するCUSTOMコマンドまたは適当なエディタによって，MS-DOSの起動ファイルのシステム構築ファイル(CONFIG.SYSファイル)内に特別な指定を書き込まなければなりません．

こうして書き込んだCONFIG.SYSファイルへの指定は，MS-DOSシステムの再起動後に有効になります．その後改めて変更するまでは変化しません．

注意：画面中で，白地の部分はユーザーがタイプする部分です．

注意：CONFIG.SYSファイル内に日本語入力機能に関する指定がないか，またはMS-DOSの起動ディスクにCONFIG.SYSファイルそのものがない場合には，日本語入力モードに入ると（CTRL＋XFERキーを押すと）自動的にJIS16進コード変換が採用されます（この状態では，JIS16進コード変換しかできません）．

参照：JIS16進コード変換 ☞「第3部 第3章 3.4 JIS16進コード変換」

まず，使用中のMS-DOSシステムディスク内にあるCONFIG.SYSファイルの内容を確認してみましょう．TYPEコマンドを使用してファイル中に日本語入力機能に必要な指定が含まれているかどうか確かめてみてください．

```
A> TYPE CONFIG.SYS
          .
          .
          .
DEVICE = NECAIK1.DRV
DEVICE = NECAIK2.DRV B:NECAI.SYS
          .
          .
          .
```

↑AI逐次変換　↑ドライブBに辞書ファイル

この例では，AI逐次変換が使用でき，辞書ファイルとしてドライブBにあるNECAI.SYSを使用することが記述されています．

次に，CONFIG.SYSファイルの内容の変更を，MS-DOSのCUSTOMコマンドを使って変更する場合と，エディタを使って変更する場合に分けて説明します．

参照：CUSTOMコマンド ☞『MS-DOS ユーザーズリファレンスマニュアル』

●CUSTOMコマンドを使用する場合

MS-DOSシステムのCUSTOMコマンドは，システム構築ファイル（CONFIG.SYS）の内容を対話形式で作成・変更することができます．このCUSTOMコマンドによって，日本語入力機能を使用する指定を，CONFIG.SYSファイル内に記述することができます．

次に，操作方法を示します．

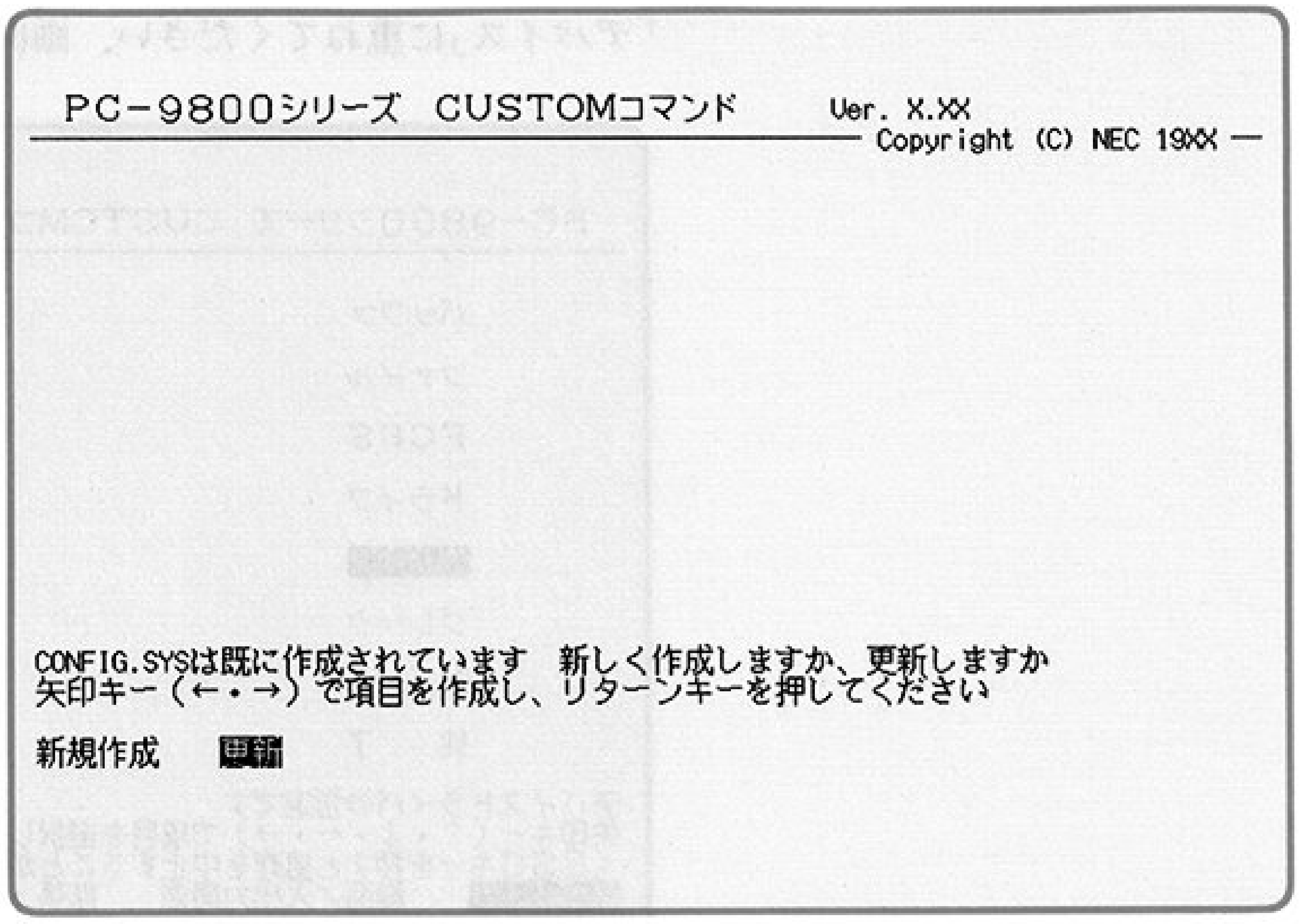
注意：CUSTOMコマンドは外部コマンドです．コマンドの実行時には，このコマンドのファイル（CUSTOM.EXE）がディスク内になければなりません．

①まず，MS-DOSのプロンプトが表示されている状態からCUSTOMコマンドを実行します．

```
A> CUSTOM A:
```

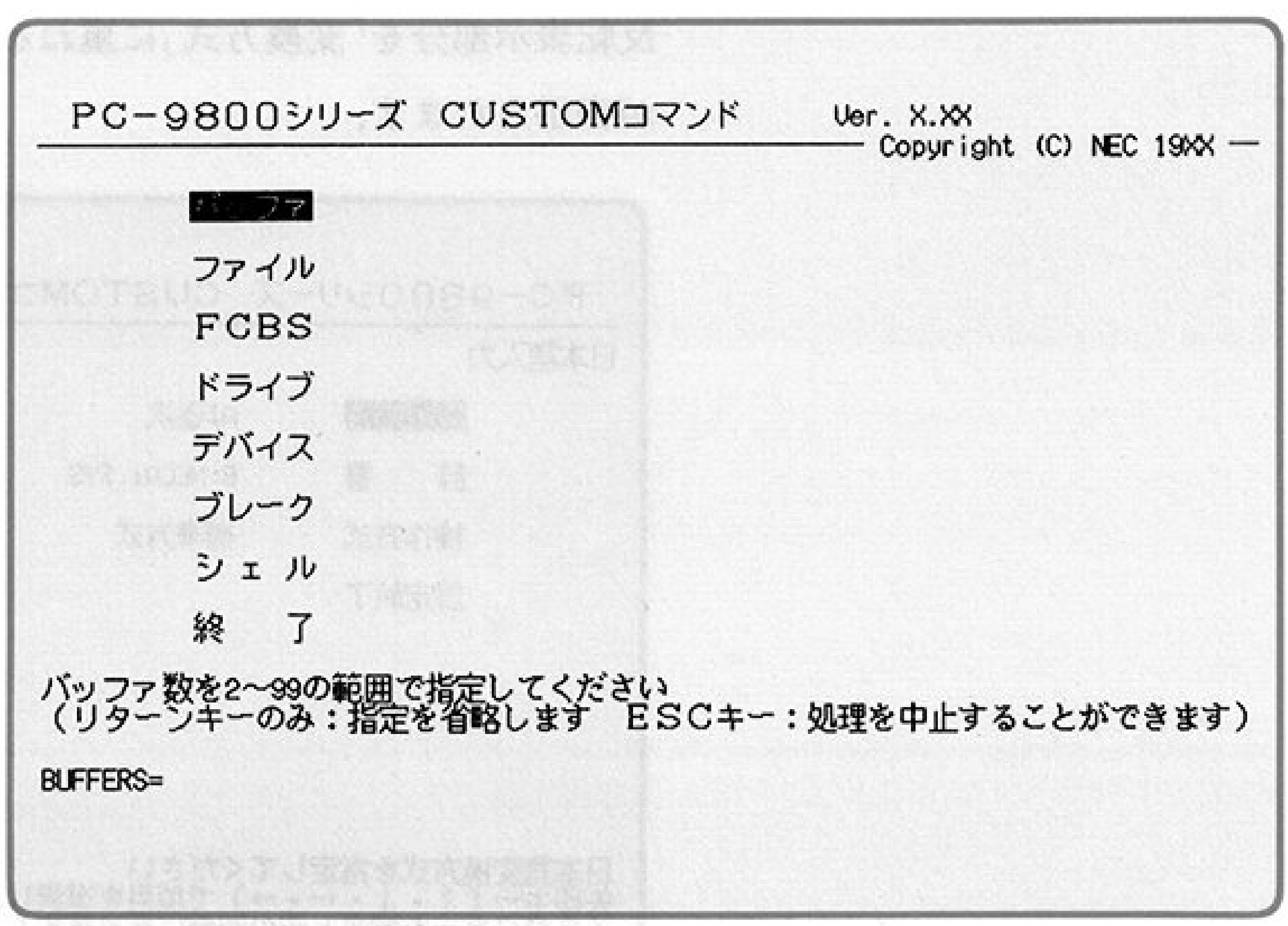
CUSTOMコマンド内では，カーソル移動キー（↑ ↓ ← →）で反転表示部分を動かします．

②画面の下に次のようなメッセージが表示されます．

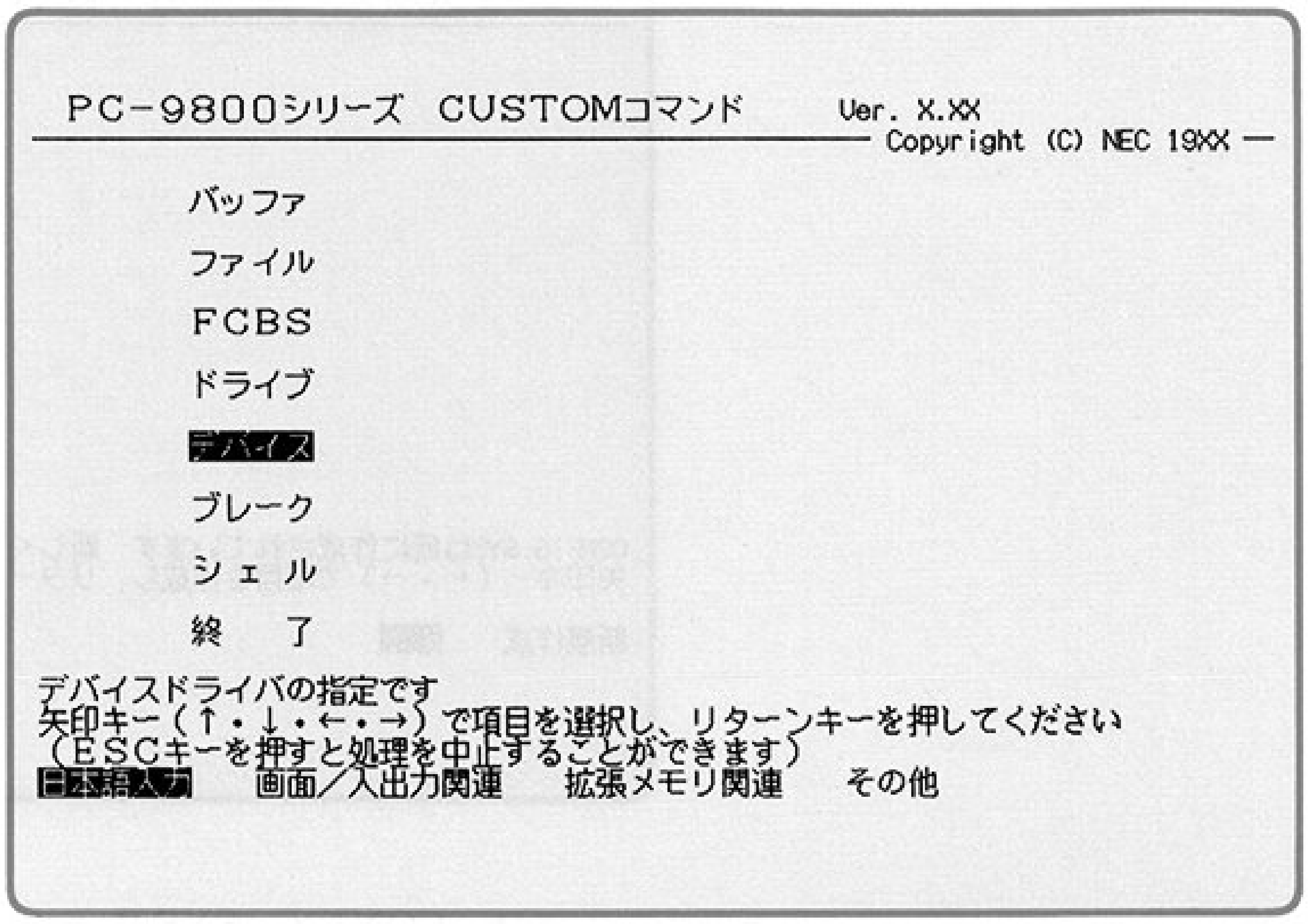


ここでは，CONFIG．SYSファイルを新たに「作成」するか，既存のCONFIG．SYSファイルの内容を「更新」するかを選択します．
今回は「更新」を選択します．左右のカーソル移動キー（[←][→]）を押して反転表示を「更新」の上に重ね，[↵]キーを押してください．

③画面は次のように変わります．



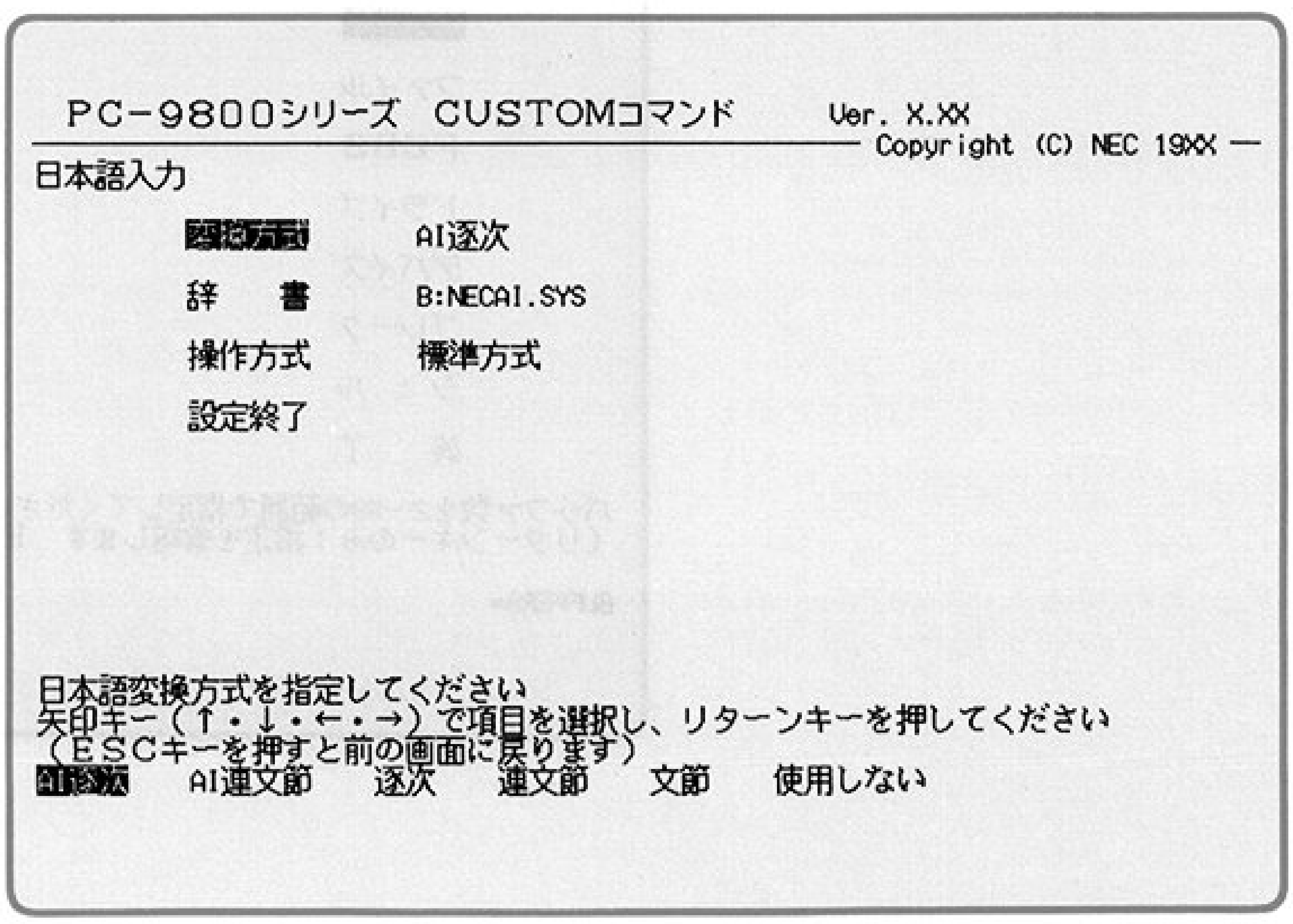
④日本語入力機能についての指定を行うには，「デバイス」を選択します．上下のカーソル移動キー(↑ ↓)を押して反転表示を動かし，「デバイス」に重ねてください．画面には次のように表示されます．



左右のカーソル移動キー(← →)で反転表示を「日本語入力」に重ね，⏎キーを押してください．

⑤画面が再び変わり，いま設定されている変換方式と辞書ファイルが表示されます．

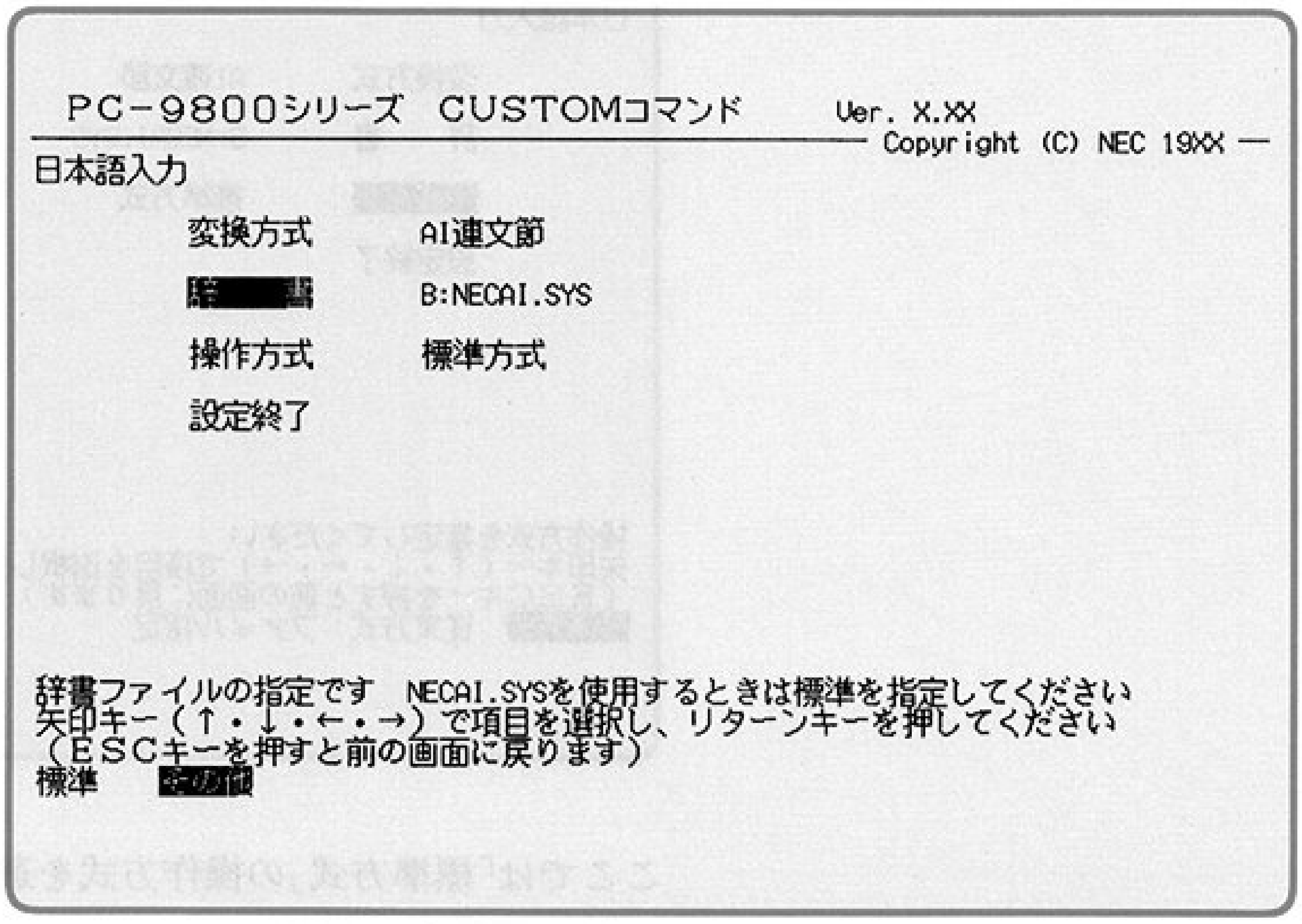
ここで，変換方式をAI逐次変換からAI連文節変換へ変更してみます．反転表示部分を「変換方式」に重ねると，画面下に変換方式の選択項目が表示されます．



ここで，「AI連文節」に反転部分を重ね，⏎キーを押してください．

注意：変換方式に逐次変換，連文節変換，単文節変換を選択した場合は，「標準」の辞書ファイル名はNECDIC.SYSになります．AI変換を選択した場合は，「標準」の辞書ファイル名はNECAI.SYSになります．

⑥次に，辞書ファイルの指定をします．反転部分を「辞書」に重ねると，画面下に次のようなメッセージが表示されます．



参考：辞書ファイルのドライブ指定

辞書ファイルは，カレントドライブから読み込まれるのがふつうです．これを他のドライブに変更するには，操作⑥で，反転部分を「辞書」に重ねた後，「その他」を選択し，そこでドライブ名とファイル名を指定してください．

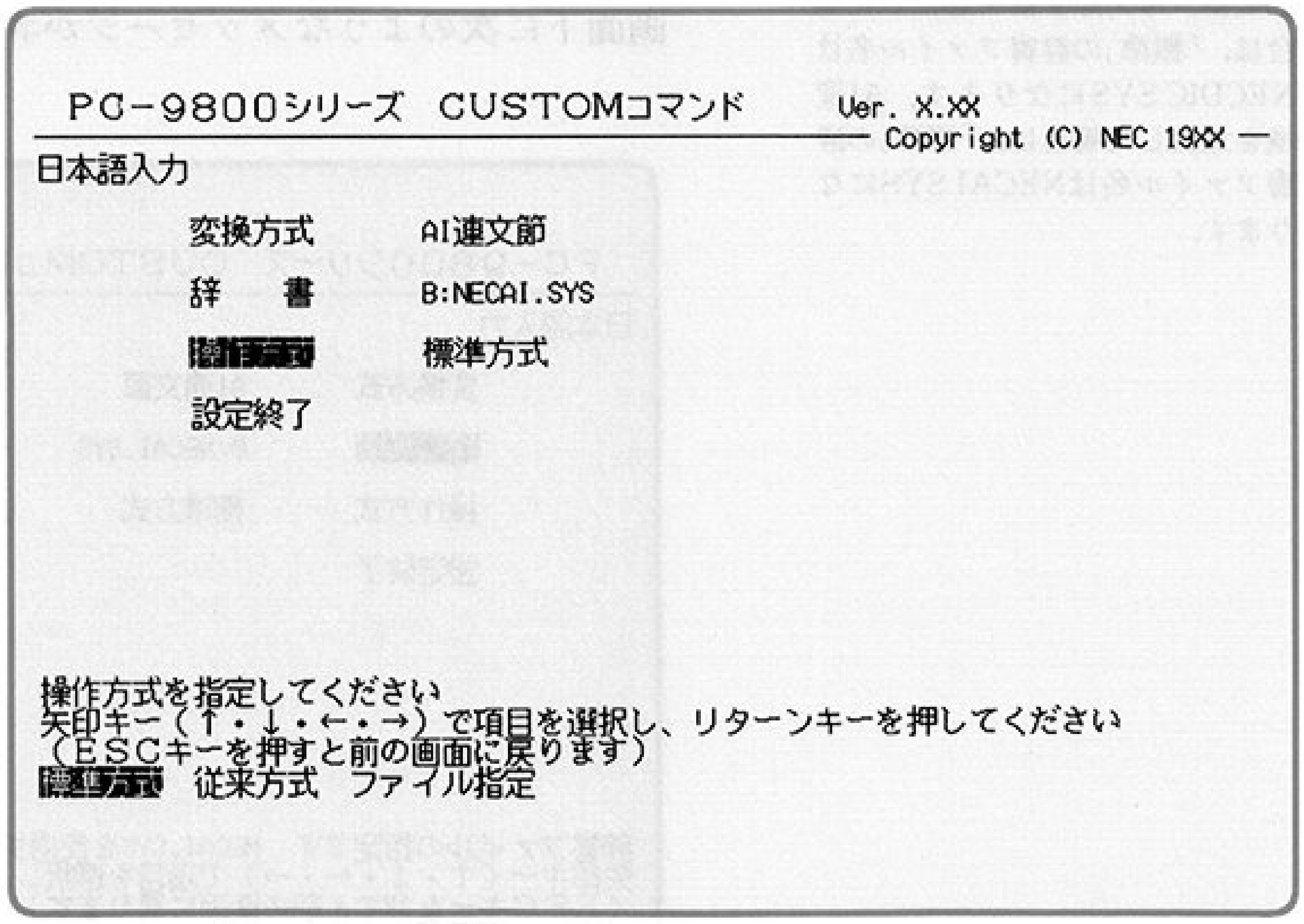
カレントドライブは，プロンプトが「A>」ならドライブA，「B>」ならドライブBです．

ここでは，「標準」の辞書ファイルを選択します．反転表示部分を「標準」に重ね，⏎キーを押してください．

カレントドライブ以外のドライブにある「標準」の辞書ファイル，または他の辞書ファイルを使用する場合は，「その他」を選択してください．

「その他」を選択すると，辞書ファイル名を入力するよう求められます．

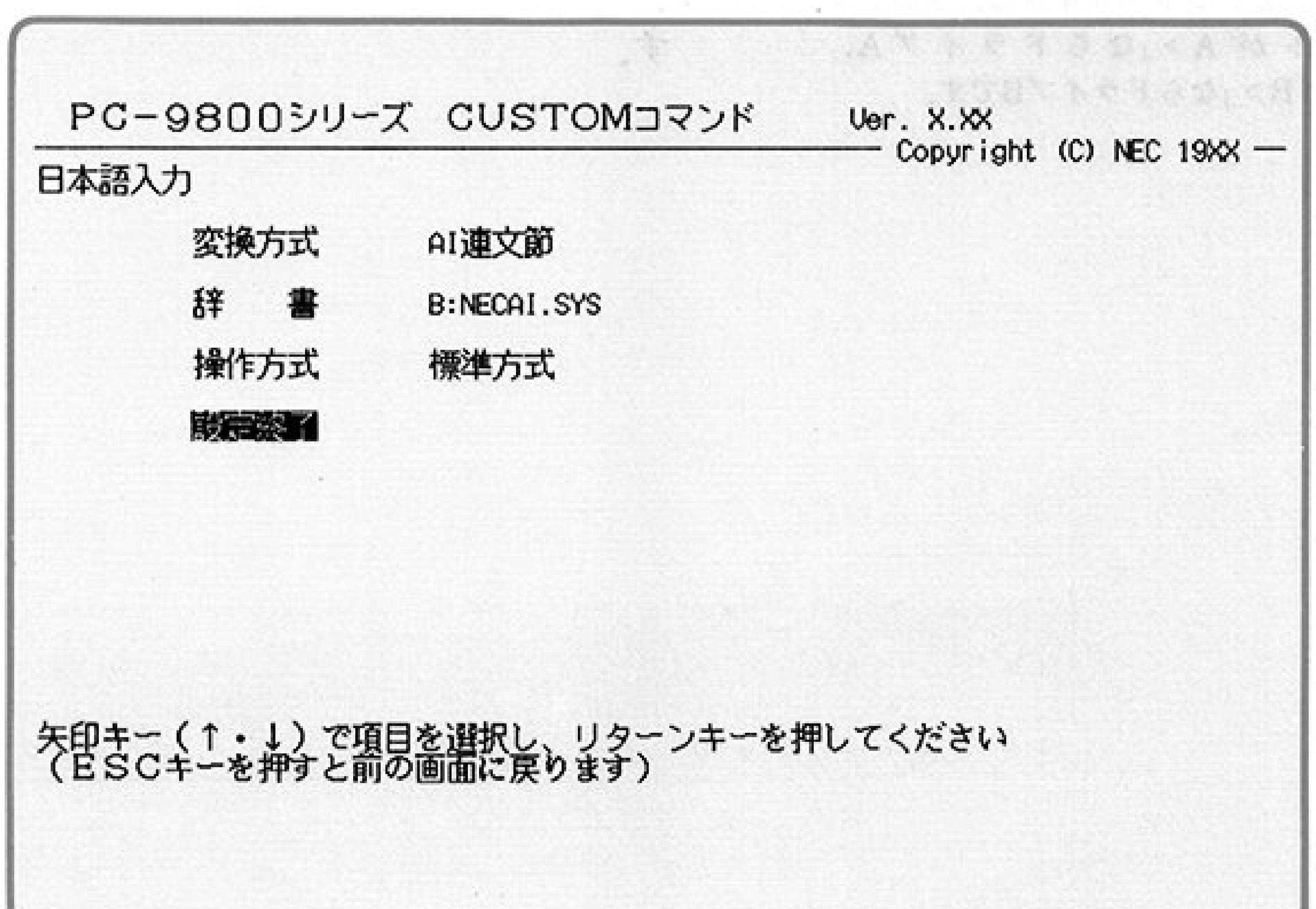
⑦次に，操作方式の指定をします．反転部分を「操作方式」に重ねると，画面下に次のようなメッセージが表示されます．



ここでは「標準方式」の操作方式を選択します．反転部分を「標準方式」に重ね[⏎]キーを押してください．

ここで「従来方式」を選択すると，MS-DOS ver3.3Bまでと同様の操作方式になります．また，「ファイル指定」を選択すると，操作方式を変更する日本語入力キーファイル名を入力するよう求められます．

⑧以上で，日本語に関する指定は終わりです．反転部分を「設定終了」に重ね，[⏎]キーを押してください．



⑨画面は③とおなじ操作画面に戻ります．ここで反転部分を「終了」に重ね，[↵]キーを押してください．

```
PC-9800シリーズ　CUSTOMコマンド　　　Ver. X.XX
―――――――――――――――――――――――――― Copyright (C) NEC 19XX ―

　　　　バッファ
　　　　ファイル
　　　　FCBS
　　　　ドライブ
　　　　デバイス
　　　　ブレーク
　　　　シェル
　　　　終　了

矢印キー（↑・↓）で項目を選択し，リターンキーを押してください
（ESCキーを押すと処理を中止することができます）
```

⑩最後に，新しく変更（または作成）するCONFIG.SYSファイルの内容が画面に表示されます．画面中の最初の2行は日本語入力機能に関する指定です．先ほど指定した変更により，AI連文節変換が指定されました．

ここで，内容にまちがいがなければ「作成を終了する」を選択し，操作を終了します．操作を続ける場合は「メニュー選択に戻る」，または「内容を編集する」を選択します．画面の内容にまちがいがないことを確認したら，反転部分を「作成を終了する」に重ね，[↵]キーを押してください．

```
PC-9800シリーズ　CUSTOMコマンド　　　Ver. X.XX
―――――――――――――――――――――――――― Copyright (C) NEC 19XX ―
DEVICE=NECAIK1.DRV
DEVICE=NECAIK2.DRV /R B:NECAI.SYS
DEVICE=PRINT.SYS
DEVICE=RSDRV.SYS


CONFIG.SYSは以上の内容で作成されます　よろしいですか
矢印キー（←・→）で項目を選択し，リターンキーを押してください
（ESCキーを押すと前の画面に戻ります）
作成を終了する　メニュー選択に戻る　内容を編集する
```

⑪画面はMS-DOSのシステムプロンプトに戻ります．

```
CONFIG．SYSファイルを作成しました
作成した内容を有効にするには、システムを再起動してください

A>
```

以上で，CUSTOMコマンドを使用した日本語入力機能の変更操作は終わりです．

●エディタを使用する場合

エディタとは，テキストファイルを作成するためのプログラムです．

CONFIG．SYSファイルを書き換えるエディタには，MS-DOSのシステムディスクに添付されているEDLINを使用することもできますが，MS-DOS上で実行できる市販のエディタなども利用可能です．

次に，各変換方式に必要な指定を示します．

参考：デバイスドライバ

CONFIG.SYSファイル内で「DEVICE」に続けて記述した「NECAIK1.DRV」，「NECDIC.DRV」などをデバイスドライバといいます．デバイスドライバとは，デバイス（周辺装置）の制御のために用意されているプログラムです．

・AI逐次変換またはAI連文節変換

DEVICE = NECAIK1．DRV［/F=［ドライブ名：］日本語入力キーファイル名］

DEVICE = NECAIK2．DRV［/R］［ドライブ名：］［辞書ファイル名］

/F=	：日本語入力キーファイルを読み込み，日本語入力キーを変更することを指定します．
日本語入力キーファイル名	：NECAIKEY．DAT（省略時もおなじです） NECAI 33B．DATを指定すると，日本語入力キーの操能がMS-DOS ver3．3Bまでと同様の従来方式となります．
/R	：AI連文節変換を指定します．省略時はAI逐次変換を指定したことになります．
ドライブ名	：A，B，……など，辞書ファイルのあるドライブ名を指定します．省略時はカレントドライブを指定したことになります．
辞書ファイル名	：NECAI．SYS（省略時もおなじです）．

・逐次変換または連文節変換

DEVICE = NECAIK1.DRV [/F= [ドライブ名：]日本語入力キーファイル名]

DEVICE = NECAIK2.DRV /T [/R][ドライブ名：][辞書ファイル名]

/F=	：日本語入力キーファイルを読み込み，日本語入力キーを変更することを指定します．
日本語入力キーファイル名	：NECAIKEY.DAT(省略時もおなじです) NECAI 33B.DATを指定すると，日本語入力キーの操能がMS-DOS ver3.3Bまでと同様の従来方式となります．
/T	：AIかな漢字変換を使用しないことを指定します．
/R	：連文節変換を指定します．省略時は逐次変換を指定したことになります．
ドライブ名	：A，B，……など，辞書ファイルのあるドライブ名を指定します．省略時はカレントドライブを指定したことになります．
辞書ファイル名	：NECDIC.SYS(省略時もおなじです)．

・単文節変換

DEVICE = NECDIC.DRV [ドライブ名：][辞書ファイル名]

ドライブ名	：A，B，……など，辞書ファイルのあるドライブ名を指定します．省略時はカレントドライブを指定したことになります．
辞書ファイル名	：NECDIC.SYS(省略時もおなじです)．

辞書ファイルのドライブ名を省略した場合は，辞書ファイルをカレントドライブのルートディレクトリにおいてください．

ドライブ名を指定した場合は，辞書ファイルを指定ドライブのルートディレクトリにおいてください．

CONFIG.SYSファイルの設定を変更したら，必ずMS-DOSシステムを再起動させてください．再起動しないと新しい設定が有効になりません．

参考：カレントドライブ，ルートディレクトリ
カレントドライブとは，MS-DOSシステムが現在注目しているドライブです．ルートディレクトリとは，階層ディレクトリのもととなるディレクトリです．

参照：階層ディレクトリ ☞『MS-DOS ユーザーズガイド』

6.2　メモリ容量と辞書ファイル

使用する変換方式によって，日本語入力機能に必要なメモリ容量と辞書ファイルがちがいます．

●メモリ容量

各変換方式に必要なメモリ容量は次のようになっています．

注意：＊がついている数字は，EMSインターフェイスを使用すると必要メモリ量が減少します．

注意：表中の値には，MS-DOSシステムが使用するメモリ容量は含まれていません．

変換方式	必要メモリ容量（単位：KB）
AI逐次	約120Kバイト*
AI連文節	約120Kバイト*
逐次	約120Kバイト*
連文節	約120Kバイト*
単文節	約37Kバイト
JIS	なし

●辞書ファイル

使用する変換方式によって，利用する辞書ファイルがちがいます．各システムで利用できる変換方式と辞書ファイルの関係は，次のようになっています．

変換方式	辞書ファイル名
AI逐次	NECAI.SYS
AI連文節	NECAI.SYS
逐次	NECDIC.SYS
連文節	NECDIC.SYS
単文節	NECDIC.SYS
JIS	使用しない

第7章 EMSについて

拡張メモリ領域にメモリを増設すると，EMSドライバとの併用でEMSメモリとして使用できます．AIかな漢字変換ドライバは，かな漢字デバイスドライバプログラムの大半をEMSメモリ領域に置くことができるので，メインメモリの消費を最小に抑えることができます．EMSメモリを使用する場合としない場合との，メインメモリ使用量を下表に挙げます．

なお，文節変換ドライバのときは，EMSドライバと併用しても，メインメモリの使用量は変わりません．

参考：EMS使用(1)～(2)の詳細は，次のとおりです．
　EMS使用(1)……EMSドライバとしてEMM. SYSドライバを使用した場合
　EMS使用(2)……EMSドライバとしてEMM386. SYSドライバを使用した場合

参照：EMSインターフェイス，ページフレーム ☞『MS-DOSユーザーズリファレンスマニュアル』

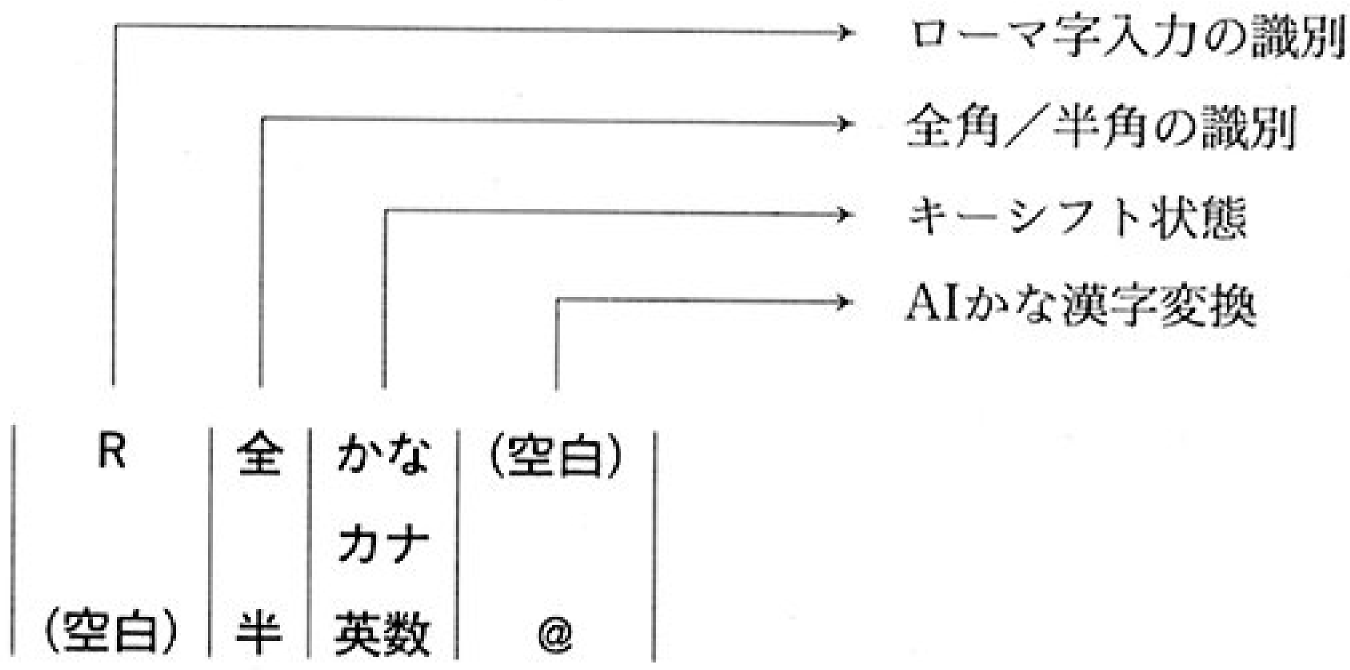
EMS 使用状況	メインメモリ使用容量
EMS 非使用	約 120 K バイト
EMS 使用(1)	約 60 K バイト以下
EMS 使用(2)	約 6 K バイト

付　　録

付録では，ガイドラインの見方，読みがなをタイプする際の規則，部首の一覧，漢字コード表といった資料がまとめてあります．必要に応じて参照してください．

付録A 入力モードとガイドライン

ガイドラインの入力モード表示を項目別に説明します．



●ローマ字入力の識別

ローマ字をタイプする際，スペースキーなどで変換可能にするかどうか選択します．「R」が表示されていないときにタイプされた英字は，スペースキーを押しても変換されません．

この項目は，[f·10] - [4．**ローマ字切替**]で切り替えます．

●全角／半角の識別

タイプする読みがなを，全角／半角，どちらで表示するか選択します．「半」のときは，ひらがなは表示できません．

この項目は，[SHIFT] + [f·9] で切り替えます．

●キーシフト状態

タイプする読みがなを，ひらがな／カタカナ／英字，のどれで表示するか選択します．

この項目は，以下のキーで選択します．

[SHIFT] + [f·6] ……**ひらがな**
[SHIFT] + [f·7] ……**カタカナ**
[SHIFT] + [f·8] ……**英数字**

●AIかな漢字変換

変換する際，前の文節との間に意味のつながりを見つけて，同音異義語の中から文にあった語を表示させる「AI漢字変換」を使うかどうか選択します．「@」が表示されているときにAI漢字変換が使えます．

この項目は，システム構築ファイル内で設定します．

付録B ローマ字入力の規則

●ローマ字入力の注意点

句点(、)，読点(。)，長音(ー)，〝ん〟などのタイプ方法は次のとおりです．

文　字	キー操作	タイプ例	表　示
はつ音（ん）	[N] 1文字(子音)	NIHONGO	にほんご
	または,		
	[N] に続いて, [SHIFT] + [ァャヤ]	KAN'I	かんい
	[N] [N]	HANNI	はんい
〝を〟	[W] [O]	WO	を
長音記号(ー)	[ー=ホ]	PE－JI	ぺーじ
促音(っ)	子音を重ねる	DOTTI	どっち
	または，母音に続けて，[SHIFT] + [ァャヤ]	A'	あっ
かな小文字	[SHIFT] を押しながら A, I, U, E, O	[SHIFT] + [A]	ぁ
	[L] に続いて，A, I, U, E, O	[L] [A]	ぁ
句点(。)	[>。ル]	——	。
読点(、)	[<、ネ]	——	、

注意：表中の〝表示〟はキーシフト「かな」の場合の例です．

●ローマ字入力規則表

あ	い	う	え	お
A	I (YI)	U (WU)	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI (SHI)	SU	SE	SO
た	ち	つ	て	と
TA	TI (CHI)	TU (TSU)	TE	TO
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU (FU)	HE	HO
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や	い	ゆ	いぇ	よ
YA	YI	YU	YE	YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	うぃ	う	うぇ	を
WA	WI	WU	WE	WO
が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI (JI)	ZU	ZE	ZO
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO
きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
SYA (SHA)	SYI	SYU (SHU)	SYE (SHE)	SYO (SHO)
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
TYA (CHA) (CYA)	TYI (CYI)	TYU (CHU) (CYU)	TYE (CHE) (CYE)	TYO (CHO) (CYO)

にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
ZYA (JA) (JYA)	ZYI (JYI)	ZYU (JU) (JYU)	ZYE (JE) (JYE)	ZYO (JO) (JYO)
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
THA	THI	THU	THE	THO
ふぁ	ふぃ	ふ	ふぇ	ふぉ
FA	FI	FU	FE	FO
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
VA	VI	VU	VE	VO
ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
LA	LI	LU	LE	LO
ゃ	ぃ	ゅ	ぇ	ょ
LYA	LYI	LYU	LYE	LYO
っ				
LTU				
ん				
NN N' N(子音)				

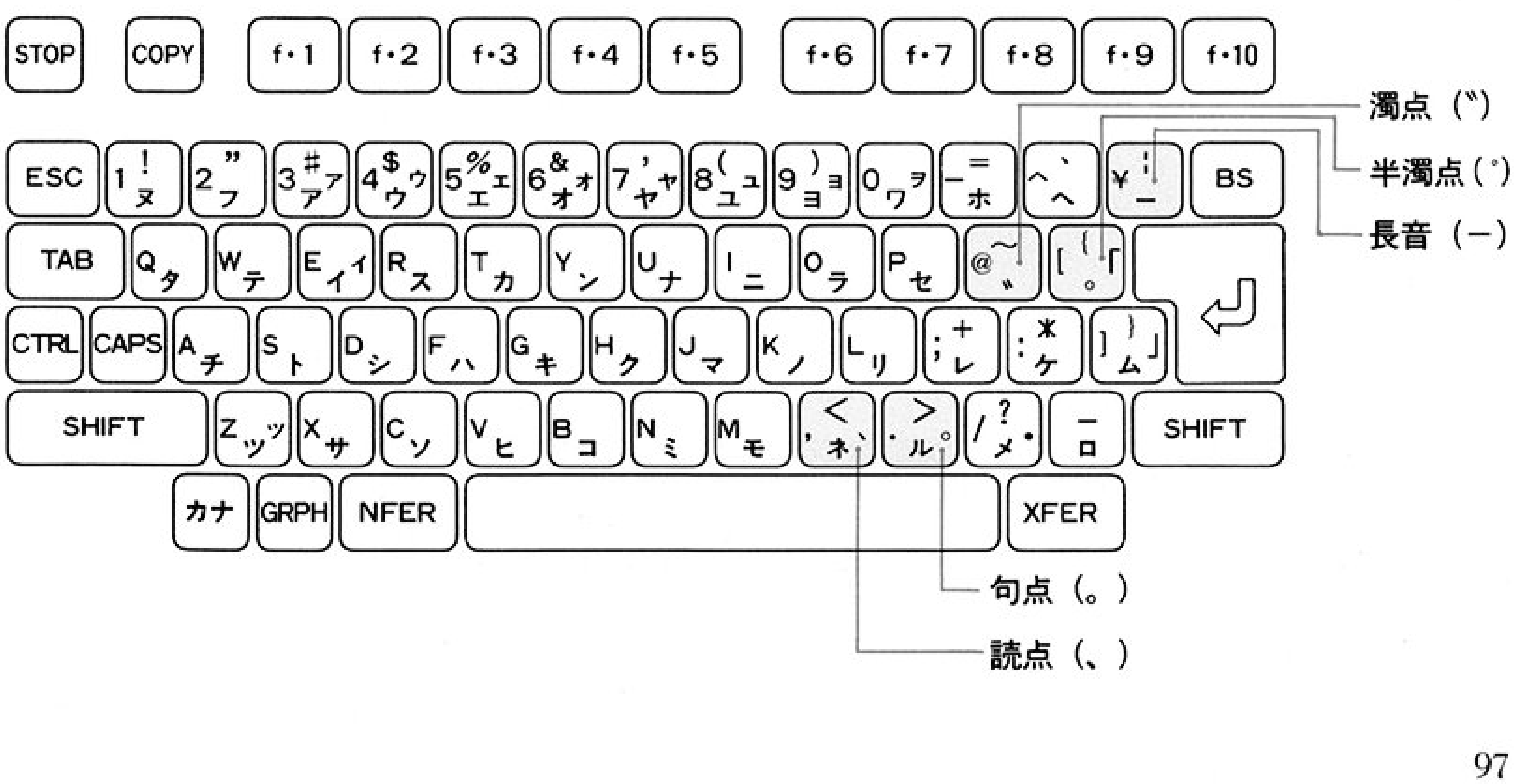
注意：表中のヴァ，ヴィ，ヴ，ヴェ，ヴォは，カタカナ文字でタイプしてください。

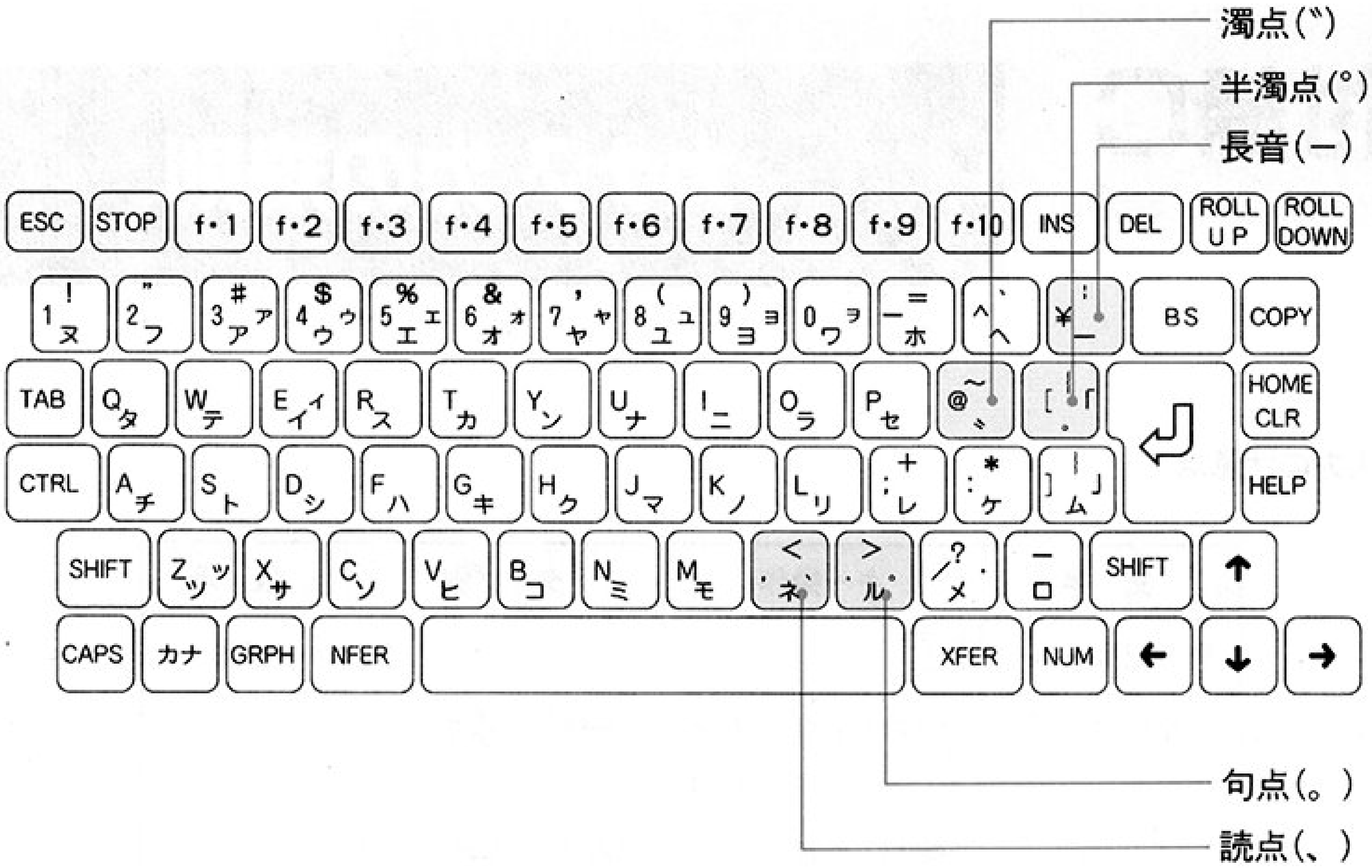
付録C カナ入力の規則

●カナ入力の注意点

文 字	キー操作	タイプ例	表 示
長音記号(ー)	[¥ ー]	カーソル	かーそる
かな小文字	[SHIFT] を押しながら，ア，イ，ウ，エ，オ	[SHIFT]＋[3 # ア ァ]	ぁ
"を"	[SHIFT] を押しながら [0 ワ ヲ]	[SHIFT]＋[0 ワ ヲ]	を
句点（。）	[SHIFT]＋[> . ル 。]	——	。
読点（、）	[SHIFT]＋[< , ネ 、]	——	、
濁点	文字の後で [@ ~ ゛]（濁点キー）を押す	[カ] [@ ~ ゛]	が
半濁点	文字の後で [[{ ゜ 「]（半濁点キー）を押す	[ハ] [[{ ゜ 「]	ぱ

注意：カナ入力を行うときは，必ず [カナ] キーをロックしておいてください．
なお，表中の〝表示〟はキーシフト「かな」の場合の例です．





濁点(゛)
半濁点(°)
長音(ー)
ESC
STOP
f･1
f･2
f･3
f･4
f･5
f･6
f･7
f･8
f･9
f･10
INS
DEL
ROLL UP
ROLL DOWN
BS
COPY
TAB
HOME CLR
CTRL
HELP
SHIFT
CAPS
カナ
GRPH
NFER
XFER
NUM
句点(。)
読点(、)

付録D 日本語入力キーの一覧表

機　能	標準方式	従来方式(注1)
日本語入力モードのON/OFF	CTRL + XFER	CTRL + XFER
漢字への変換	XFER またはスペース	XFER
文字の一括確定	⏎	スペース
同音語次候補の表示	XFER	XFER
同音語前候補の表示	SHIFT + XFER	SHIFT + XFER
文節右移動	↓ または NFER	⏎
文節左移動	↑	――――
文節延長	CTRL + →	CTRL + →
文節縮小	CTRL + ←	CTRL + ←
カーソル右移動	→	→
カーソル左移動	←	←
逆変換(注2)	ESC	ESC
見出しの消去(注2)	ESC	ESC
カーソル直前の文字の消去	BS	DEL
カーソル位置の文字の消去	DEL	――――
ローマ字入力のON/OFF	f･10 (注3)	――――
キーシフトをひらがなに設定	SHIFT + f･6	f･3 ひらがな／カタカナの切り替え
キーシフトをカタカナに設定	SHIFT + f･7	
キーシフトを英数字に設定	SHIFT + f･8	f･2 英数／かな(カナ)の切り替え
全角／半角の切り替え	SHIFT + f･9	f･6
直接／間接入力の切り替え	f･10 (注3)	f･1 または f･10 (注3)
コード入力モードの設定	f･10 (注3)	f･10 (注3)
部首選択モードの設定	――――	CTRL + f･1
ひらがな変換	f･6	SHIFT + f･1
カタカナ変換	f･7	SHIFT + f･3
英数変換	f･8	SHIFT + f･2
半角変換	f･9	SHIFT + f･4
単語登録	f･10 (注3)	f･8 または f･10 (注3)
登録単語の削除	f･10 (注3)	f･9 または f･10 (注3)
拡張機能	f･10	f･10

(注1) 従来方式とはMS-DOS ver3.3Bまでの方式で，CUSTOMコマンドで「操作方式」を「従来方式」と選択した場合に有効です．

(注2) ESC キーは，読みがなのタイプ中のみ見出し(読みがな)を消去します．

(注3) f･10 キー(拡張機能)で選択できる項目には次のものがあります．

拡張機能
- 1. 単語登録
- 2. 単語削除
- 3. 辞書切り替え
- 4. ローマ字のON/OFF
- 5. 入力形式の設定
  - 1. 変換方式設定
  - 2. コード入力の文字コード体系の変更
  - 3. 直接入力／間接入力の切り替え
- 6. 補助機能の設定
  - 1. 学習機能のON/OFF
  - 2. 句読点変換のON/OFF
  - 3. 同音異義語候補の表示方法の設定

付録E 部首の読み一覧表

部首選択により，特殊な漢字や特殊記号を表示することができます．部首選択で使用する〝読み〟を次の表に示します．表には特殊な漢字の〝読み〟を集めた「部首→漢字」表と，特殊記号の〝読み〟を集めた「特殊記号」表の２つがあります．

なお，部首選択の操作方法については，「第２部　第２章　2．1　部首がかわる場合」，「第２部　第３章　3．4　記号のタイプ」で説明しています．

●表の使い方

・「部首→漢字」表

この表は，部首の画数，部首，〝読み〟の３つに分かれています．表示させたい漢字の部首の画数から部首の〝読み〟を見つけることができます．

たとえば，「該，訣，諮」など〝ごんべん〟の部首の〝読み〟を見つけるためには，次のようにします．

①表から，〝言（ごんべん：７画）〟を見つけます．
②右欄の読みより，〝言〟の読み，〝ごん〟が見つけられます．

・「特殊記号」表

この表は，〝読み〟と記号の２つに分かれています．たとえば，「Σ」の〝読み〟を見つけるためには，次のようにします．

①表中から（Σ）を捜します．
②左欄の読みより，記号（Σ）の読み，〝.が〟が見つけられます．

●部首→漢字

画	部首	読み
一画	一	いち
	ノ	の
二画	亠	なべ ふた
	人	にん ひと
	儿	ひとあし る
	刂 *	りっとう
	刀 *	かたな
	八	はち
	匚, 囗, 冂	かまえ
	冖	わ
	冫	ん に
	几	つくえ
	凵	うけばこ
	力	か ちから
	勹	つつみ く
	十	じゅう
	卩	ふし せつ
	厂	がん
	又	また ぬ
三画	口	くち ろ
	氵 *	さん し
	犭 *	けもの
	忄 *	りっしん
	扌(手)	て
	土	つち ど

画	部首	読み
三画	士	さむらい
	夕	ゆう
	大	だい
	女	おんな
	子	こ
	宀	う
	寸	すん
	小(⺌)	しょう つ
	尸	しゃく
	山	やま
	己	おのれ
	巾	はば
	广	ま
	廴	えん
	弋	しき
	弓	ゆみ
	彳	ぎょう
	(左)阝(阜)	こざと
	(右)阝(邑)	おおざと
	辶(⻌)	しん
	艹	くさ
四画	心 *	こころ
	火 *	ひ
	灬 *	よつてん
	攵	のぶん

画	部首	読み
四画	方	ほう
	日	にち
	月 *	つき
	木	き
	欠	けつ あくび
	歹	いちた
	殳	るまた
	毛	け
	气	きがまえ
	水 *	みず すい
	爪	つめ
	片	かた
	牛(⺧)	うし
	犬 *	いぬ
	礻 *	ね
	王(玉)	おう たま
	戈	ほこ
五画	瓜	うり
	示 *	しめす
	衤 *	ころも
	田 *	た
	疒	やまい
	癶	はつ
	白	しろ
	皮	かわ

画	部首	読み	画	部首	読み	画	部首	読み
五画	皿	さら	六画	血	ち	九画	革	かく
	目	め		衣	きぬ		韋	なめし
	矢	や		襾(西)	にし		音	おと
	石	いし	七画	臣	おみ		頁	おおがい ぺーじ
	禾	のぎ		見	みる けん		風	かぜ
	穴	あな		言	ごん		食	しょく
	立	たつ りつ		谷	たに		首	くび
	四	よん		豆	まめ		香	かおり こう
	瓦	かわら		豕	いのこ		面	めん
六画	糸	いと		貝	かい	十画	馬	うま
	缶	かん		赤	あか		骨	ほね
	竹	たけ		走	はしる そう		髟	かみ
	羊	ひつじ		足(⻊)	あし		鬥	とう
	羽	はね		身	み		鬼	おに
	老	おい ろう		車	くるま		高	たかい
	耒	すき		辛	からい	十一画	鳥	とり
	耳	みみ		酉	さけ ひよみ		魚	うお
	聿	ふで		釆	のごめ		鹿	しか
	肉 *	にく		豸	むじな		麥(麦)	ばく むぎ
	米	こめ		角	つの	十二画	黒	くろ
	臼	うす	八画	金	かね	十四画	鼻	はな
	舌	した		門	もん	十五画	齒	は
	舟	ふね		隹	ふるとり	十六画	龜	かめ
	虍	とら		雨	あめ			
	虫	むし		非	あらず			

注意：＊のついたものは，同一部首で表現が２つあるものを示します．

（忄－心，礻－示，衤－衣，刀－刂，犭－犬，氵－水，火－灬，月－肉）

●特殊記号

読　み	記　　号
．か	‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕 ［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 〝 〟
．が	＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ≒ ≡ ∫ ∮ Σ √ ⊥ ∠ ∟ ⊿ ∵ ∩ ∪
．き	＃ ＆ ＊ ＠ § ※ 〒 〃 仝 々 、 。 ， ． ・ ： ； ？ ！ ゛ ゜ … ‥ 〇 ― ─ ‐ ／ ＼ ～ → ← ↑ ↓ ＝ ヽ ヾ ゝ ゞ ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ 〆 ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ‖ ｜
．ぎ	Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω
．け	─ ━ │ ┃ ┄ ┅ ┆ ┇ ┈ ┉ ┊ ┋ ┌ ┍ ┎ ┏ ┐ ┑ ┒ ┓ └ ┕ ┖ ┗ ┘ ┙ ┚ ┛ ├ ┝ ┞ ┟ ┠ ┡ ┢ ┣ ┤ ┥ ┦ ┧ ┨ ┩ ┪ ┫ ┬ ┭ ┮ ┯ ┰ ┱ ┲ ┳ ┴ ┵ ┶ ┷ ┸ ┹ ┼ ┽ ┾ ┿ ╀ ╁ ╂ ╃ ╄ ╅ ╆ ╇ ╈ ╉ ╊ ╋
．た	° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ¢ £ ％ ㍉ ㌔ ㌢ ㍍ ㌘ ㌧ ㌃ ㌶ ㍑ ㍗ ㌍ ㌦ ㌣ ㌫ ㍊ ㌻ ㎜ ㎝ ㎞ ㎎ ㎏ ㏄ ㎡
．と	№ ㏍ ℡ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹ ㍾ ㍽ ㍼ ㍻
．は	─ ━ │ ┃ ┄ ┅ ┆ ┇ ┈ ┉ ┊ ┋ ┌ ┍ ┎ ┏ ┐ ┑ ┒ ┓ └ ┕ ┖ ┗ ┘ ┙ ┚ ┛ ├ ┝ ┞ ┟ ┠ ┡ ┢ ┣ ┤ ┥ ┦ ┧ ┨ ┩ ┪ ┫ ┬ ┭ ┮ ┯ ┰ ┱ ┲ ┳ ┴ ┵ ┶ ┷ ┸ ┹ ┺ ┻ ┼ ┽ ┾ ┿ ╀ ╁ ╂ ╃ ╄ ╅ ╆ ╇ ╈ ╉ ╊ ╋
．ま	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
．ろ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ
．ろしあ	А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я
きごう	〒 ※ § ○ ◎ ☆ ゝ ゞ 々 ヽ ヾ ＋ － × ÷ 〆 〇 ‥ ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ 〃 仝 ― ─ ‐ ／ ＼ ～ ‖ ｜ … ‘ ’ “ ” 〔 〕 ｛ ｝ 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 ± ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃ ¢ £ ％ ＃ ＆ ＊ ★ ● ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ → ← ↑ ↓ 〝 〟

注意・「.」印はピリオドです．テンキーにあるピリオドや「。」(句点)も使用できます．
・「平成」は，機種により表示されるものと表示されないものがあります．

付録F 漢字コード表

●表の見方

表中にある文字は，漢字コードによって参照することができます．

表の左側の欄にはJISコード，シフトJISコード，区点コードを表す4桁の16進数(0…9，A，B，C，D，E，F)が，最上行(または最下行)には1桁の16進数がそれぞれ並んでいます。

例えば〝伊″のJISコードを表中から求めるためには，次のようにします．

①表中の〝い″のグループに含まれている〝伊″の文字を見つけます．

②〝伊″のある行を左にたどり，JISコードの欄からまず4桁の16進数〝3040″を得ます．

③〝伊″のある列を上(または下)にたどり，最上行(または最下行)から1桁の16進数〝B″を得ます．

④②で求めた値と③で求めた値を加えます．

3040＋B＝304B

〝304B″が〝伊″のJISコードとなります．

なお，本書で使用するJIS16進コード変換ではJISコードをタイプしてください．

注意・漢字コード表の文字は，画面に表示できる文字です．

・漢字コード表の書体と，実際に画面に表示される書体とは異なります．

・漢字コード表のJIS第1水準，JIS第2水準の文字の仕様は，JISの文字に関する標準規格，JIS C 6226-1978に準拠しています．

・PC-9800シリーズのノーマルモード機(PC-9801RAなど)を使用する場合と，ハイレゾリューションモード機(PC-98RLなど)を使用する場合とでは，画面に表示される書体が一部異なります．

漢字コード表（JIS 第1水準）

	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F
記号	813F	2120	0100	SP 、 。	， ． ・ ：	； ？ ！ ゛	゜ ´ ｀ ¨
	814F	2130	0116	＾ ￣ ＿ ヽ	ヾ ゝ ゞ 〃	仝 々 〆 〇	ー ― ‐ ／
	815F	2140	0132	＼ ～ ∥ ｜	… ‥ ‘ ’	“ ” （ ）	〔 〕 ［ ］
	816F	2150	0148	｛ ｝ 〈 〉	《 》 「 」	『 』 【 】	＋ － ± ×
	8180	2160	0164	÷ ＝ ≠ ＜	＞ ≦ ≧ ∞	∴ ♂ ♀ °	′ ″ ℃ ￥
	8190	2170	0180	＄ ¢ £ ％	＃ ＆ ＊ ＠	§ ☆ ★ ○	● ◎ ◇
	819E	2220	0200	◆ □ ■	△ ▲ ▽ ▼	※ 〒 → ←	↑ ↓ 〓
英・数字	824F	2330	0316	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9	
	825F	2340	0332	A B C	D E F G	H I J K	L M N O
	826F	2350	0348	P Q R S	T U V W	X Y Z	
	8280	2360	0364	a b c	d e f g	h i j k	l m n o
	8290	2370	0380	p q r s	t u v w	x y z	
ひらがな	829E	2420	0400	ぁ あ ぃ	い ぅ う ぇ	え ぉ お か	が き ぎ く
	82AE	2430	0416	ぐ け げ こ	ご さ ざ し	じ す ず せ	ぜ そ ぞ た
	82BE	2440	0432	だ ち ぢ っ	つ づ て で	と ど な に	ぬ ね の は
	82CE	2450	0448	ば ぱ ひ び	ぴ ふ ぶ ぷ	へ べ ぺ ほ	ぼ ぽ ま み
	82DE	2460	0464	む め も ゃ	や ゅ ゆ ょ	よ ら り る	れ ろ ゎ わ
	82EE	2470	0480	ゐ ゑ を ん			
カタカナ	833F	2520	0500	ァ ア ィ	イ ゥ ウ ェ	エ ォ オ カ	ガ キ ギ ク
	834F	2530	0516	グ ケ ゲ コ	ゴ サ ザ シ	ジ ス ズ セ	ゼ ソ ゾ タ
	835F	2540	0532	ダ チ ヂ ッ	ツ ヅ テ デ	ト ド ナ ニ	ヌ ネ ノ ハ
	836F	2550	0548	バ パ ヒ ビ	ピ フ ブ プ	ヘ ベ ペ ホ	ボ ポ マ ミ
	8380	2560	0564	ム メ モ ャ	ヤ ュ ユ ョ	ヨ ラ リ ル	レ ロ ヮ ワ
	8390	2570	0580	ヰ ヱ ヲ ン	ヴ ヵ ヶ		
ギリシア文字	839E	2620	0600	Α Β Γ	Δ Ε Ζ Η	Θ Ι Κ Λ	Μ Ν Ξ Ο
	83AE	2630	0616	Π Ρ Σ Τ	Υ Φ Χ Ψ	Ω	
	83BE	2640	0132	α β γ	δ ε ζ η	θ ι κ λ	μ ν ξ ο
	83CE	2650	0648	π ρ σ τ	υ φ χ ψ	ω	
ロシア文字	843F	2720	0700	А Б В	Г Д Е Ё	Ж З И Й	К Л М Н
	844F	2730	0716	О П Р С	Т У Ф Х	Ц Ч Ш Щ	Ъ Ы Ь Э
	845F	2740	0732	Ю Я			
	846F	2750	0748	а б в	г д е ё	ж з и й	к л м н
	8480	2760	0764	о п р с	т у ф х	ц ч ш щ	ъ ы ь э
	8490	2770	0780	ю я			
ア	889E	3020	1600	亜 唖 娃	阿 哀 愛 挨	姶 逢 葵 茜	穐 悪 握 渥
	88AE	3030	1616	旭 葦 芦 鯵	梓 圧 斡 扱	宛 姐 虻 飴	絢 綾 鮎 或
	88BE	3040	1632	粟 袷 安 庵	按 暗 案 闇	鞍 杏	
	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F

注意：2120は漢字コードとして定義されていません．
2121の SP は空白（スペース）コードを示します．

	シフトJIS	JIS	区点	0123	4567	89AB	CDEF
イ	88BE	3040	1632			以伊	位依偉囲
	88CE	3050	1648	夷委威尉	惟意慰易	椅為畏異	移維緯胃
	88DE	3060	1664	萎衣謂違	遺医井亥	域育郁磯	一壱溢逸
	88EE	3070	1680	稲茨芋鰯	允印咽員	因姻引飲	淫胤蔭
	893F	3120	1700	院陰隠	韻吋		
ウ	893F	3120	1700		右宇	烏羽迂雨	卯鵜窺丑
	894F	3130	1716	碓臼渦嘘	唄欝蔚鰻	姥厩浦瓜	閏噂云運
	895F	3140	1732	雲			
エ	895F	3140	1732	荏餌叡	営嬰影映	曳栄永泳	洩瑛盈穎
	896F	3150	1748	頴英衛詠	鋭液疫益	駅悦謁越	閲榎厭円
	8980	3160	1764	園堰奄宴	延怨掩援	沿演炎焔	煙燕猿縁
	8990	3170	1780	艶苑薗遠	鉛鴛塩		
オ	8990	3170	1780		於	汚甥凹央	奥往応
	899E	3220	1800	押旺横	欧殴王翁	襖鶯鴎黄	岡沖荻億
	89AE	3230	1816	屋憶臆桶	牡乙俺卸	恩温穏音	
カ	89AE	3230	1816				下化仮何
	89BE	3240	1832	伽価佳加	可嘉夏嫁	家寡科暇	果架歌河
	89CE	3250	1848	火珂禍禾	稼箇花苛	茄荷華菓	蝦課嘩貨
	89DE	3260	1864	迦過霞蚊	俄峨我牙	画臥芽蛾	賀雅餓駕
	89EE	3270	1880	介会解回	塊壊廻快	怪悔恢懐	戒拐改
	8A3F	3320	1900	魁晦械	海灰界皆	絵芥蟹開	階貝凱劾
	8A4F	3330	1916	外咳害崖	慨概涯碍	蓋街該鎧	骸浬馨蛙
	8A5F	3340	1932	垣柿蠣鈎	劃嚇各廓	拡攪格核	殻獲確穫
	8A6F	3350	1948	覚角赫較	郭閣隔革	学岳楽額	顎掛笠樫
	8A80	3360	1964	橿梶鰍潟	割喝恰括	活渇滑葛	褐轄且鰹
	8A90	3370	1980	叶椛樺鞄	株兜竈蒲	釜鎌噛鴨	栢茅萱
	8A9E	3420	2000	粥刈苅	瓦乾侃冠	寒刊勘勧	巻喚堪姦
	8AAE	3430	2016	完官寛干	幹患感慣	憾換敢柑	桓棺款歓
	8ABE	3440	2032	汗漢澗灌	環甘監看	竿管簡緩	缶翰肝艦
	8ACE	3450	2048	莞観諫貫	還鑑間閑	関陥韓館	舘丸含岸
	8ADE	3460	2064	巌玩癌眼	岩翫贋雁	頑顔願	
キ	8ADE	3460	2064			企	伎危喜器
	8AEE	3470	2080	基奇嬉寄	岐希幾忌	揮机旗既	期棋棄
	8B3F	3520	2100	機帰毅	気汽畿祈	季稀紀徽	規記貴起
	8B4F	3530	2116	軌輝飢騎	鬼亀偽儀	妓宜戯技	擬欺犠疑
	8B5F	3540	2132	祇義蟻誼	議掬菊鞠	吉吃喫桔	橘詰砧杵
	8B6F	3550	2148	黍却客脚	虐逆丘久	仇休及吸	宮弓急救
	8B80	3560	2164	朽求汲泣	灸球究窮	笈級糾給	旧牛去居
	8B90	3570	2180	巨拒拠挙	渠虚許距	鋸漁禦魚	亨享京
	8B9E	3620	2200	供侠僑	兇競共凶	協匡卿叫	喬境峡強
	8BAE	3630	2216	彊怯恐恭	挟教橋況	狂狭矯胸	脅興蕎郷
	シフトJIS	JIS	区点	0123	4567	89AB	CDEF

	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F
キ	8BBE	3640	2232	鏡響饗驚	仰凝尭暁	業局曲極	玉桐粁僅
	8BCE	3650	2248	勤均巾錦	斤欣欽琴	禁禽筋緊	芹菌衿襟
	8BDE	3660	2264	謹近金吟	銀		
ク	8BDE	3660	2264		九倶句	区狗玖矩	苦躯駆駈
	8BEE	3670	2280	駒具愚虞	喰空偶寓	遇隅串櫛	釧屑屈
	8C3F	3720	2300	掘窟沓	靴轡窪熊	隈粂栗繰	桑鍬勲君
	8C4F	3730	2316	薫訓群軍	郡		
ケ	8C4F	3730	2316		卦袈祁	係傾刑兄	啓圭珪型
	8C5F	3740	2332	契形径恵	慶慧憩掲	携敬景桂	渓畦稽系
	8C6F	3750	2348	経継繋罫	茎荊蛍計	詣警軽頚	鶏芸迎鯨
	8C80	3760	2364	劇戟撃激	隙桁傑欠	決潔穴結	血訣月件
	8C90	3770	2380	倹倦健兼	券剣喧圏	堅嫌建憲	懸拳捲
	8C9E	3820	2400	検権牽	犬献研硯	絹県肩見	謙賢軒遣
	8CAE	3830	2416	鍵険顕験	鹸元原厳	幻弦減源	玄現絃舷
	8CBE	3840	2432	言諺限			
コ	8CBE	3840	2432	乎	個古呼固	姑孤己庫	弧戸故枯
	8CCE	3850	2448	湖狐糊袴	股胡菰虎	誇跨鈷雇	顧鼓五互
	8CDE	3860	2464	伍午呉吾	娯後御悟	梧檎瑚碁	語誤護醐
	8CEE	3870	2480	乞鯉交佼	侯候倖光	公功効勾	厚口向
	8D3F	3920	2500	后喉坑	垢好孔孝	宏工巧巷	幸広庚康
	8D4F	3930	2516	弘恒慌抗	拘控攻昂	晃更杭校	梗構江洪
	8D5F	3940	2532	浩港溝甲	皇硬稿糠	紅紘絞綱	耕考肯肱
	8D6F	3950	2548	腔膏航荒	行衡講貢	購郊酵鉱	砿鋼閤降
	8D80	3960	2564	項香高鴻	剛劫号合	壕拷濠豪	轟麹克刻
	8D90	3970	2580	告国穀酷	鵠黒獄漉	腰甑忽惚	骨狛込
	8D9E	3A20	2600	此頃今	困坤墾婚	恨懇昏昆	根梱混痕
	8DAE	3A30	2616	紺艮魂			
サ	8DAE	3A30	2616	些	佐叉唆嵯	左差査沙	瑳砂詐鎖
	8DBE	3A40	2632	裟坐座挫	債催再最	哉塞妻宰	彩才採栽
	8DCE	3A50	2648	歳済災采	犀砕砦祭	斎細菜裁	載際剤在
	8DDE	3A60	2664	材罪財冴	坂阪堺榊	肴咲崎埼	碕鷺作削
	8DEE	3A70	2680	咋搾昨朔	柵窄策索	錯桜鮭笹	匙冊刷
	8E3F	3B20	2700	察拶撮	擦札殺薩	雑皐鯖捌	錆鮫皿晒
	8E4F	3B30	2716	三傘参山	惨撒散桟	燦珊産算	纂蚕讃賛
	8E5F	3B40	2732	酸餐斬暫	残		
シ	8E5F	3B40	2732		仕仔伺	使刺司史	嗣四士始
	8E6F	3B50	2748	姉姿子屍	市師志思	指支孜斯	施旨枝止
	8E80	3B60	2764	死氏獅祉	私糸紙紫	肢脂至視	詞詩試誌
	8E90	3B70	2780	諮資賜雌	飼歯事似	侍児字寺	慈持時
	8E9E	3C20	2800	次滋治	爾璽痔磁	示而耳自	蒔辞汐鹿
	8EAE	3C30	2816	式識鴫竺	軸宍雫七	叱執失嫉	室悉湿漆
	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F

	シフトJIS	JIS	区点	0123	4567	89AB	CDEF
	8EBE	3C40	2832	疾質実蔀	篠偲柴芝	屡蕊縞舎	写射捨赦
	8ECE	3C50	2848	斜煮社紗	者謝車遮	蛇邪借勺	尺杓灼爵
	8EDE	3C60	2864	酌釈錫若	寂弱惹主	取守手朱	殊狩珠種
	8EEE	3C70	2880	腫趣酒首	儒受呪寿	授樹綬需	囚収周
	8F3F	3D20	2900	宗就州	修愁拾洲	秀秋終繍	習臭舟蒐
	8F4F	3D30	2916	衆襲讐蹴	輯週酋酬	集醜什住	充十従戎
	8F5F	3D40	2932	柔汁渋獣	縦重銃叔	夙宿淑祝	縮粛塾熟
	8F6F	3D50	2948	出術述俊	峻春瞬竣	舜駿准循	旬楯殉淳
	8F80	3D60	2964	準潤盾純	巡遵醇順	処初所暑	曙渚庶緒
シ	8F90	3D70	2980	署書薯藷	諸助叙女	序徐恕鋤	除傷償
	8F9E	3E20	3000	勝匠升	召哨商唱	嘗奨妾娼	宵将小少
	8FAE	3E30	3016	尚庄床廠	彰承抄招	掌捷昇昌	昭晶松梢
	8FBE	3E40	3032	樟樵沼消	渉湘焼焦	照症省硝	礁祥称章
	8FCE	3E50	3048	笑粧紹肖	菖蒋蕉衝	裳訟証詔	詳象賞醤
	8FDE	3E60	3064	鉦鍾鐘障	鞘上丈丞	乗冗剰城	場壌嬢常
	8FEE	3E70	3080	情擾条杖	浄状畳穣	蒸譲醸錠	嘱埴飾
	903F	3F20	3100	拭植殖	燭織職色	触食蝕辱	尻伸信侵
	904F	3F30	3116	唇娠寝審	心慎振新	晋森榛浸	深申疹真
	905F	3F40	3132	神秦紳臣	芯薪親診	身辛進針	震人仁刃
	906F	3F50	3148	塵壬尋甚	尽腎訊迅	陣靭	
	906F	3F50	3148			笥諏	須酢図厨
ス	9080	3F60	3164	逗吹垂帥	推水炊睡	粋翠衰遂	酔錐錘随
	9090	3F70	3180	瑞髄崇嵩	数枢趨雛	据杉椙菅	頗雀裾
	909E	4020	3200	澄摺寸			
	909E	4020	3200		世瀬畝是	凄制勢姓	征性成政
	90AE	4030	3216	整星晴棲	栖正清牲	生盛精聖	声製西誠
	90BE	4040	3232	誓請逝醒	青静斉税	脆隻席惜	戚斥昔析
セ	90CE	4050	3248	石積籍績	脊責赤跡	蹟碩切拙	接摂折設
	90DE	4060	3264	窃節説雪	絶舌蝉仙	先千占宣	専尖川戦
	90EE	4070	3280	扇撰栓栴	泉浅洗染	潜煎煽旋	穿箭線
	913F	4120	3300	繊羨腺	舛船薦詮	賎践選遷	銭銑閃鮮
	914F	4130	3316	前善漸然	全禅繕膳	糎	
	914F	4130	3316			噌塑岨	措曾曽楚
	915F	4140	3332	狙疏疎礎	祖租粗素	組蘇訴阻	遡鼠僧創
	916F	4150	3348	双叢倉喪	壮奏爽宋	層匝惣想	捜掃挿掻
ソ	9180	4160	3364	操早曹巣	槍槽漕燥	争痩相窓	糟総綜聡
	9190	4170	3380	草荘葬蒼	藻装走送	遭鎗霜騒	像増憎
	919E	4220	3400	臓蔵贈	造促側則	即息捉束	測足速俗
	91AE	4230	3416	属賊族続	卒袖其揃	存孫尊損	村遜
タ	91AE	4230	3416				他多
	91BE	4240	3432	太汰詑唾	堕妥惰打	柁舵楕陀	駄騨体堆
	シフトJIS	JIS	区点	0123	4567	89AB	CDEF

	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F
タ	91CE	4250	3448	対耐岱帯	待怠態戴	替泰滞胎	腿苔袋貸
	91DE	4260	3464	退逮隊黛	鯛代台大	第醍題鷹	滝瀧卓啄
	91EE	4270	3480	宅托択拓	沢濯琢託	鐸濁諾茸	凧蛸只
	923F	4320	3500	叩但達	辰奪脱巽	竪辿棚谷	狸鱈樽誰
	924F	4330	3516	丹単嘆坦	担探旦歎	淡湛炭短	端簞綻耽
	925F	4340	3532	胆蛋誕鍛	団壇弾断	暖檀段男	談
チ	925F	4340	3532				値知地
	926F	4350	3548	弛恥智池	痴稚置致	蜘遅馳築	畜竹筑蓄
	9280	4360	3564	逐秩窒茶	嫡着中仲	宙忠抽昼	柱注虫衷
	9290	4370	3580	註酎鋳駐	樗瀦猪苧	著貯丁兆	凋喋寵
	929E	4420	3600	帖帳庁	弔張彫徴	懲挑暢朝	潮牒町眺
	92AE	4430	3616	聴脹腸蝶	調諜超跳	銚長頂鳥	勅捗直朕
	92BE	4440	3632	沈珍賃鎮	陳		
ツ	92BE	4440	3632		津墜椎	槌追鎚痛	通塚栂摑
	92CE	4450	3648	槻佃漬柘	辻蔦綴鍔	椿潰坪壺	嬬紬爪吊
	92DE	4460	3664	釣鶴			
テ	92DE	4460	3664	亭低	停偵剃貞	呈堤定帝	底庭廷弟
	92EE	4470	3680	悌抵挺提	梯汀碇禎	程締艇訂	諦蹄遞
	933F	4520	3700	邸鄭釘	鼎泥摘擢	敵滴的笛	適鏑溺哲
	934F	4530	3716	徹撤轍迭	鉄典塡天	展店添纏	甜貼転顛
	935F	4540	3732	点伝殿澱	田電		
ト	935F	4540	3732		兎吐	堵塗妬屠	徒斗杜渡
	936F	4550	3748	登菟賭途	都鍍砥礪	努度土奴	怒倒党冬
	9380	4560	3764	凍刀唐塔	塘套宕島	嶋悼投搭	東桃檮棟
	9390	4570	3780	盗淘湯濤	灯燈当痘	禱等答筒	糖統到
	939E	4620	3800	董蕩藤	討謄豆踏	逃透鐙陶	頭騰闘働
	93AE	4630	3816	動同堂導	憧撞洞瞳	童胴萄道	銅峠鴇匿
	93BE	4640	3832	得徳瀆特	督禿篤毒	独読栃橡	凸突椴届
	93CE	4650	3848	鳶苫寅酉	瀞噸屯惇	敦沌豚遁	頓呑曇鈍
ナ	93DE	4660	3864	奈那内乍	凪薙謎灘	捺鍋楢馴	縄畷南楠
	93EE	4670	3880	軟難汝			
ニ	93EE	4670	3880	二	尼弐邇匂	賑肉虹廿	日乳入
	943F	4720	3900	如尿韮	任妊忍認		
ヌ	943F	4720	3900			濡	
ネ	943F	4720	3900			禰祢寧	葱猫熱年
	944F	4730	3916	念捻撚燃	粘		
ノ	944F	4730	3916		乃廼之	埜囊悩濃	納能脳膿
	945F	4740	3932	農覗蚤			
ハ	945F	4740	3932	巴	把播覇杷	波派琶破	婆罵芭馬
	946F	4750	3948	俳廃拝排	敗杯盃牌	背肺輩配	倍培媒梅
	9480	4760	3964	楳煤狽買	売賠陪這	蠅秤矧萩	伯剝博拍
	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F

	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F
ハ	9490	4770	3980	柏泊白箔	粕舶薄迫	曝漠爆縛	莫駁麦
	949E	4820	4000	函箱硲	箸肇筈櫨	幡肌畑畠	八鉢溌発
	94AE	4830	4016	醗髪伐罰	抜筏閥鳩	噺塙蛤隼	伴判半反
	94BE	4840	4032	叛帆搬斑	板氾汎版	犯班畔繁	般藩販範
	94CE	4850	4048	釆煩頒飯	挽晩番盤	磐蕃蛮	
ヒ	94CE	4850	4048			匪	卑否妃庇
	94DE	4860	4064	彼悲扉批	披斐比泌	疲皮碑秘	緋罷肥被
	94EE	4870	4080	誹費避非	飛樋簸備	尾微枇毘	琵眉美
	953F	4920	4100	鼻柊稗	匹疋髭彦	膝菱肘弼	必畢筆逼
	954F	4930	4116	檜姫媛紐	百謬俵彪	標氷漂瓢	票表評豹
	955F	4940	4132	廟描病秒	苗錨鋲蒜	蛭鰭品彬	斌浜瀕貧
	956F	4950	4148	賓頻敏瓶			
フ	956F	4950	4148		不付埠夫	婦富冨布	府怖扶敷
	9580	4960	4164	斧普浮父	符腐膚芙	譜負賦赴	阜附侮撫
	9590	4970	4180	武舞葡蕪	部封楓風	葺蕗伏副	復幅服
	959E	4A20	4200	福腹複	覆淵弗払	沸仏物鮒	分吻噴墳
	95AE	4A30	4216	憤扮焚奮	粉糞紛雰	文聞	
ヘ	95AE	4A30	4216			丙併	兵塀幣平
	95BE	4A40	4232	弊柄並蔽	閉陛米頁	僻壁癖碧	別瞥蔑箆
	95CE	4A50	4248	偏変片篇	編辺返遍	便勉娩弁	鞭
ホ	95CE	4A50	4248				保舗鋪
	95DE	4A60	4264	圃捕歩甫	補輔穂募	墓慕戊暮	母簿菩倣
	95EE	4A70	4280	俸包呆報	奉宝峰峯	崩庖抱捧	放方朋
	963F	4B20	4300	法泡烹	砲縫胞芳	萌蓬蜂褒	訪豊邦鋒
	964F	4B30	4316	飽鳳鵬乏	亡傍剖坊	妨帽忘忙	房暴望某
	965F	4B40	4332	棒冒紡肪	膨謀貌貿	鉾防吠頬	北僕卜墨
	966F	4B50	4348	撲朴牧睦	穆釦勃没	殆堀幌奔	本翻凡盆
マ	9680	4B60	4364	摩磨魔麻	埋妹昧枚	毎哩槙幕	膜枕鮪柾
	9690	4B70	4380	鱒桝亦俣	又抹末沫	迄儘繭麿	万慢満
	969E	4C20	4400	漫蔓			
ミ	969E	4C20	4400	味	未魅巳箕	岬密蜜湊	蓑稔脈妙
	96AE	4C30	4416	粍民眠			
ム	96AE	4C30	4416	務	夢無牟矛	霧鵡椋婿	娘
メ	96AE	4C30	4416				冥名命
	96BE	4C40	4432	明盟迷銘	鳴姪牝滅	免棉綿緬	面麺
モ	96BE	4C40	4432				摸模
	96CE	4C50	4448	茂妄孟毛	猛盲網耗	蒙儲木黙	目杢勿餅
	96DE	4C60	4464	尤戻籾貰	問悶紋門	匁	
ヤ	96DE	4C60	4464			也冶夜	爺耶野弥
	96EE	4C70	4480	矢厄役約	薬訳躍靖	柳薮鑓	
ユ	96EE	4C70	4480			愉	愈油癒
	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F

	シフトJIS	JIS	区点	0123	4567	89AB	CDEF
ユ	973F	4D20	4500	諭輸唯	佑優勇友	宥幽悠憂	揖有柚湧
	974F	4D30	4516	涌猶猷由	祐裕誘遊	邑郵雄融	夕
ヨ	974F	4D30	4516				予余与
	975F	4D40	4532	誉輿預傭	幼妖容庸	揚揺擁曜	楊様洋溶
	976F	4D50	4548	熔用窯羊	耀葉蓉要	謡踊遥陽	養慾抑欲
	9780	4D60	4564	沃浴翌翼	淀		
ラ	9780	4D60	4564		羅螺裸	来莱頼雷	洛絡落酪
	9790	4D70	4580	乱卵嵐欄	濫藍蘭覧		
リ	9790	4D70	4580			利吏履李	梨理璃
	979E	4E20	4600	痢裏裡	里離陸律	率立葎掠	略劉流溜
	97AE	4E30	4616	琉留硫粒	隆竜龍侶	慮旅虜了	亮僚両凌
	97BE	4E40	4632	寮料梁涼	猟療瞭稜	糧良諒遼	量陵領力
	97CE	4E50	4648	緑倫厘林	淋燐琳臨	輪隣鱗麟	
ル	97CE	4E50	4648				瑠塁涙累
	97DE	4E60	4664	類			
レ	97DE	4E60	4664	令伶例	冷励嶺怜	玲礼苓鈴	隷零霊麗
	97EE	4E70	4680	齢暦歴列	劣烈裂廉	恋憐漣煉	簾練聯
	983F	4F20	4700	蓮連錬			
ロ	983F	4F20	4700		呂魯櫓炉	賂路露労	婁廊弄朗
	984F	4F30	4716	楼榔浪漏	牢狼籠老	聾蝋郎六	麓禄肋録
	985F	4F40	4732	論			
ワ	985F	4F40	4732	倭和話	歪賄脇惑	枠鷲亙亘	鰐詫藁蕨
	986F	4F50	4748	椀湾碗腕			

| | シフトJIS | JIS | 区点 | 0123 | 4567 | 89AB | CDEF |

漢字コード表（JIS 第 2 水準）

	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F
一	989E	5020	4800	弌丐丕			
丨	989E	5020	4800		个丱		
丶	989E	5020	4800		丶丼		
丿	989E	5020	4800			丿乂乖乘	
乙	989E	5020	4800				亂
亅	989E	5020	4800				亅豫亊
	98AE	5030	4816	舒			
二	98AE	5030	4816	弍于亞	亟		
亠	98AE	5030	4816		亠亢亰	亳亶	
人	98AE	5030	4816			从仍	仄仆仂仗
	98BE	5040	4832	仞仭仟价	伉佚估佛	佝佗佇佶	侈侏侘佻
	98CE	5050	4848	佩佰侑佯	來侖侭俔	俟俎俘俛	俑俚俐俤
	98DE	5060	4864	俥倚倨倔	倪倥倅伜	俶倡倩倬	俾俯們倆
	98EE	5070	4880	偃假會偕	偐偈做偖	偬偸傀傚	傅傴傲
	993F	5120	4900	僉僊傳	僂僖僞僥	僭僣僮價	僵儉儁儂
	994F	5130	4916	儖儕儔儚	儡儺儷儼	儻	
儿	994F	5130	4916			儿兀兒	兌兔兢竸
入	995F	5140	4932	兩兪			
八	995F	5140	4932	兮冀			
冂	995F	5140	4932		冂囘册冉	冏冑冓冕	
冖	995F	5140	4932				冖冤冦冢
	996F	5150	4948	冩冪			
冫	996F	5150	4948	冫决	冱冲冰况	冽凅凉凛	
几	996F	5150	4948				几處凩凭
	9980	5160	4964	凰			
凵	9980	5160	4964	凵凾			
刀	9980	5160	4964	刄	刋刔刎刧	刪刮刳刹	剏剄剋剌
	9990	5170	4980	剞剔剪剴	剩剳剿剽	劍劔劒剱	劈劑辨
	999E	5220	5000	辧			
力	999E	5220	5000	劬劭	劼劵勁勍	勗勞勣勦	飭勠勳勵
	99AE	5230	5016	勸			
勹	99AE	5230	5016	勹匆匈	甸匍匐匏		
匕	99AE	5230	5016			匕	
匚	99AE	5230	5016			匚匣匯	匱匳
匸	99AE	5230	5016				匸區
十	99BE	5240	5032	卆卅丗卉	卍凖		
卜	99BE	5240	5032		卞		
卩	99BE	5240	5032		卩	卮夘卻卷	
厂	99BE	5240	5032				厂厖厠厦
	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F

	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F
厂	99CE	5250	5048	厥厮厰			
ム	99CE	5250	5048	厶	參簒		
又	99CE	5250	5048		雙叟	曼燮	
口	99CE	5250	5048			叮叨	叭叺吁吽
	99DE	5260	5064	呀听吭吼	吮吶吩吝	呎咏呵咎	呟呱呷呰
	99EE	5270	5080	咒呻咀呶	咄咐咆哇	咢咸咥咬	哄哈咨
	9A3F	5320	5100	咫哂咤	咾咼哘哥	哦唏唔哽	哮哭哺哢
	9A4F	5330	5116	唹啀啣啌	售啜啅啖	啗唸唳啝	喙喀咯喊
	9A5F	5340	5132	喟啻啾喘	喞單啼喃	喩喇喨嗚	嗅嗟嗄嗜
	9A6F	5350	5148	嗤嗔嘔嗷	嘖嗾嗽嘛	嗹噎噐營	嘴嘶嘲嘸
	9A80	5360	5164	噫噤嘯噬	噪嚆嚀嚊	嚠嚔嚏嚥	嚮嚶嚴囂
	9A90	5370	5180	嚼囁囃囀	囈囎囑囓		
囗	9A90	5370	5180			囗囮囹圀	囿圄圉
	9A9E	5420	5200	圈國圍	圓團圖嗇	圜	
土	9A9E	5420	5200			圦圷圸	坎圻址坏
	9AAE	5430	5216	坩埀垈坡	坿垉垓垠	垳垤垪垰	埃埆埔埒
	9ABE	5440	5232	埓堊埖埣	堋堙堝塲	堡塢塋塰	毀塒堽塹
	9ACE	5450	5248	墅墹墟墫	墺壞墻墸	墮壅壓壑	壗壙壘壥
	9ADE	5460	5264	壜壤壟			
士	9ADE	5460	5264	壯	壺壹壻壼	壽	
夂	9ADE	5460	5264			夂	
夊	9ADE	5460	5264			夊夐	
夕	9ADE	5460	5264				夛梦夥
大	9ADE	5460	5264				夬
	9AEE	5470	5280	夭夲夸夾	竒奕奐奎	奚奘奢奠	奧奬奩
女	9B3F	5520	5300	奸妁妝	佞侫妣妲	姆姨姜妍	姙姚娥娟
	9B4F	5530	5316	娑娜娉娚	婀婬婉娵	娶婢婪媚	媼媾嫋嫂
	9B5F	5540	5332	媽嫣嫗嫦	嫩嫖嫺嫻	嬌嬋嬖嬲	嫐嬪嬶嬾
	9B6F	5550	5348	孃孅孀			
子	9B6F	5550	5348	子	孕孚孛孥	孩孰孳孵	學斈孺
宀	9B6F	5550	5348				宀
	9B80	5560	5364	它宦宸寃	寇寉寔寐	寤實寢寞	寥寫寰寶
	9B90	5570	5380	寳			
寸	9B90	5570	5380	尅將專	對		
小	9B90	5570	5380		尓尠		
尢	9B90	5570	5380		尢	尨	
尸	9B90	5570	5380			尸尹屁	屆屎屓
	9B9E	5620	5400	屐屏孱	屬		
屮	9B9E	5620	5400		屮		
山	9B9E	5620	5400		乢屶	屹岌岑岔	妛岫岻岶
	9BAE	5630	5416	岼岷峅岾	峇峙峩峽	峺峭嶌峪	崋崕崗嵜
	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F

	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F
山	9BBE	5640	5432	崟崛崑崔	崢崚崙崘	嵌嵒嵎嵋	嵬嵳嵶嶇
	9BCE	5650	5448	嶄嶂嶢嶝	嶬嶮嶽嶐	嶷嶼巉巍	巓巒巖
巛	9BCE	5650	5448				巛
工	9BDE	5660	5464	巫			
己	9BDE	5660	5464	已巵			
巾	9BDE	5660	5464	帋	帚帙帑帛	帶帷幄幃	幀幎幗幔
	9BEE	5670	5480	幟幢幤幇			
干	9BEE	5670	5480		幵并		
幺	9BEE	5670	5480		幺麼		
广	9BEE	5670	5480			广庠廁廂	廈廐廏
	9C3F	5720	5500	廖廣廝	廚廛廢廡	廨廩廬廱	廳廰
廴	9C3F	5720	5500				廴廸
廾	9C4F	5730	5516	廾弃弉彝	彜		
弋	9C4F	5730	5516		弋弑		
弓	9C4F	5730	5516		弖	弩弭弸彁	彈彌彎弯
彐	9C5F	5740	5532	彑彖彗彙			
彡	9C5F	5740	5532		彡彭		
彳	9C5F	5740	5532		彳彷	徃徂彿徊	很徑徇從
	9C6F	5750	5548	徙徘徠徨	徭徼		
心	9C6F	5750	5548		忖忻	忤忸忱忝	悳忿怡恠
	9C80	5760	5564	怙怐怩怎	怱怛怕怫	怦怏怺恚	恁恪恷恟
	9C90	5770	5580	恊恆恍恣	恃恤恂恬	恫恙悁悍	惧悃悚
	9C9E	5820	5600	悄悛悖	悗悒悧悋	惡悸惠惓	悴忰悽惆
	9CAE	5830	5616	悵惘慍愕	愆惶惷愀	惴惺愃愡	惻惱愍愎
	9CBE	5840	5632	慇愾愨愧	慊愿愼愬	愴愽慂慄	慳慷慘慙
	9CCE	5850	5648	慚慫慴慯	慥慱慟慝	慓慵憙憖	憇憬憔憚
	9CDE	5860	5664	憊憑憫憮	懌懊應懷	懈懃懆憺	懋罹懍懦
	9CEE	5870	5680	懣懶懺懴	懿懽懼懾	戀	
戈	9CEE	5870	5680			戈戉戍	戌戔戛
	9D3F	5920	5700	戞戡截	戮戰戲戳		
戸	9D3F	5920	5700			扁	
手	9D3F	5920	5700			扎扞扣	扛扠扨扼
	9D4F	5930	5716	抂抉找抒	抓抖拔抃	抔拗拑抻	拏拿拆擔
	9D5F	5940	5732	拈拜拌拊	拂拇抛拉	挌拮拱挧	挂挈拯拵
	9D6F	5950	5748	捐挾捍搜	捏掖掎掀	掫捶掣掏	掉掟掵捫
	9D80	5960	5764	捩掾揩揀	揆揣揉插	揶揄搖搴	搆搓搦搶
	9D90	5970	5780	攝搗搨搏	摧摯摶摎	攪撕撓撥	撩撈撼
	9D9E	5A20	5800	據擒擅	擇撻擘擂	擱擧舉擠	擡抬擣擯
	9DAE	5A30	5816	攬擶擴擲	擺攀擽攘	攜攅攤攣	攫
支	9DAE	5A30	5816				支攵攷
	9DBE	5A40	5832	收攸畋效	敖敕敍敘	敞敝敲數	斂斃變
	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F

	シフトJIS	JIS	区点	0123	4567	89AB	CDEF
斗	9DBE	5A40	5832				斛
	9DCE	5A50	5848	斟			
斤	9DCE	5A50	5848	斫斷			
方	9DCE	5A50	5848	旃	旆旁旄旌	旒旛旙	
旡	9DCE	5A50	5848			无	旡
日	9DCE	5A50	5848				旱杲昊
	9DDE	5A60	5864	昃旻杳昵	昶昴昜晏	晄晉晁晞	晝晤晧晨
	9DEE	5A70	5880	晟晢晰暃	暈暎暉暄	暘暝曁暹	曉暾暼
	9E3F	5B20	5900	曄暸曖	曚曠昿曦	曩	
曰	9E3F	5B20	5900			曰曵曷	
月	9E3F	5B20	5900				朏朖朞朦
	9E4F	5B30	5916	朧霸			
木	9E4F	5B30	5916	朮朿	朶杁朸朷	杆杞杠杙	杣杤枉杰
	9E5F	5B40	5932	枩杼杪枌	枋枦枡枅	枷柯枴柬	枳柩枸柤
	9E6F	5B50	5948	柞柝柢柮	枹柎柆柧	桧栞框栩	桀桍栲桎
	9E80	5B60	5964	梳栫桙档	桷桿梟梏	梭梔條梛	梃梼梹桴
	9E90	5B70	5980	梵梠梺椏	梍桾椁棊	椈棘椢椦	棡椌棍
	9E9E	5C20	6000	棔棧棕	椶椒椄棗	棣椥棹棠	棯椨椪椚
	9EAE	5C30	6016	椣椡棆楹	楷楜楸楫	楔楾楮椹	楴椽楙椰
	9EBE	5C40	6032	楡楞楝榁	楪榲榮槐	榿槁槓榾	槎寨槊槝
	9ECE	5C50	6048	榻槃榧樮	榑榠榜榕	榴槞槨樂	樛槿權槹
	9EDE	5C60	6064	槲槧樅榱	樞槭樔槫	樊樒櫁樣	樓橄樌橲
	9EEE	5C70	6080	樶橸橇橢	橙橦橈樸	樢檐檍檠	檄檢檣
	9F3F	5D20	6100	檗蘗檻	櫃櫂檸檳	檬櫞櫑櫟	檪櫚櫪櫻
	9F4F	5D30	6116	欅蘖櫺欒	欖鬱欟		
欠	9F4F	5D30	6116		欸	欷盜欹飮	歇歃歉歐
	9F5F	5D40	6132	歙歔歛歟	歡		
止	9F5F	5D40	6132		歸		
歹	9F5F	5D40	6132		歹歿	殀殄殃殍	殘殕殞殤
	9F6F	5D50	6148	殪殫殯殲	殱		
殳	9F6F	5D50	6148		殳殷殼	毆	
毋	9F6F	5D50	6148			毋毓	
毛	9F6F	5D50	6148			毟	毬毫毳毯
	9F80	5D60	6164	麾氈			
氏	9F80	5D60	6164	氓			
气	9F80	5D60	6164	气	氛氤氣		
水	9F80	5D60	6164		汞	汕汢汪沂	沍沚沁沛
	9F90	5D70	6180	汾汨汳沒	沐泄泱泓	沽泗泅泝	沮沱沾
	9F9E	5E20	6200	沺泛泯	泙泪洟衍	洶洫洽洸	洙洵洳洒
	9FAE	5E30	6216	洌浣涓浤	浚浹浙涎	涕涛涅淹	渕渊涵淇
	9FBE	5E40	6232	淦涸淆淬	淞淌淨淒	淅淺淙淤	淕淪淮渭
	シフトJIS	JIS	区点	0123	4567	89AB	CDEF

	シフト JIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F
水	9FCE	5E50	6248	湮渮渙湲	湟渾渣湫	渫湶湍渟	湃渺湎渤
	9FDE	5E60	6264	滿渝游溂	溪溘滉溷	滓溽溯滄	溲滔滕溏
	9FEE	5E70	6280	溥滂溟潁	漑灌滬滸	滾漿滲漱	滯漲滌
	E03F	5F20	6300	漾漓滷	澆潺潸澁	澀潯潛濳	潭澂潼潘
	E04F	5F30	6316	澎澑濂潦	澳澣澡澤	澹濆澪濟	濕濬濔濘
	E05F	5F40	6332	濱濮濛瀉	瀋濺瀑瀁	瀏濾瀛瀚	潴瀝瀘瀟
	E06F	5F50	6348	瀰瀾瀲灑	灣		
火	E06F	5F50	6348		炙炒炯	烱炬炸炳	炮烟烋烝
	E080	5F60	6364	烙焉烽焜	焙煥煕熈	煦煢煌煖	煬熏燻熄
	E090	5F70	6380	熕熨熬燗	熹熾燒燉	燔燎燠燬	燧燵燼
	E09E	6020	6400	燹燿爍	爐爛爨		
爪	E09E	6020	6400		爭	爬爰爲	
爻	E09E	6020	6400			爻	爼
爿	E09E	6020	6400				爿牀牆
	E0AE	6030	6416	牋牘			
牛	E0AE	6030	6416	牴牾	犂犁犇犒	犖犢犧	
犬	E0AE	6030	6416			犹	犲狃狆狄
	E0BE	6040	6432	狎狒狢狠	狡狹狷倏	猗猊猜猖	猝猴猯猩
	E0CE	6050	6448	猥猾獎獏	默獗獪獨	獰獸獵獻	獺
王	E0CE	6050	6448				珈玳珎
	E0DE	6060	6464	玻珀珥珮	珞璢琅瑯	琥珸琲琺	瑕琿瑟瑙
	E0EE	6070	6480	瑁瑜瑩瑰	瑣瑪瑶瑾	璋璞璧瓊	瓏瓔珱
瓜	E13F	6120	6500	瓠瓣			
瓦	E13F	6120	6500	瓧	瓩瓮瓲瓰	瓱瓸瓷甄	甃甅甌甎
	E14F	6130	6516	甍甕甓			
甘	E14F	6130	6516	甞			
生	E14F	6130	6516		甦		
用	E14F	6130	6516		甬		
田	E14F	6130	6516		甼畄	畍畊畉畛	畆畚畩畤
	E15F	6140	6532	畧畫畭畸	當疆疇畴	疊疉疂	
病	E15F	6140	6532			疔	疚疝疥疣
	E16F	6150	6548	痂疳痃疵	疽疸疼疱	痍痊痒痙	痣痞痾痿
	E180	6160	6564	痼瘁痰痺	痲痳瘋瘍	瘉瘟瘧瘠	瘡瘢瘤瘴
	E190	6170	6580	瘰瘻癇癈	癆癜癘癡	癢癨癩癪	癧癬癰
	E19E	6220	6600	癲			
癶	E19E	6220	6600	癶癸	發		
白	E19E	6220	6600		皀皃皈	皋皎皖皓	皙皚
皮	E19E	6220	6600				皰皴
	E1AE	6230	6616	皸皹皺			
皿	E1AE	6230	6616	盂	盍盖盒盞	盡盥盧盪	蘯
目	E1AE	6230	6616				盻眈眇
	シフト JIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F

	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F
目	E1BE	6240	6632	眄眩眤眞	眥眦眛眷	眸睇睚睨	睫睛睥睿
	E1CE	6250	6648	睾睹瞎瞋	瞑瞠瞞瞰	瞶瞹瞿瞼	瞽瞻矇矍
	E1DE	6260	6664	矗矚			
矛	E1DE	6260	6664	矜			
矢	E1DE	6260	6664	矣	矮		
石	E1DE	6260	6664		矼砌砒	砿砠砺硅	碎硴碆硼
	E1EE	6270	6680	碚碌碣碵	碪碯磑磆	磋磔碾碼	磅磊磬
	E23F	6320	6700	磧磚磽	磴礇礒礑	礙礬礫	
示	E23F	6320	6700			祀	祠祗祟祚
	E24F	6330	6716	祕祓祺祿	禊禝禧齋	禪禮禳	
禺	E24F	6330	6716			禹	禺
禾	E24F	6330	6716				秉秕秧
	E25F	6340	6732	秬秡秣稈	稍稘稙稠	稟禀稱稻	稾稷穃穗
	E26F	6350	6748	穉穡穢穩	龝穰		
穴	E26F	6350	6748		穹穽	窈窗窕窘	窖窩竈窰
	E280	6360	6764	窶竅竄窿	邃竇竊		
立	E280	6360	6764		竍	竏竕竓站	竚竝竡竢
	E290	6370	6780	竦竭竰			
竹	E290	6370	6780	笂	笏笊笆笳	笘笙笞笵	笨笶筐
	E29E	6420	6800	筺笄筍	笋筌筅筵	筥筴筧筰	筱筬筮箝
	E2AE	6430	6816	箘箟箍箜	箚箋箒箏	筝箙篋篁	篌篏箴篆
	E2BE	6440	6832	篝篩簑簔	篦篥籠簀	簇簓篳篷	簗簍篶簣
	E2CE	6450	6848	簧簪簟簷	簫簽籌籃	籔籏籀籐	籘籟籤籖
	E2DE	6460	6864	籥籬			
米	E2DE	6460	6864	籵粃	粐粤粭粢	粫粡粨粳	粲粱粮粹
	E2EE	6470	6880	粽糀糅糂	糘糒糜糢	鬻糯糲糴	糶
糸	E2EE	6470	6880				糺紆
	E33F	6520	6900	紂紜紕	紊絅絋紮	紲紿紵絆	絳絖絎絲
	E34F	6530	6916	絨絮絏絣	經綉絛綏	絽綛綺綮	綣綵緇綽
	E35F	6540	6932	綫總綢綯	緜綸綟綰	緘緝緤緞	緻緲緡縅
	E36F	6550	6948	縊縣縡縒	縱縟縉縋	縢繆繦縻	縵縹繃縷
	E380	6560	6964	縲縺繧繝	繖繞繙繚	繹繪繩繼	繻纃緕繽
	E390	6570	6980	辮繿纈纉	續纒纐纓	纔纖纎纛	纜
缶	E390	6570	6980				缸缺
	E39E	6620	7000	罅罌罍	罎罐		
网	E39E	6620	7000		网罕	罔罘罟罠	罨罩罧罸
	E3AE	6630	7016	羂羆羃羈	羇		
羊	E3AE	6630	7016		羌羔羞	羝羚羣羯	羲羹羮羶
	E3BE	6640	7032	羸譱			
羽	E3BE	6640	7032	翅翆	翊翕翔翡	翦翩翳翹	飜
老	E3BE	6640	7032				耆耄耋
	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F

	シフトJIS	JIS	区点	0123	4567	89AB	CDEF
耒	E3CE	6650	7048	耒耘耙耜	耡耨		
耳	E3CE	6650	7048		耿耻	聊聆聒聘	聚聟聢聨
	E3DE	6660	7064	聳聲聰聶	聹聽		
聿	E3DE	6660	7064		聿肄	肆肅	
肉	E3DE	6660	7064			肛肓	肚肭冐肬
	E3EE	6670	7080	胛胥胙胝	胄胚胖脉	胯胱脛脩	脣脯腋
	E43F	6720	7100	隋腆脾	腓腑胼腱	腮腥腦腴	膃膈膊膀
	E44F	6730	7116	膂膠膕膤	膣腟膓膩	膰膵膾膸	膽臀臂膺
	E45F	6740	7132	臉臍臑臙	臘臈臚臟	臠	
臣	E45F	6740	7132			臧	
至	E45F	6740	7132			臺臻	
臼	E45F	6740	7132				臾舁舂舅
	E46F	6750	7148	與舊			
舌	E46F	6750	7148	舍舐	舖		
舟	E46F	6750	7148		舩舫舸	舳艀艙艘	艝艚艟艤
	E480	6760	7164	艢艨艪艫	舮		
艮	E480	6760	7164		艱		
色	E480	6760	7164		艷		
艸	E480	6760	7164		艸	艾芍芒芫	芟芻芬苡
	E490	6770	7180	苣苟苒苴	苳苺莓范	苻苹苞茆	苜茉苙
	E49E	6820	7200	茵茴茖	茲茱荀茹	荐荅茯茫	茗茘莅莚
	E4AE	6830	7216	莪莟莢莖	茣莎莇莊	荼莵荳荵	莠莉莨菴
	E4BE	6840	7232	萓菫菎菽	萃菘萋菁	菷萇菠菲	萍萢萠莽
	E4CE	6850	7248	萸蔆菻葭	萪萼蕚蒄	葷葫蒭葮	蒂葩葆萬
	E4DE	6860	7264	葯葹萵蓊	葢蒹蒿蒟	蓙蓍蒻蓚	蓐蓁蓆蓖
	E4EE	6870	7280	蒡蔡蓿蓴	蔗蔘蔬蔟	蔕蔔蓼蕀	蕣蕘蕈
	E53F	6920	7300	蕁蘂蕋	蕕薀薤薈	薑薊薨蕭	薔薛藪薇
	E54F	6930	7316	薜蕷蕾薐	藉薺藏薹	藐藕藝藥	藜藹蘊蘓
	E55F	6940	7332	蘋藾藺蘆	蘢蘚蘰蘿		
虍	E55F	6940	7332			虍乕虔號	虧
虫	E55F	6940	7332				虱蚓蚣
	E56F	6950	7348	蚩蚪蚋蚌	蚶蚯蛄蛆	蚰蛉蠣蚫	蛔蛞蛩蛬
	E580	6960	7364	蛟蛛蛯蜒	蜆蜈蜀蜃	蛻蜑蜉蜍	蛹蜊蜴蜿
	E590	6970	7380	蜷蜻蜥蜩	蜚蝠蝟蝸	蝌蝎蝴蝗	蝨蝮蝙
	E59E	6A20	7400	蝓蝣蝪	蠅螢螟螂	螯蟋螽蟀	蟐雖螫蟄
	E5AE	6A30	7416	螳蟇蟆螻	蟯蟲蟠蠏	蠍蟾蟶蟷	蠎蟒蠑蠖
	E5BE	6A40	7432	蠕蠢蠡蠱	蠶蠹蠧蠻		
血	E5BE	6A40	7432			衄衂	
行	E5BE	6A40	7432			衒衙	衞衢
衣	E5BE	6A40	7432				衫袁
	E5CE	6A50	7448	衾袞衵衽	袵衲袂袗	袒袮袙袢	袍袤袰袿
	シフトJIS	JIS	区点	0123	4567	89AB	CDEF

	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F
衣	E5DE	6A60	7464	袱裃裄裔	裘裙裝裹	褂裼裴裨	裲褄褌褊
	E5EE	6A70	7480	褓襃褞褥	褪褫襁襄	褻褶褸襌	褝襠襞
	E63F	6B20	7500	襦襤襭	襪襯襴襷		
襾	E63F	6B20	7500			襾覃覈覊	
見	E63F	6B20	7500				覓覘覡覩
	E64F	6B30	7516	覦覬覯覲	覺覽覿觀		
角	E64F	6B30	7516			觚觜觝觧	觴觸
言	E64F	6B30	7516				訃訖
	E65F	6B40	7532	訐訌訛訝	訥訶詁詛	詒詆詈詼	詭詬詢誅
	E66F	6B50	7548	誂誄誨誡	誑誥誦誚	誣諄諍諂	諚諫諳諧
	E680	6B60	7564	諤諱謔諠	諢諷諞諛	謌謇謚諡	謖謐謗謠
	E690	6B70	7580	謳鞫謦謫	謾謨譁譌	譏譎證譖	譛譚譫
	E69E	6C20	7600	譟譬譯	譴譽讀讌	讎讒讓讖	讙讚
谷	E69E	6C20	7600				谺豁
	E6AE	6C30	7616	谿			
豆	E6AE	6C30	7616	豈豌豎	豐		
豕	E6AE	6C30	7616		豕豢豬		
豸	E6AE	6C30	7616			豸豺貂貉	貅貊貍貎
	E6BE	6C40	7632	貔豼貘			
貝	E6BE	6C40	7632	戝	貭貪貽貲	貳貮貶賈	賁賤賣賚
	E6CE	6C50	7648	賽賺賻贄	贅贊贇贏	贍贐齎贓	賍贔贖
赤	E6CE	6C50	7648				赧
	E6DE	6C60	7664	赭			
走	E6DE	6C60	7664	赱赳趁	趙		
足	E6DE	6C60	7664		跂趾趺	跏跚跖跌	跛跋跪跫
	E6EE	6C70	7680	跟跣跼踈	踉跿踝踞	踐踟蹂踵	踰踴蹊
	E73F	6D20	7700	蹇蹉蹌	蹐蹈蹙蹤	蹠踪蹣蹕	蹶蹲蹼躁
	E74F	6D30	7716	躇躅躄躋	躊躓躑躔	躙躪躡	
身	E74F	6D30	7716			躬	躰軆躱躾
	E75F	6D40	7732	軅軈			
車	E75F	6D40	7732	軋軛	軣軼軻軫	軾輊輅輕	輒輙輓輜
	E76F	6D50	7748	輟輛輌輦	輳輻輹轅	轂輾轌轉	轆轎轗轜
	E780	6D60	7764	轢轣轤			
辛	E780	6D60	7764	辜	辟辣辭辯		
辵	E780	6D60	7764			辷迚迥迢	迪迯邇迴
	E790	6D70	7780	逅迹迺逑	逕逡逍逞	逖逋逧逶	逵逹迸
	E79E	6E20	7800	遏遐遑	遒逎遉逾	遖遘遞遨	遯遶隨遲
	E7AE	6E30	7816	邂遽邁邀	邊邉邏		
邑	E7AE	6E30	7816		邨	邯邱邵郢	郤扈郛鄂
	E7BE	6E40	7832	鄒鄙鄲鄰			
酉	E7BE	6E40	7832		酊酖酘酣		
	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F

	シフトJIS	JIS	区点	0123	4567	89AB	CDEF
酉	E7BE	6E40	7832			酥酩酳酲	醋醉醂醢
	E7CE	6E50	7848	醫醯醪醵	醴醺釀釁		
采	E7CE	6E50	7848			釉釋	
里	E7CE	6E50	7848			釐	
金	E7CE	6E50	7848			釖	釟釡釛釼
	E7DE	6E60	7864	釵釶鈞釿	鈔鈬鈕鈑	鉞鉗鉅鉉	鉤鉈銕鈿
	E7EE	6E70	7880	鉋鉐銜銖	銓銛鉚鋏	銹銷鋩錏	鋺鍄錮
	E83F	6F20	7900	錙錢錚	錣錺錵錻	鍜鍠鍼鍮	鍖鎰鎬鎭
	E84F	6F30	7916	鎔鎹鏖鏗	鏨鏥鏘鏃	鏝鏐鏈鏤	鐚鐔鐓鐃
	E85F	6F40	7932	鐇鐐鐶鐫	鐵鐡鐺鑁	鑒鑄鑛鑠	鑢鑞鑪鈩
	E86F	6F50	7948	鑰鑵鑷鑽	鑚鑼鑾钁	鑿	
門	E86F	6F50	7948			閂閇閊	閔閖閘閙
	E880	6F60	7964	閠閨閧閭	閼閻閹閾	闊濶闃闍	闌闕闔闖
	E890	6F70	7980	關闡闥闢			
阜	E890	6F70	7980		阡阨阮阯	陂陌陏陋	陷陜陞
	E89E	7020	8000	陝陟陦	陲陬隍隘	隕隗險隧	隱隲隰隴
隶	E8AE	7030	8016	隶隸			
隹	E8AE	7030	8016	隹雎	雋雉雍襍	雜霍雕	
雨	E8AE	7030	8016			雹	霄霆霈霓
	E8BE	7040	8032	霎霑霏霖	霙霤霪霰	霹霽霾靄	靆靈靂靉
青	E8CE	7050	8048	靜			
非	E8CE	7050	8048	靠			
面	E8CE	7050	8048	靤靦	靨		
革	E8CE	7050	8048		勒靫靱	靹鞅靼鞁	靺鞆鞋鞏
	E8DE	7060	8064	鞐鞜鞨鞦	鞣鞳鞴韃	韆韈	
韋	E8DE	7060	8064			韋韜	
韭	E8DE	7060	8064				韭齏韲
音	E8DE	7060	8064				竟
	E8EE	7070	8080	韶韵			
頁	E8EE	7070	8080	頏頌	頸頤頡頷	頽顆顏顋	顫顯顰
	E93F	7120	8100	顱顴顳			
風	E93F	7120	8100		颪颯颱颶	飄飃飆	
食	E93F	7120	8100			飩	飫餃餉餒
	E94F	7130	8116	餔餘餡餝	餞餤餠餬	餮餽餾饂	饉饅饐饋
	E95F	7140	8132	饑饒饌饕			
首	E95F	7140	8132		馗馘		
香	E95F	7140	8132		馥		
馬	E95F	7140	8132		馭	馮馼駟駛	駝駘駑駭
	E96F	7150	8148	駮駱駲駻	駸騁騏騅	駢騙騫騷	驅驂驀驃
	E980	7160	8164	騾驕驍驛	驗驟驢驥	驤驩驫驪	
骨	E980	7160	8164				骭骰骼髀
	シフトJIS	JIS	区点	0123	4567	89AB	CDEF

	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F
骨	E990	7170	8180	髏髑髓體			
高	E990	7170	8180		髞		
髟	E990	7170	8180		髟髢髣	髦髯髫髮	髴髱髷
	E99E	7220	8200	髻鬆鬘	鬚鬟鬢鬣		
鬥	E99E	7220	8200			鬥鬧鬨鬩	鬪鬮
鬯	E99E	7220	8200				鬯
鬲	E99E	7220	8200				鬲
鬼	E9AE	7230	8216	魄魃魏魍	魎魑魘		
魚	E9AE	7230	8216		魴	鮓鮃鮑鮖	鮗鮟鮠鮨
	E9BE	7240	8232	鮴鯀鯊鮹	鯆鯏鯑鯒	鯣鯢鯤鯔	鯡鰺鯲鯱
	E9CE	7250	8248	鯰鰕鰔鰉	鰓鰌鰆鰈	鰒鰊鰄鰮	鰛鰥鰤鰡
	E9DE	7260	8264	鰰鱇鰲鱆	鰾鱚鱠鱧	鱶鱸	
鳥	E9DE	7260	8264			鳧鳬	鳰鴉鴈鳫
	E9EE	7270	8280	鴃鴆鴪鴦	鶯鴣鴟鵄	鴕鴒鵁鴿	鴾鵆鵈
	EA3F	7320	8300	鵝鵞鵤	鵑鵐鵙鵲	鶉鶇鶫鵯	鵺鶚鶤鶩
	EA4F	7330	8316	鶲鷄鷁鶻	鶸鶺鷆鷏	鷂鷙鷓鷸	鷦鷭鷯鷽
	EA5F	7340	8332	鸚鸛鸞			
鹵	EA5F	7340	8332	鹵	鹹鹽		
鹿	EA5F	7340	8332		麁麈	麋麌麒麕	麑麝
麦	EA5F	7340	8332				麥麩
	EA6F	7350	8348	麸麪麭			
麻	EA6F	7350	8348	靡			
黄	EA6F	7350	8348		黌		
黍	EA6F	7350	8348		黎黏黐		
黒	EA6F	7350	8348			黔黜點黝	黠黥黨黯
	EA80	7360	8364	黴黶黷			
黹	EA80	7360	8364	黹	黻黼		
黽	EA80	7360	8364		黽鼇	鼈	
鼓	EA80	7360	8364			皷鼕	
鼠	EA80	7360	8364			鼡	鼬
鼻	EA80	7360	8364				鼾
齊	EA80	7360	8364				齊
齒	EA80	7360	8364				齒
	EA90	7370	8380	齔齣齟齠	齡齦齧齬	齪齷齲齶	
龍	EA90	7370	8380				龕
龜	EA90	7370	8380				龜
龠	EA90	7370	8380				龠
	シフトJIS	JIS	区点	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F

拡張文字一覧

シフトJIS	JIS	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ED3F	7920	8900		纊	褜	鍈	銈	蓜	俉	炻	昱	棈	鋹	曻	彅	丨	仡	仼
ED4F	7930	8916	伀	伃	伹	佖	侒	侊	侚	侔	俍	偀	倢	俿	倞	偆	偰	偂
ED5F	7940	8932	傔	僴	僘	兊	兤	冝	冾	凬	刕	劜	劦	勀	勛	匀	匇	匤
ED6F	7950	8948	卲	厓	厲	叝	﨎	咜	咊	咩	哿	喆	坙	坥	垬	埈	埇	﨏
ED80	7960	8964	塚	增	墲	夋	奓	奛	奝	奣	妤	妺	孖	寀	甯	寘	寬	尞
ED90	7970	8980	岦	岺	峵	崧	嵓	﨑	嵂	嵭	嶸	嶹	巐	弡	弴	彧	德	
ED9E	7A20	9000		忞	恝	悅	悊	惞	惕	愠	惲	愑	愷	愰	憘	戓	抦	揵
EDAE	7A30	9016	摠	撝	擎	敎	昀	昕	昻	昉	昮	昞	昤	晥	晗	晙	晴	晳
EDBE	7A40	9032	暙	暠	暲	暿	曺	朎	朗	杦	枻	桒	柀	栁	桄	棏	﨓	楨
EDCE	7A50	9048	﨔	榘	槢	樰	橫	橆	橳	橾	櫢	櫤	毖	氿	汜	沆	汯	泚
EDDE	7A60	9064	洄	涇	浯	涖	涬	淏	淸	淲	淼	渹	湜	渧	渼	溿	澈	澵
EDEE	7A70	9080	濵	瀅	瀇	瀨	炅	炫	焏	焄	煜	煆	煇	凞	燁	燾	犱	
EE3F	7B20	9100		犾	猤	猪	獷	玽	珉	珖	珣	珒	琇	珵	琦	琪	琩	琮
EE4F	7B30	9116	瑢	璉	璟	甁	畯	皂	皜	皞	皛	皦	益	睆	劯	砡	硎	硤
EE5F	7B40	9132	硺	礰	礼	神	祥	禔	福	禛	竑	竧	靖	竫	箞	精	絈	絜
EE6F	7B50	9148	綷	綠	緖	繒	罇	羡	羽	茁	荢	荿	菇	菶	葈	蒴	蕓	蕙
EE80	7B60	9164	蕫	﨟	薰	蘒	﨡	蠇	裵	訒	訷	詹	誧	誾	諟	諸	諶	譓
EE90	7B70	9180	譿	賰	賴	贒	赶	﨣	軏	﨤	逸	遧	郞	都	鄕	鄧	釚	
EE9E	7C20	9200		釗	釞	釭	釮	釤	釥	鈆	鈐	鈊	鈺	鉀	鈼	鉎	鉙	鉑
EEAE	7C30	9216	鈹	鉧	銧	鉷	鉸	鋧	鋗	鋙	鋐	﨧	鋕	鋠	鋓	錥	錡	鋻
EEBE	7C40	9232	﨨	錞	鋿	錝	錂	鍰	鍗	鎤	鏆	鏞	鏸	鐱	鑅	鑈	閒	隆
EECE	7C50	9248	﨩	隝	隯	霳	霻	靃	靍	靏	靑	靕	顗	顥	飯	飼	餧	館
EEDE	7C60	9264	馞	驎	髙	髜	魵	魲	鮏	鮱	鮻	鰀	鵰	鵫	鶴	鸙	黑	
EEEE	7C70	9280		i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x	¬	¦	▼	▼▼	
シフトJIS	JIS	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

索　引

【は】

【ま】

【や】

【ら】

【英字】

【キー】

NEC